

人権擁護に関する市民意識調査 ～報告書～

令和4年3月

近江八幡市

目 次

調査実施概要	1
回答者の属性	2
人権尊重と価値観・社会通念について	4
女性の人権について	12
子どもの人権について	18
高齢者の人権について	26
障がいがある人の人権について	33
同和問題について	40
外国人の人権について	52
性的マイノリティについて	60
インターネットにおける人権について	67
感染症患者の人権について	74
人権侵害を受けた経験や対策について	76
人権問題の啓発活動について	78
自由意見の記述	80
調査票	

調査実施概要

1. 調査目的

○近江八幡市人権施策に関する基本計画等策定のための基礎資料とする。

2. 調査対象

○18歳以上の近江八幡市民 3,000人

3. 調査手法

○無作為抽出

○郵送による配布・回収

○無記名、多肢選択式、一部記述式

4. 調査期間

○令和3年7月16日～令和3年8月20日

5. 回収状況

対象者数	回収数	回収率
3,000	1,008	33%

6. 報告書の味方

○本報告書は、それぞれ配布した調査票の設問に沿う形で構成している。

○回答結果は、少数第2位を四捨五入して、それぞれの割合を示している。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても、合計値が100.0%にならない場合がある。このことは本報告書内の分析分、グラフ、表においても同様である。

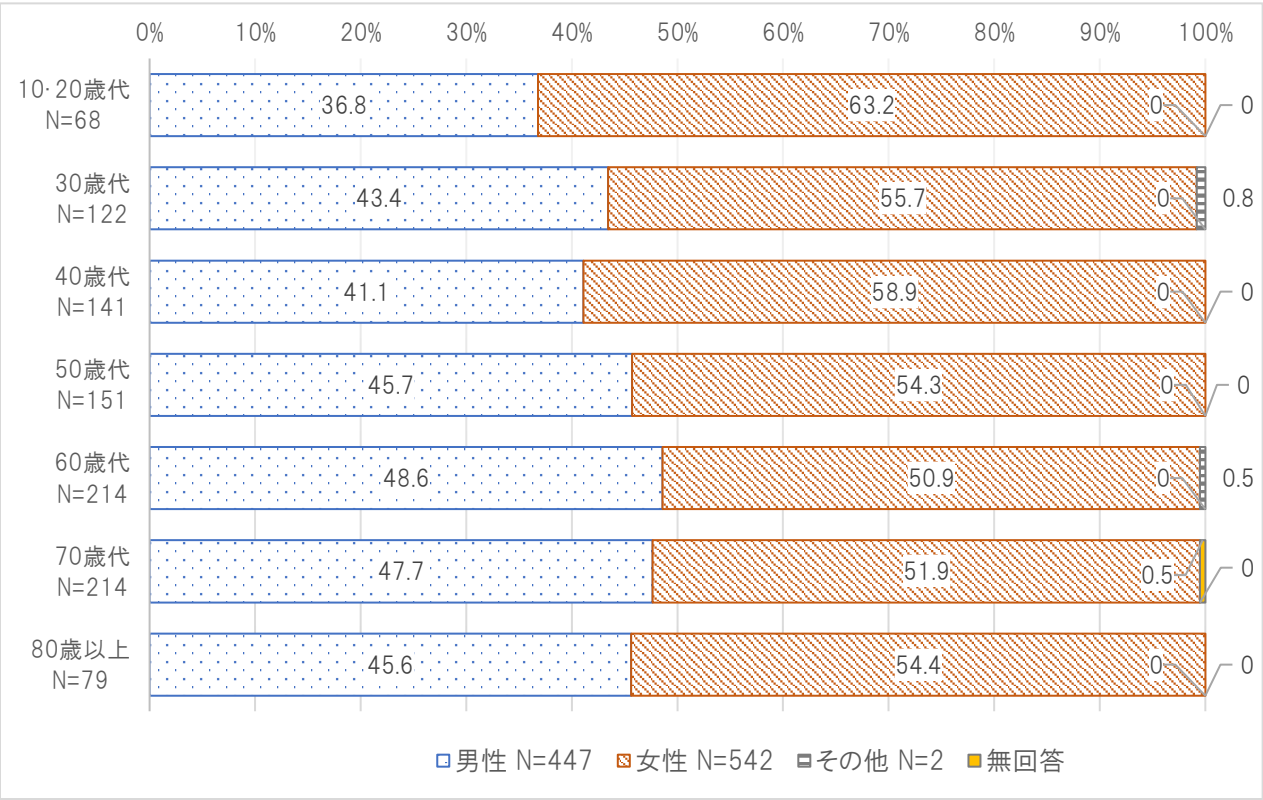
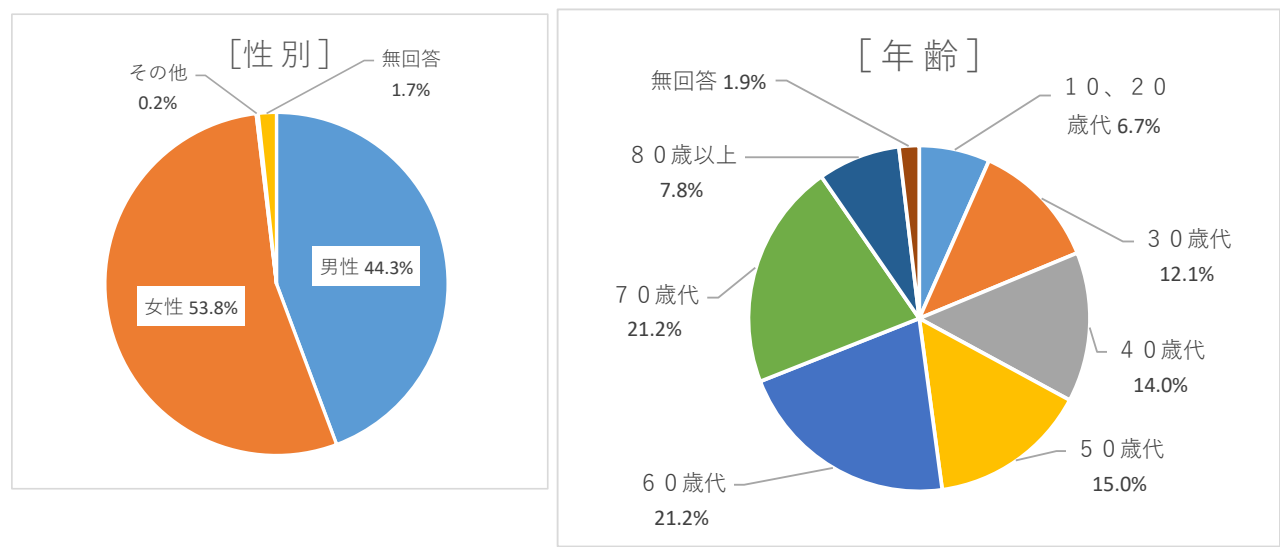
○複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対するそれぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。このことは本報告書内の分析分、グラフ、表においても同様である。

○図表中の「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものである。

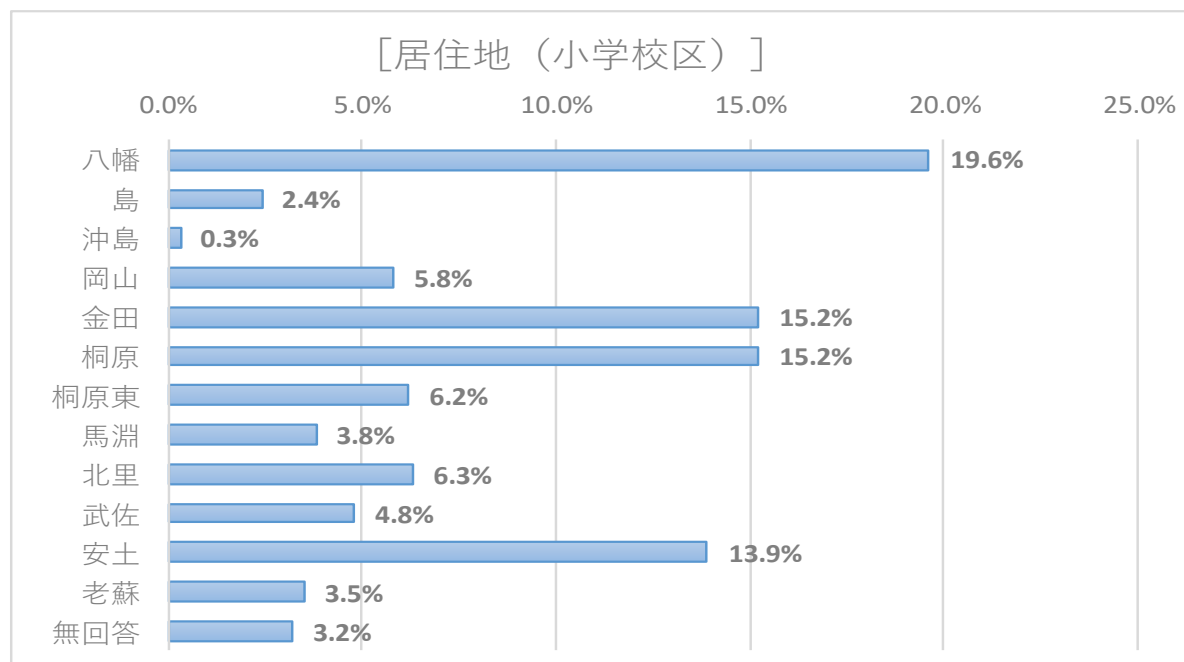
○グラフ及び表のN数（number of case）は、有効標本数（集計対象者数）を表している。

○本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合がある。

性別では「男性」が44.3%、「女性」が53.8%となっており、全ての年代で「女性」が「男性」を上回っている。また年齢では「60歳代」「70歳代」「80歳以上」を合わせると50.2%と約半数を超えている。



居住地（小学校区）をみると、「八幡」が19.6%、次いで「金田」「桐原」が15.2%、「安土」が13.9%となっている。

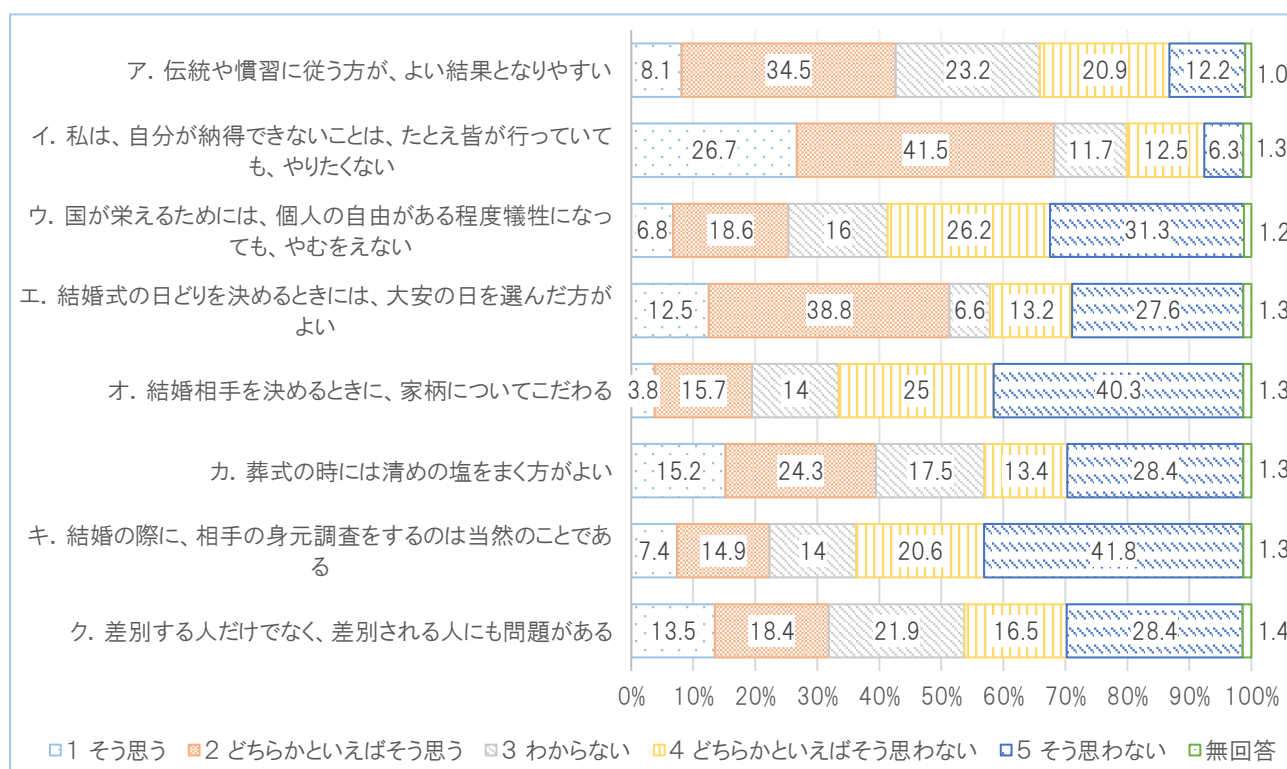


人権尊重と価値観・社会通念について

問1 次のア～クについて、あなたの考え方に最も近いものをそれぞれ選んでください。1～5の中から、それぞれにあてはまる番号を回答用紙に記入してください。

「そう思う(賛成)」との回答比率は、「イ. 私は、自分が納得できないことは、たとえ皆が行っていても、やりたくない」が最も高く26.7%(前回 H28年:22.4%)となっており、次いで「カ. 葬式の時には清めの塩をまく方がよい」が15.2%(前回平成28年:17.7%)、次いで「ク. 差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある」が13.5%(前回項目なし)となっている。

「そう思う(賛成)」、「どちらかといえばそう思う(どちらかといえば賛成)」の合計ポイントと「そう思わない(反対)」、「どちらかといえばそう思わない(どちらかといえば反対)」の合計ポイントで見ると「ア. 伝統や慣習に従う方が、よい結果となりやすい」、「イ. 私は、自分が納得できないことは、たとえ皆が行っていても、やりたくない」「エ. 結婚式の日どりを決めるときには、大安の日を選んだ方がよい」は賛成派の方が高く、「ウ. 国が栄えるためには、個人の自由がある程度犠牲になっても、やむをえない」「オ. 結婚相手を決めるときに、家柄についてこだわる」「カ. 葬式の時には清めの塩をまくのがよい」「キ. 結婚の際に相手の身元調査をするのは当然のことである」「ク. 差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある」は反対派の方が高くなっている。

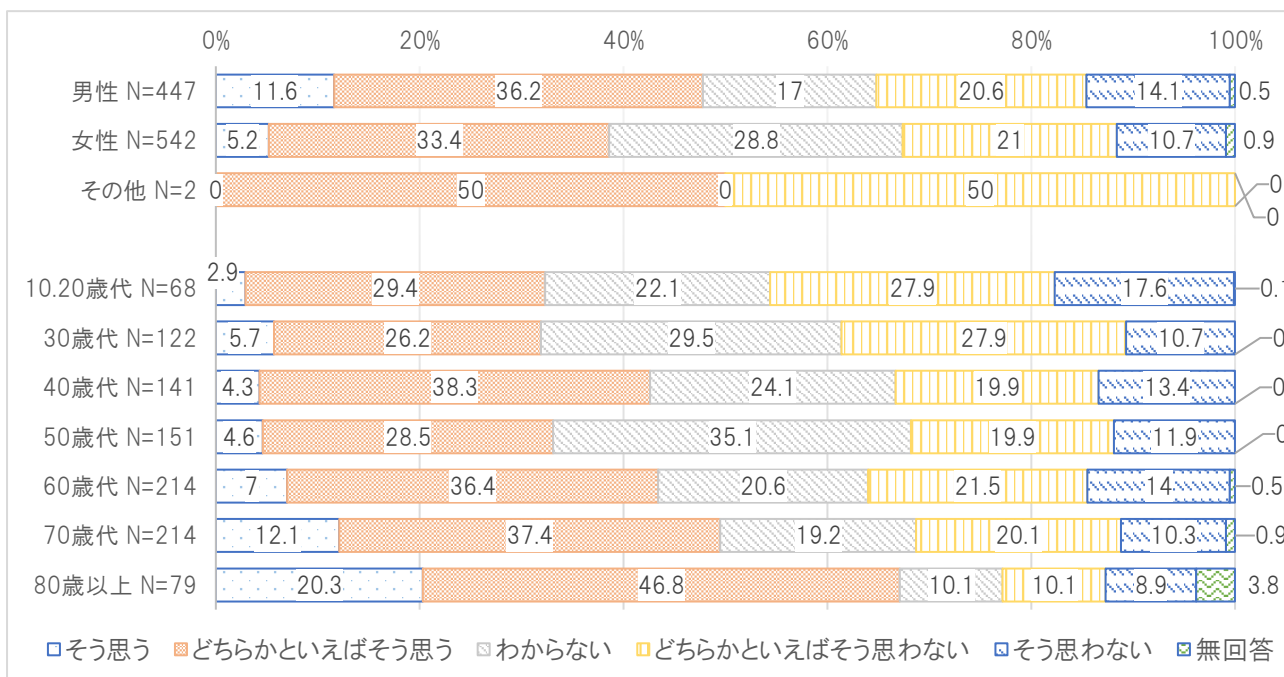


単位：％

区分	そう思う	どちらかとい えばそう思う	わからな い	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わ ない	無回答
ア. 伝統や慣習に従う方が、よい結果となりやすい	8.1	34.5	23.2	20.9	12.2	1.0
イ. 私は、自分が納得できないことは、たとえ皆が行って いても、やりたくない	26.7	41.5	11.7	12.5	6.3	1.3
ウ. 国が栄えるためには、個人の自由がある程度犠牲 になっても、やむをえない	6.8	18.6	16.0	26.2	31.3	1.2
エ. 結婚式の日どりを決めるときには、大安の日を選 んだ方がよい	12.5	38.8	6.6	13.2	27.6	1.3
オ. 結婚相手を決めるときに、家柄についてこだわる	3.8	15.7	14.0	25.0	40.3	1.3
カ. 葬式の時には清めの塩をまく方がよい	15.2	24.3	17.5	13.4	28.4	1.3
キ. 結婚の際に、相手の身元調査をするのは当然のこ とである	7.4	14.9	14.0	20.6	41.8	1.3
ク. 差別する人だけでなく、差別される人にも問題があ る	13.5	18.4	21.9	16.5	28.4	1.4

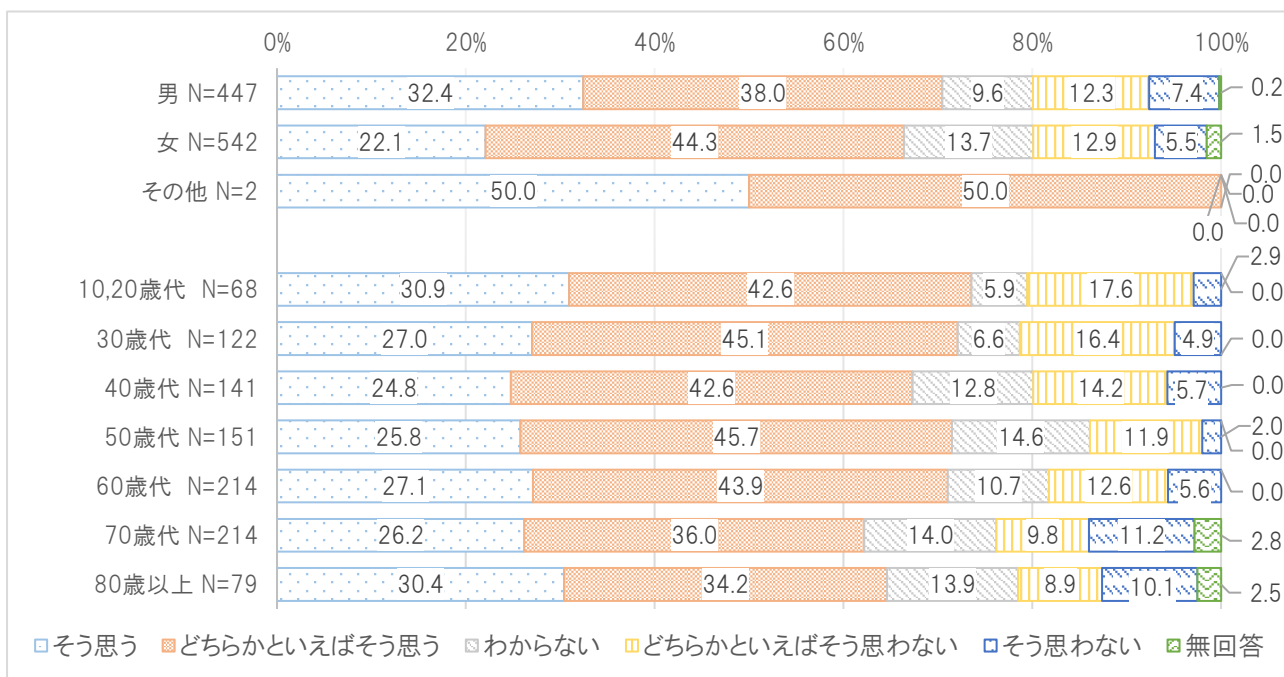
ア．伝統や慣習に従う方が、よい結果となりやすい

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性が 47.8%で、女性は 38.6%となっている。年代別では、80 歳以上だけが 50%を超えている（67.1%）。



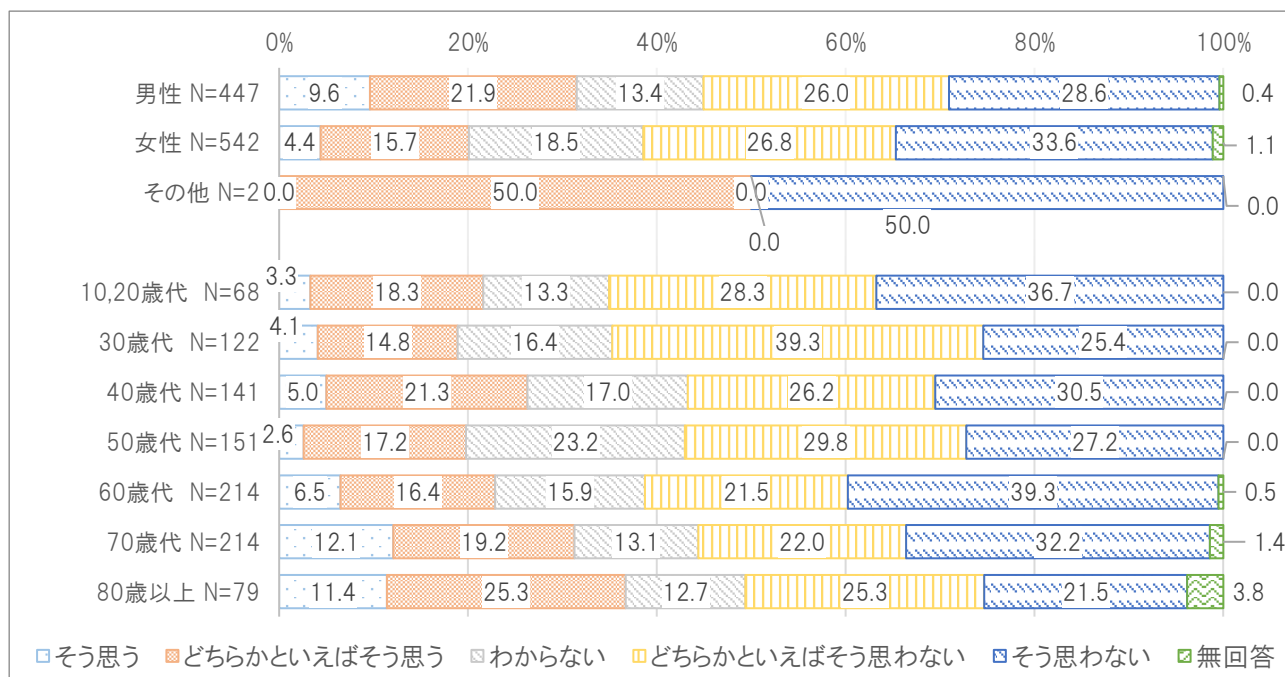
イ．私は、自分が納得できないことは、たとえ皆が行っていても、やりたくない

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性が 70.4%で、女性は 66.4%となっている。年代別でも、全ての年代で 60%を超えている。



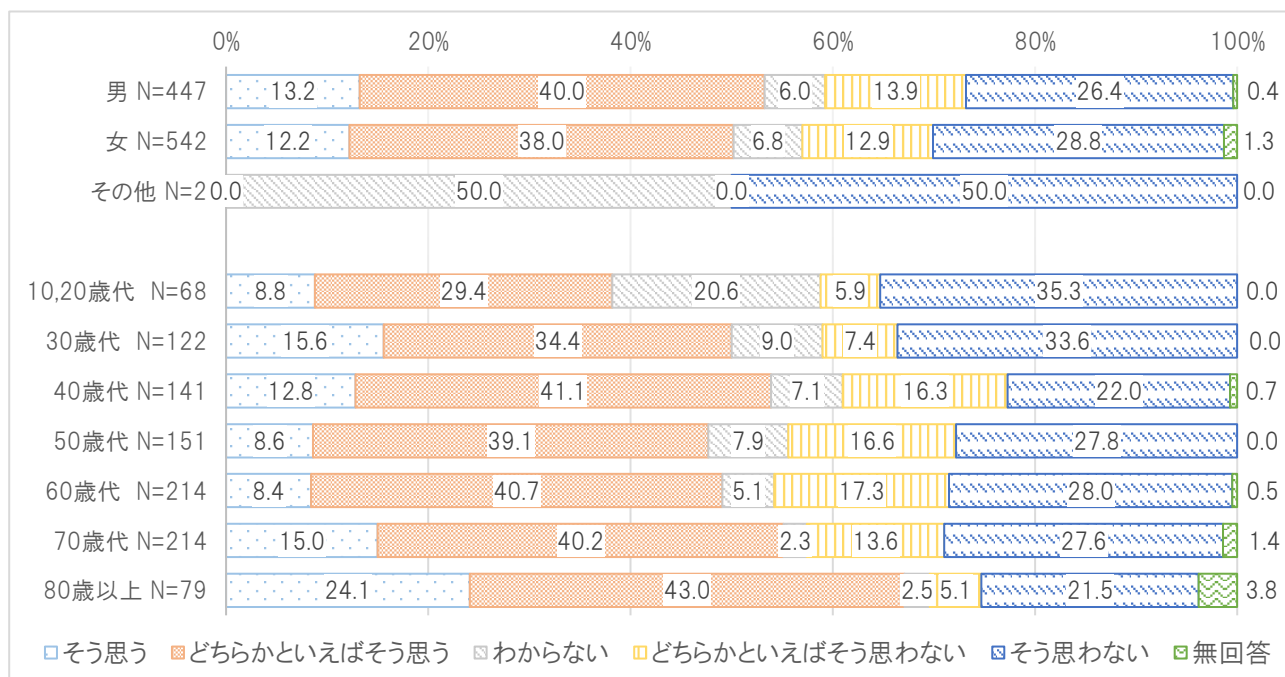
ウ. 国が栄えるためには、個人の自由がある程度犠牲になっても、やむをえない

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性が 31.5%で、女性は 20.1%となっている。年代別では、70 歳代、80 歳以上だけが 30%を超えている。



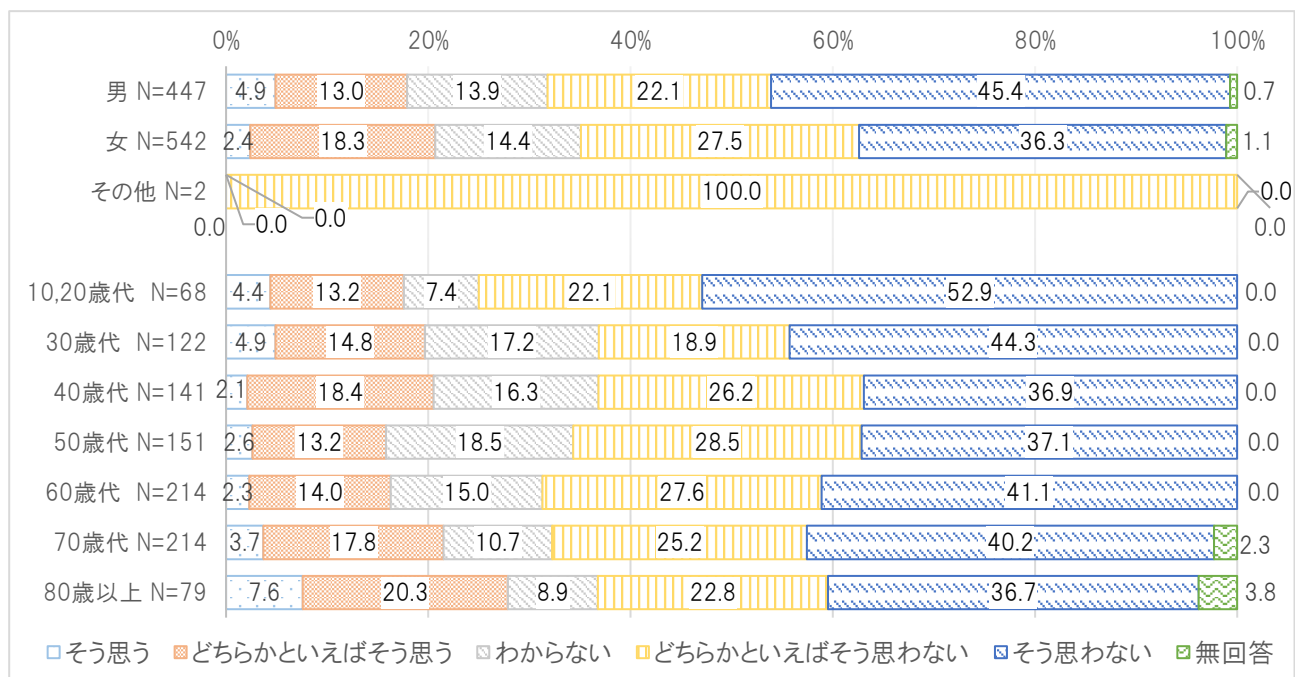
エ. 結婚式の日どりを決めるときには、大安の日を選んだ方がよい

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 53.2%、女性 50.2%となっている。年代別では、80 歳以上が最も高く(67.1%)、10,20 歳代が最も低く(38.2%)になっている。



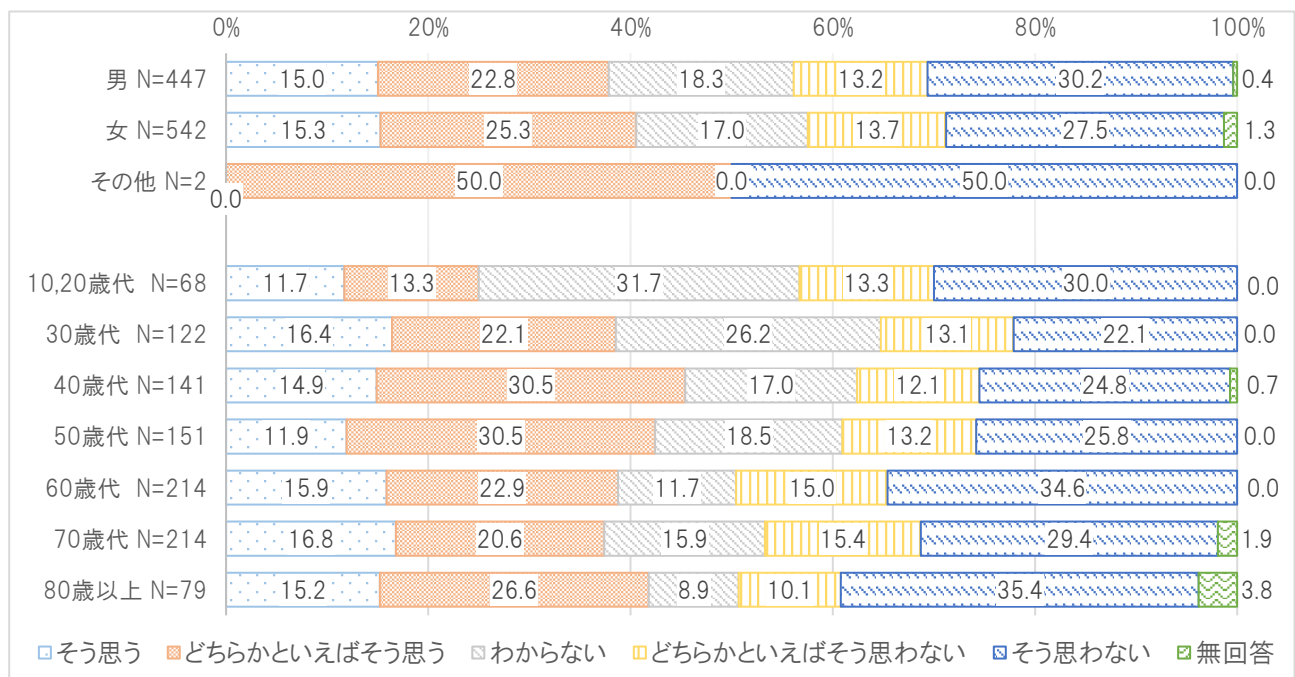
オ. 結婚相手を決めるときに、家柄についてこだわる

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は、17.9%、女性は 20.7%となっている。年代別では、80 歳以上が最も高く(27.9%)となっている。



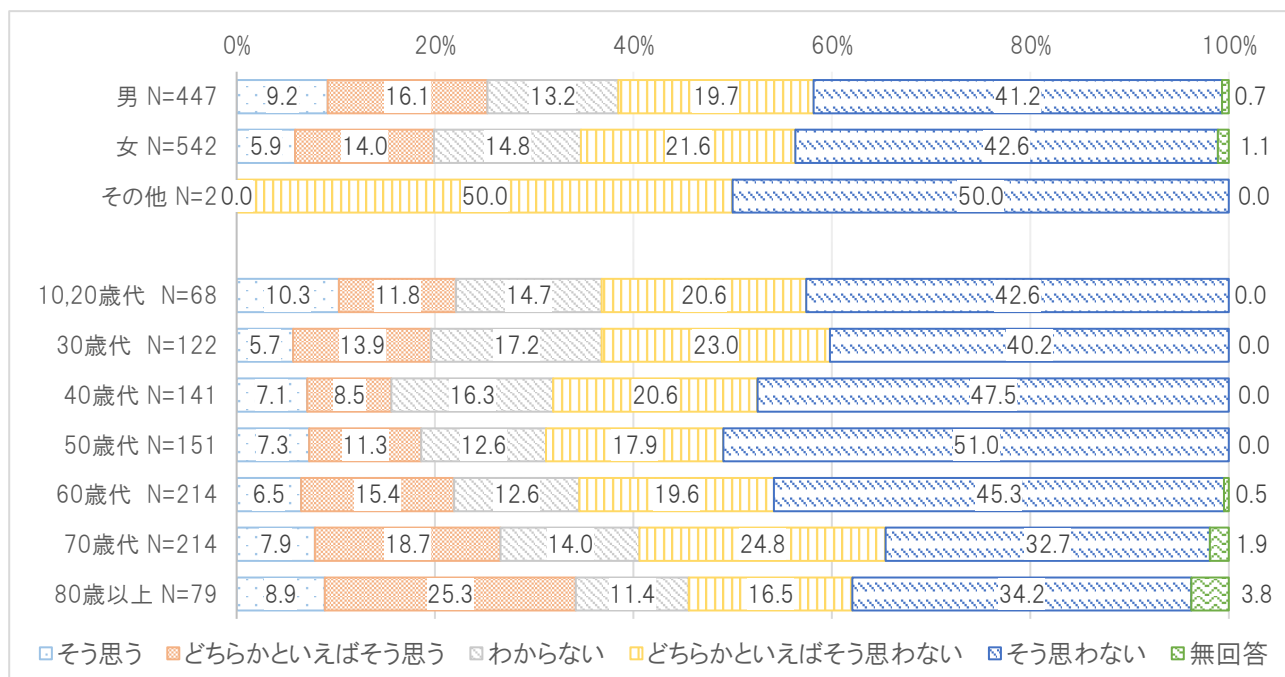
カ. 葬式の時には清めの塩をまく方がよい

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は 37.8%、女性は 40.6%となっている。年代別では、40 歳代が最も高く(45.4%)、10,20 歳代が最も低く(25%)となっている。



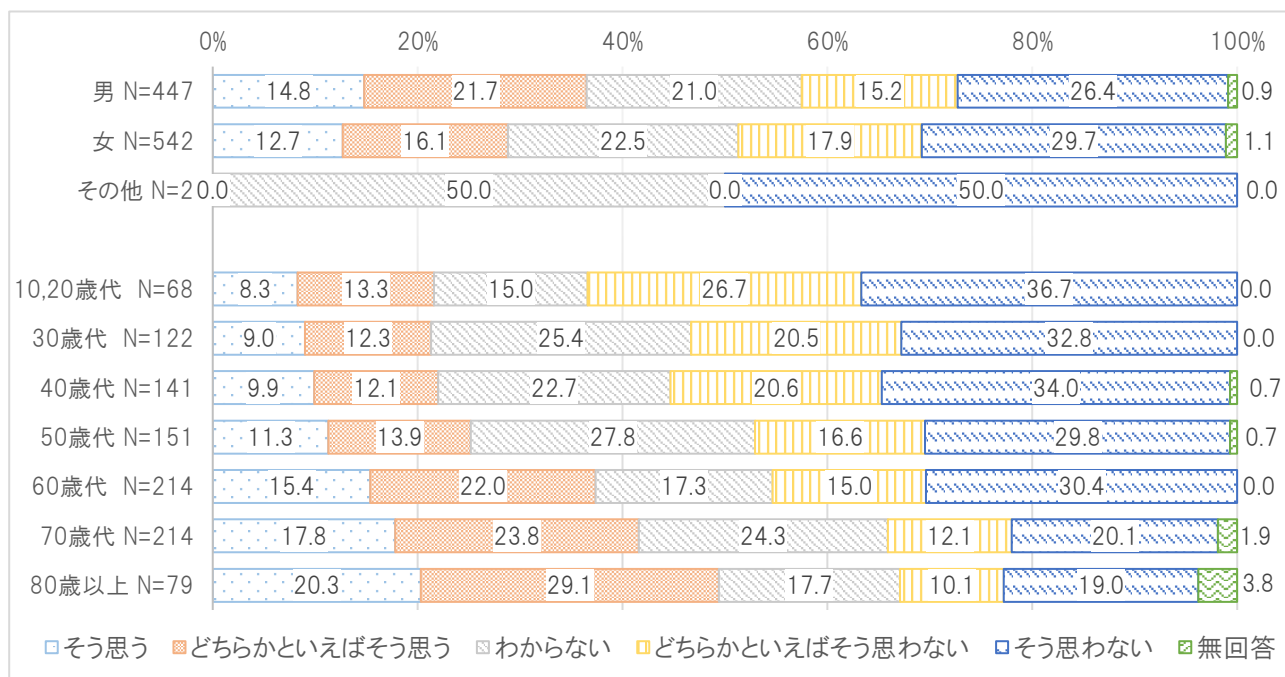
キ．結婚の際に、相手の身元調査をするのは当然のことである

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は 25.3%、女性は 19.9%となっている。年代別では、70 歳代、80 歳以上で 25%を超えている。



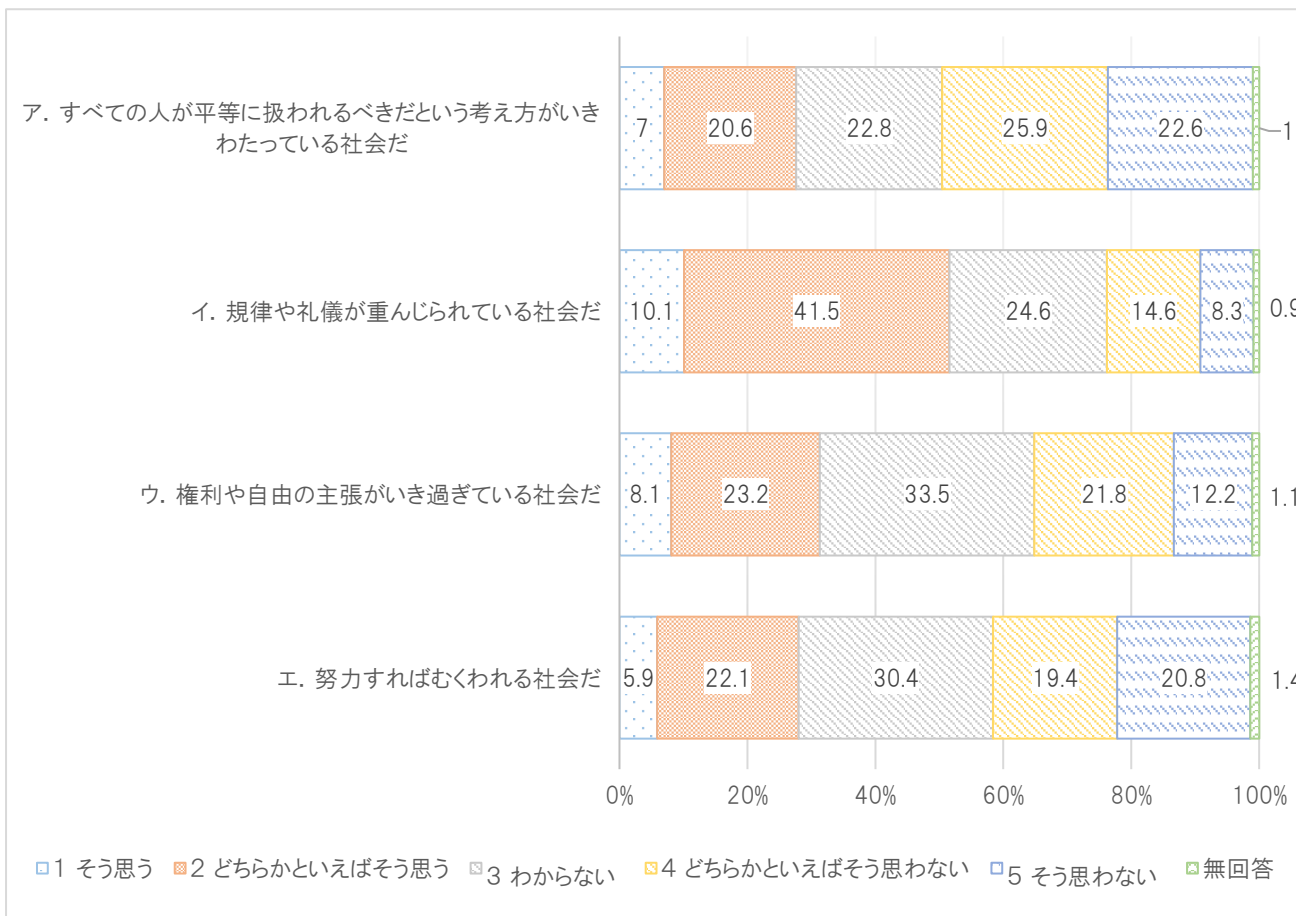
ク．差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は 36.5%、女性は 28.8%となっている。年代別では、50 歳代以上で 25%を超え、高年齢層になるにつれ高まっている。



問2 次のア～エにあげる現在の日本社会に関する考え方についてどのように思いますか。1～5の中から、それぞれにあてはまる番号を回答用紙に記入してください。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた比率をみると、「イ. 規律や礼儀が重んじられている社会だ」が51.6%（前回平成28年：46.0%）と最も高く、次いで「ウ. 権利や自由の主張がいき過ぎている社会だ」の31.3%（前回平成28年：32.7%）であった。また、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた比率でみると、「ア. すべての人が平等に扱われるべきだ」という考え方がいきわたっている社会だ」が最も高く、48.5%（前回平成28年：44.7%）であった。

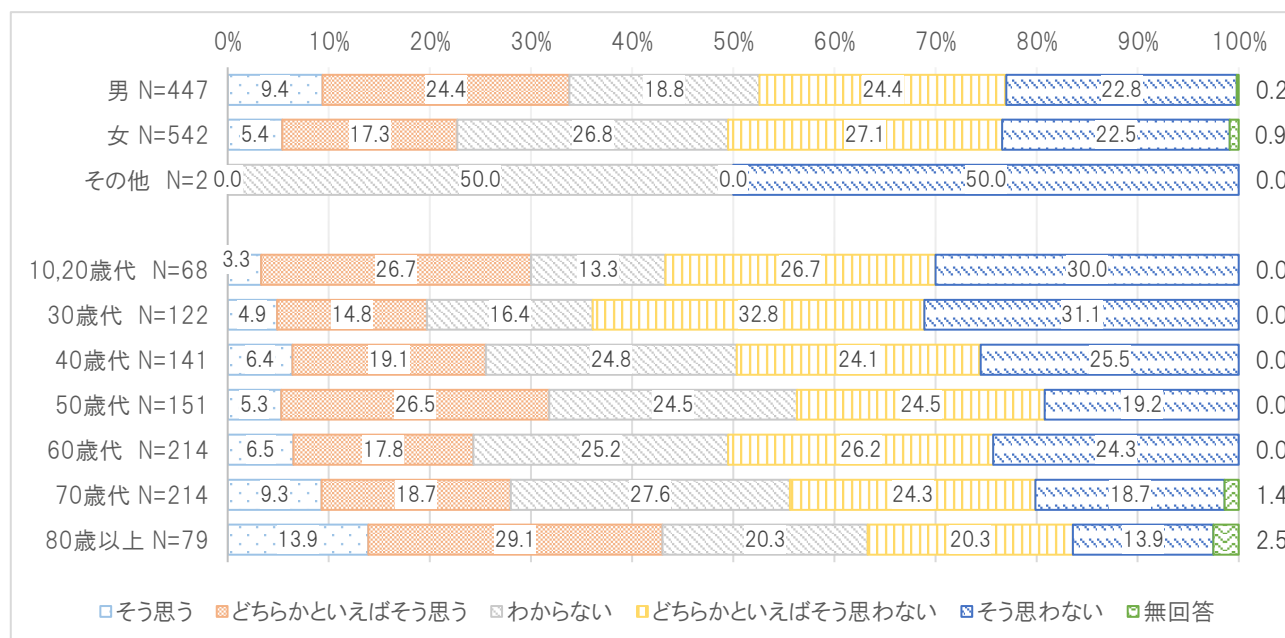


単位：％

区分	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらと もいえな い	どちらか といえ ばそう 思わない	そう思わ ない	無回答
ア. すべての人が平等に扱われるべきだという考え方がいきわたっている社会だ	7	20.6	22.8	25.9	22.6	1.0
イ. 規律や礼儀が重んじられている社会だ	10.1	41.5	24.6	14.6	8.3	0.9
ウ. 権利や自由の主張がいき過ぎている社会だ	8.1	23.2	33.5	21.8	12.2	1.1
エ. 努力すればむくわれる社会だ	5.9	22.1	30.4	19.4	20.8	1.4

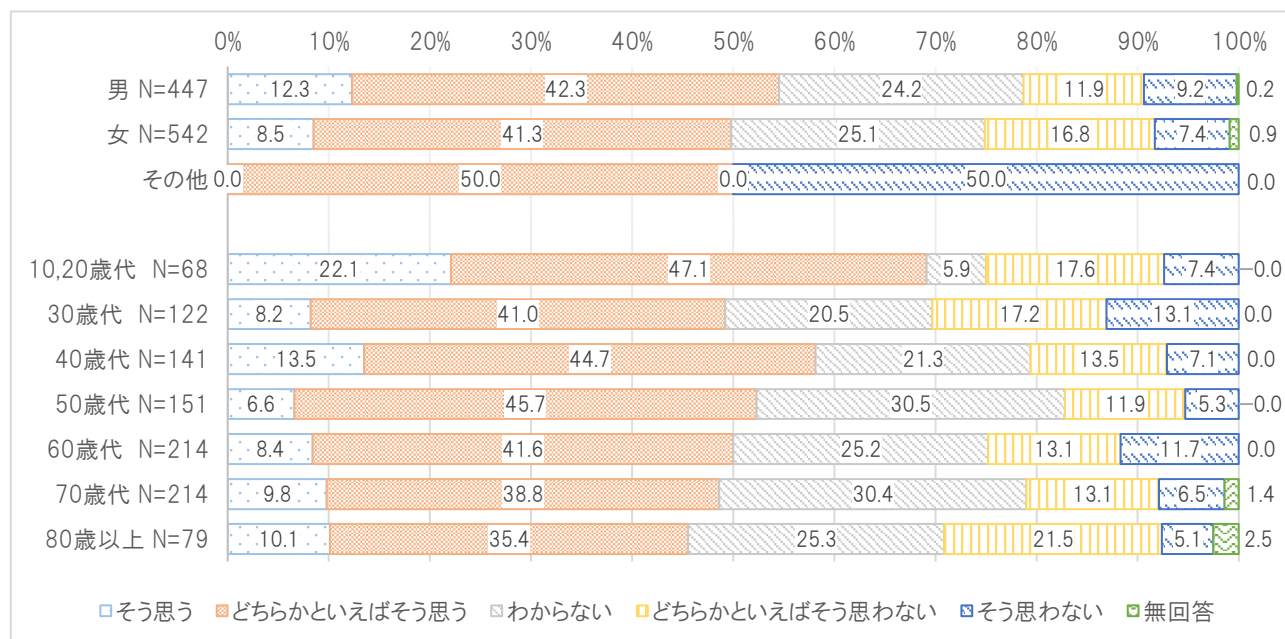
ア. すべての人が平等に扱われるべきだという考え方がいきわたっている社会だ

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は 33.8%、女性は 22.7%となっている。年代別では、年齢層により異なるが 80 歳以上が最も高く(43%)、30 歳代が最も低く(19.7%)となっている。



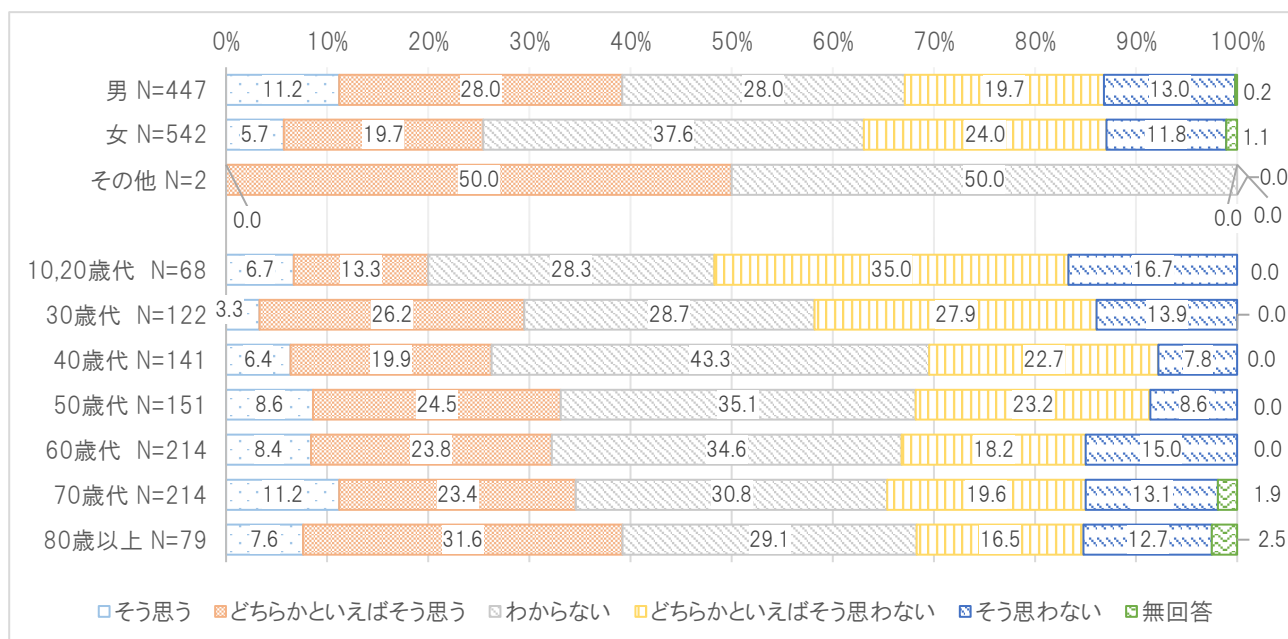
イ. 規律や礼儀が重んじられている社会だ

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は 54.6%、女性は 49.8%となっている。年代別では、10、20 歳代が 69.2%と最も高く、80 歳以上は 45.5%と最も低くなっている。



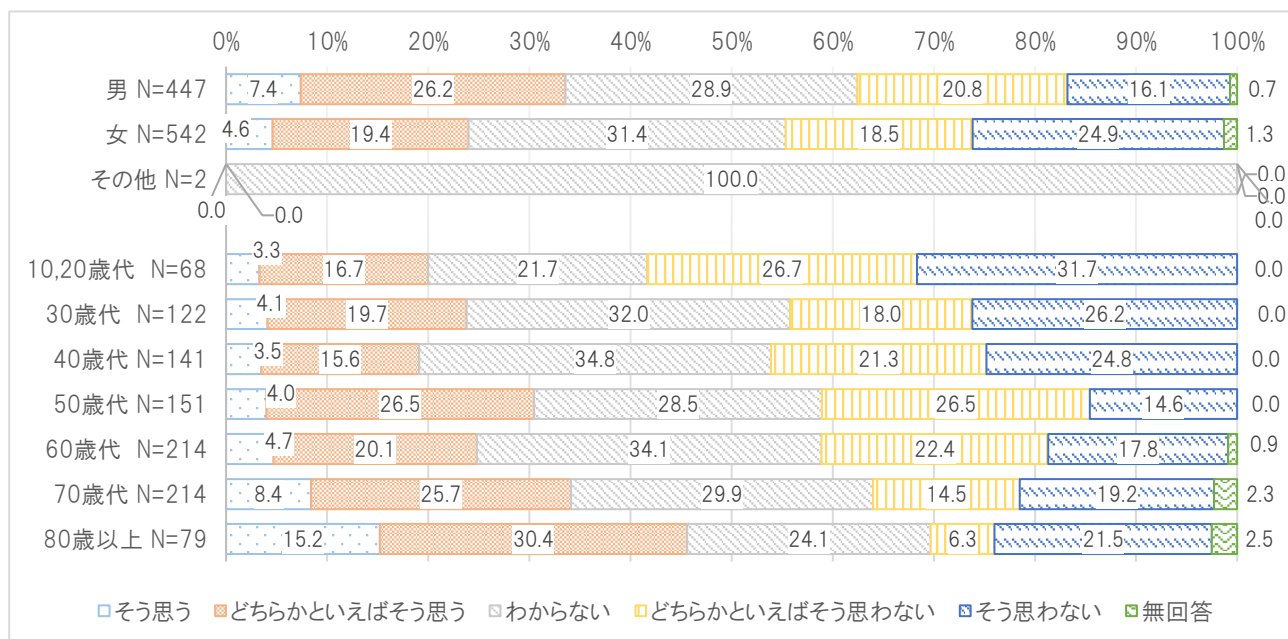
ウ. 権利や自由の主張がいき過ぎている社会だ

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は 39.2%、女性は 25.4%となっている。年代別では、10、20 歳代では 20%だが、年齢層が上がるにつれ高まっている。



エ. 努力すればむくわれる社会だ

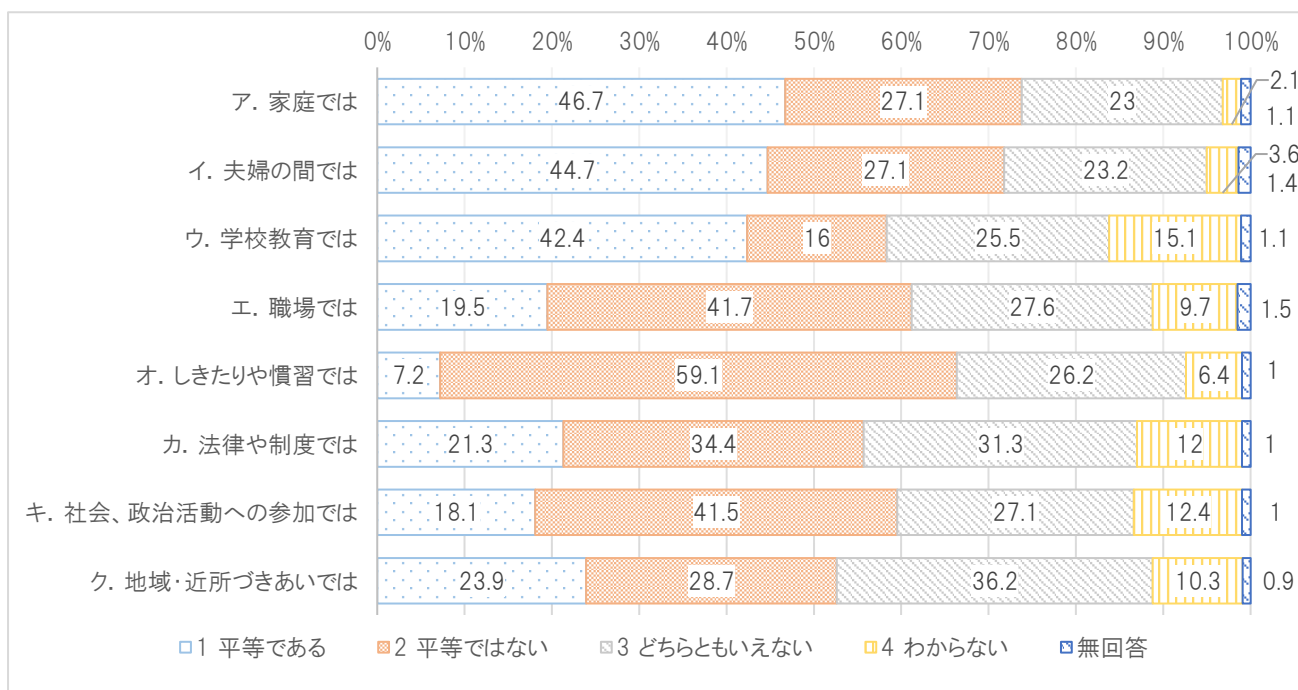
「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性は 33.6%、女性は 24%となっている。年代別では、最も多い 80 歳以上は 45.6%、最も低い 40 歳以上は 19.1%で、その差は 25%を超えている。



女性の人権について

問3 次のア～クの項目における男女の地位について、どのように思いますか。1～4の中から、それぞれにあてはまる番号を回答用紙に記入してください。

「1. 平等である」の回答比率は「ア. 家庭では」が最も高く46.7%（前回平成28年：50.6%）、次いで「イ. 夫婦の間では」が44.7%（前回平成28年：48.3%）、「ウ. 学校教育では」が42.4%（前回平成28年：45.3%）となっている。一方で、「2. 平等ではない」の回答は、「オ. しきたりや慣習では」が最も高く59.1%（前回平成28年：44.3%）となっている。

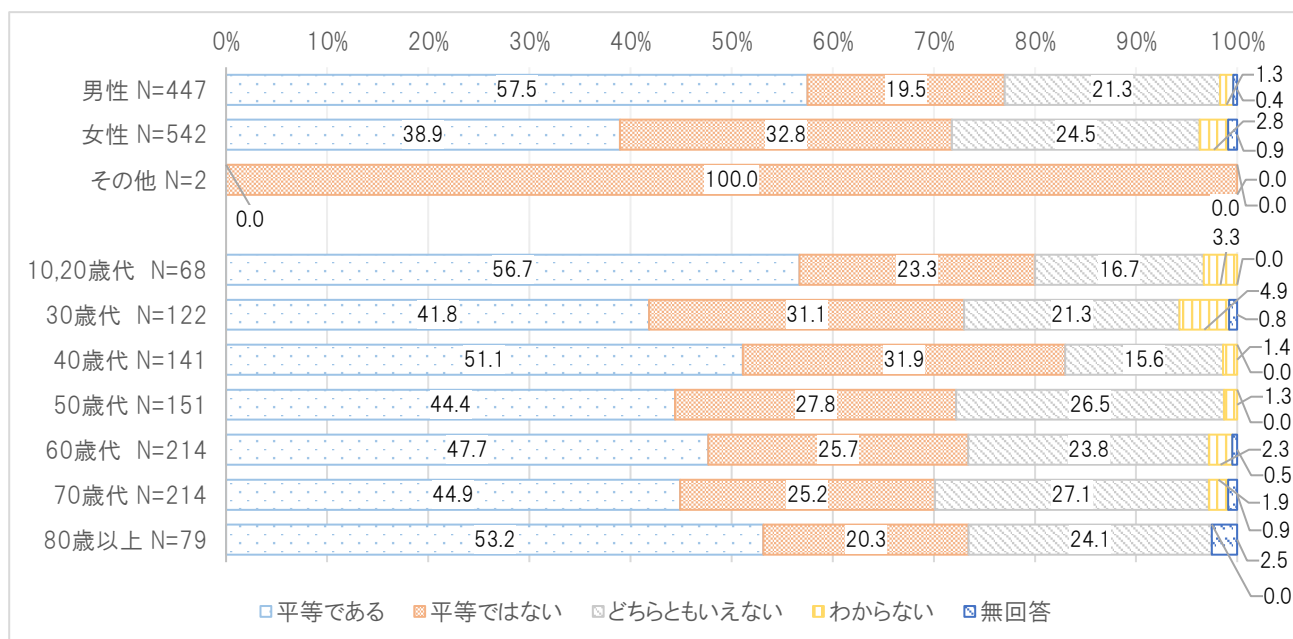


単位：%

区分	平等	不平等	どちらともいえない	わからない	無回答
ア. 家庭では	46.7	27.1	23.0	2.1	1.1
イ. 夫婦の間では	44.7	27.1	23.2	3.6	1.4
ウ. 学校教育では	42.4	16.0	25.5	15.1	1.1
エ. 職場では	19.5	41.7	27.6	9.7	1.5
オ. しきたりや慣習では	7.2	59.1	26.2	6.4	1.0
カ. 法律や制度では	21.3	34.4	31.3	12.0	1.0
キ. 社会、政治活動への参加では	18.1	41.5	27.1	12.4	1.0
ク. 地域、近所づきあいでは	23.9	28.7	36.2	10.3	0.9

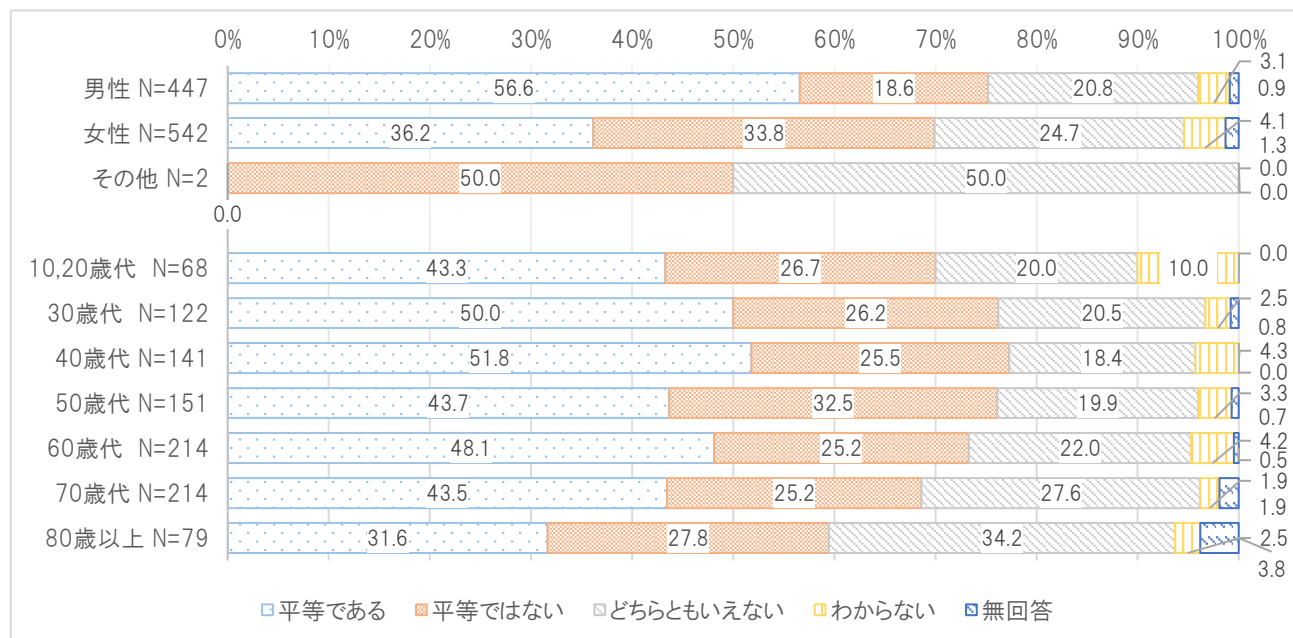
ア. 家庭では

「平等である」との回答率は、男性は 57.5%、女性は 38.9%となっている。年代別では、10,20 歳代、40 歳代、80 歳以上で、50%を超えている。



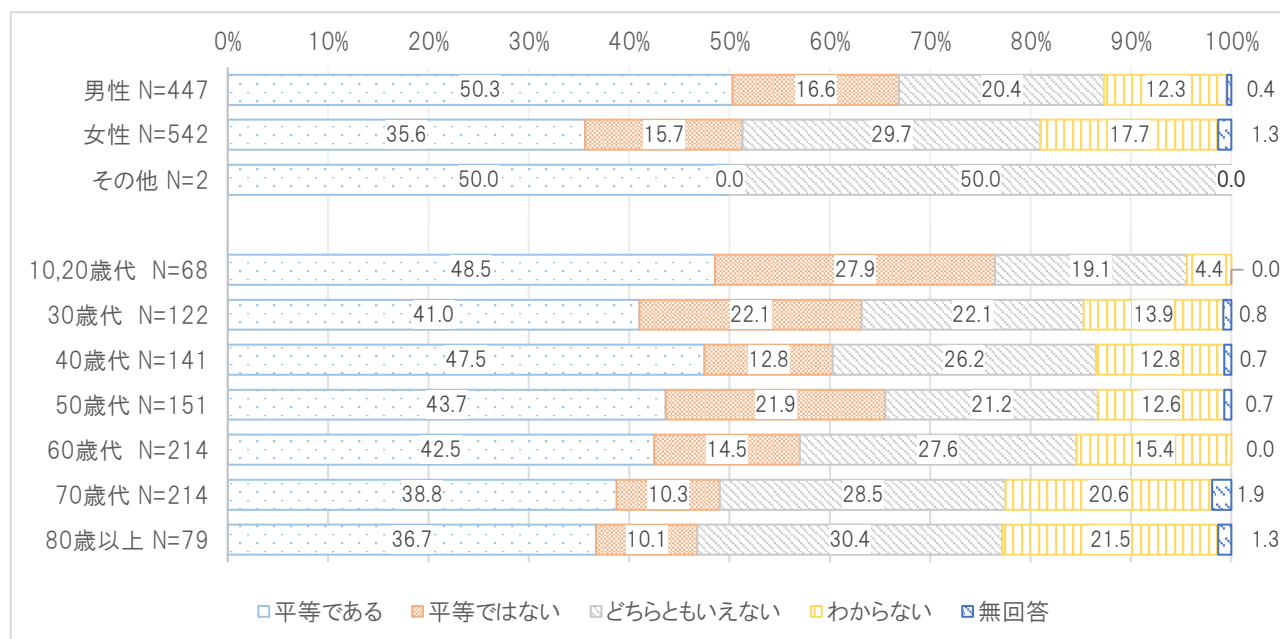
イ. 夫婦の間では

「平等である」との回答率は、男性は 56.6%、女性は 36.2%で、その差は 20 ポイント。年代別では、30 歳代、40 歳代では 50%だが、その他の年齢層は 50%を下回り、80 歳以上では 31.6%となっている。



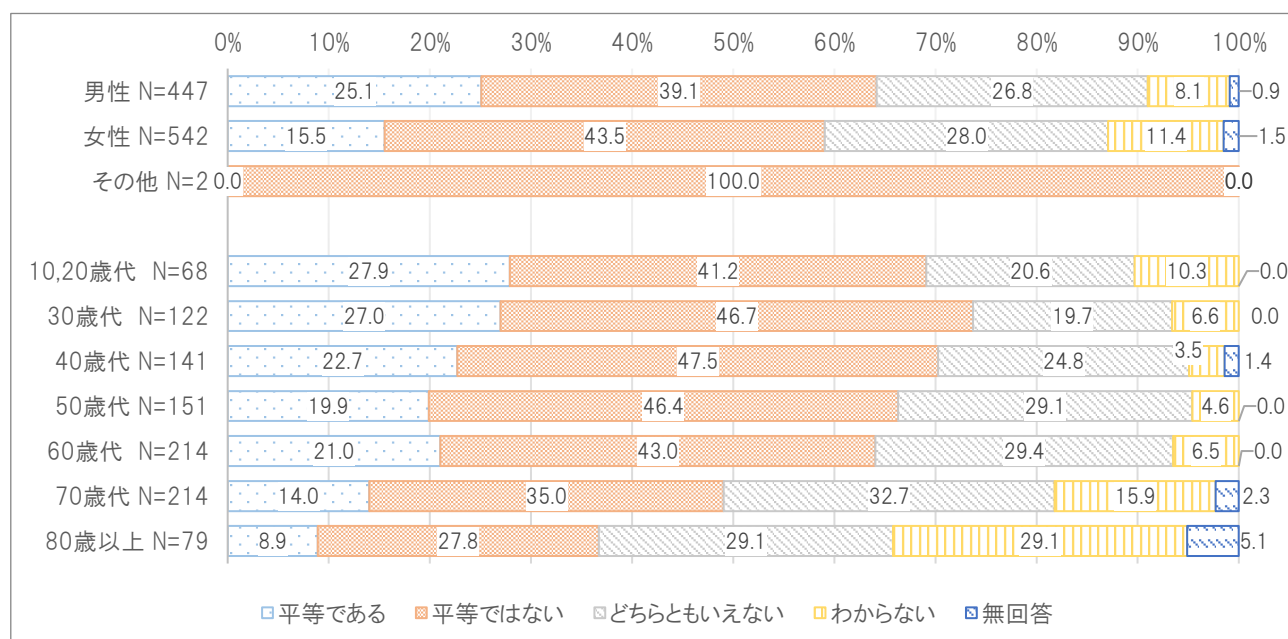
ウ. 学校教育では

「平等である」との回答率は、男性は 50.3%、女性は 35.6%で、その差は 14 ポイント。年代別では、10、20 歳代が最も高く（48.5%）、80 歳以上が最も低く（36.7%）になっている。



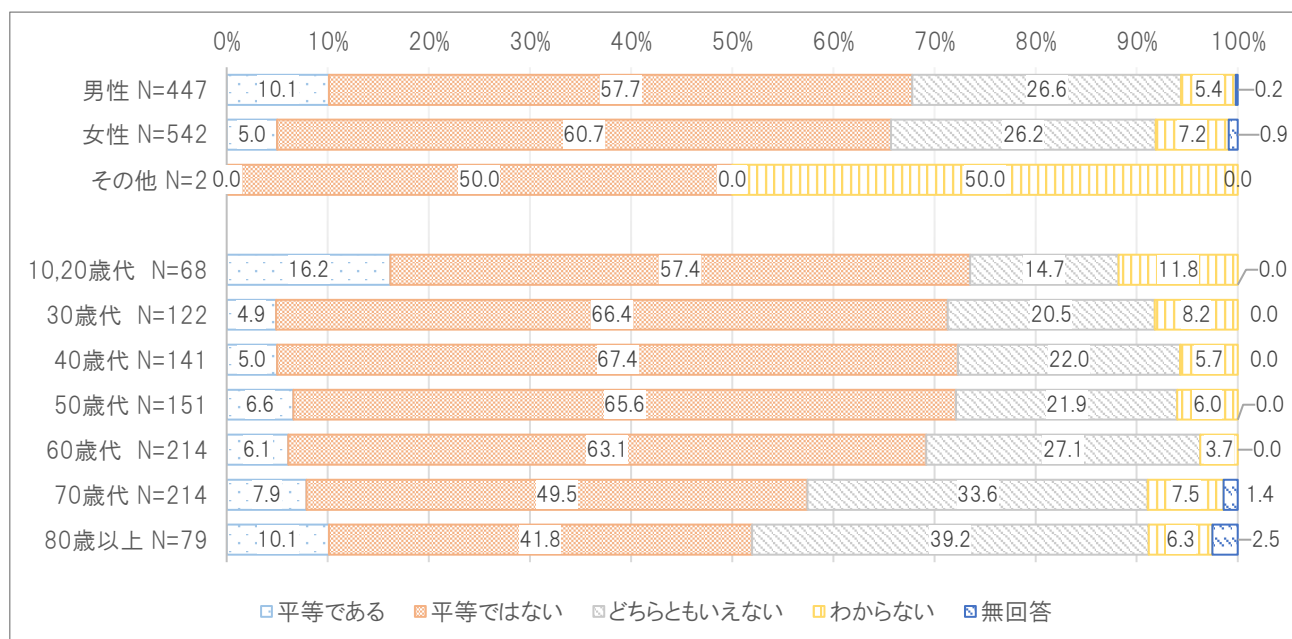
エ. 職場では

「平等ではない」との回答率は、男性は 39.1%、女性は 43.5%となっている。年代別では、60 歳代以下では 40%を超えている。



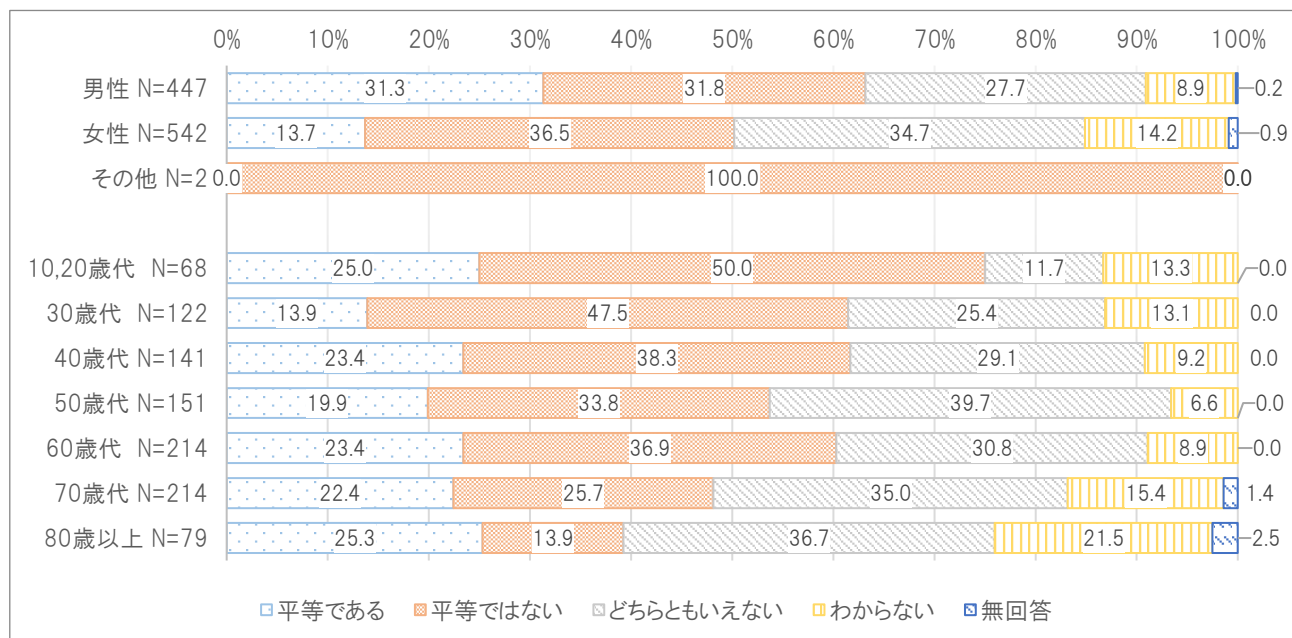
オ. しきたりや慣習では

「平等ではない」との回答率は、男性は 57.7%、女性は 60.7%となっている。年代別では、40 歳代が最も高く(67.4%)、最も低い 80 歳以上でも 40%を超えている。



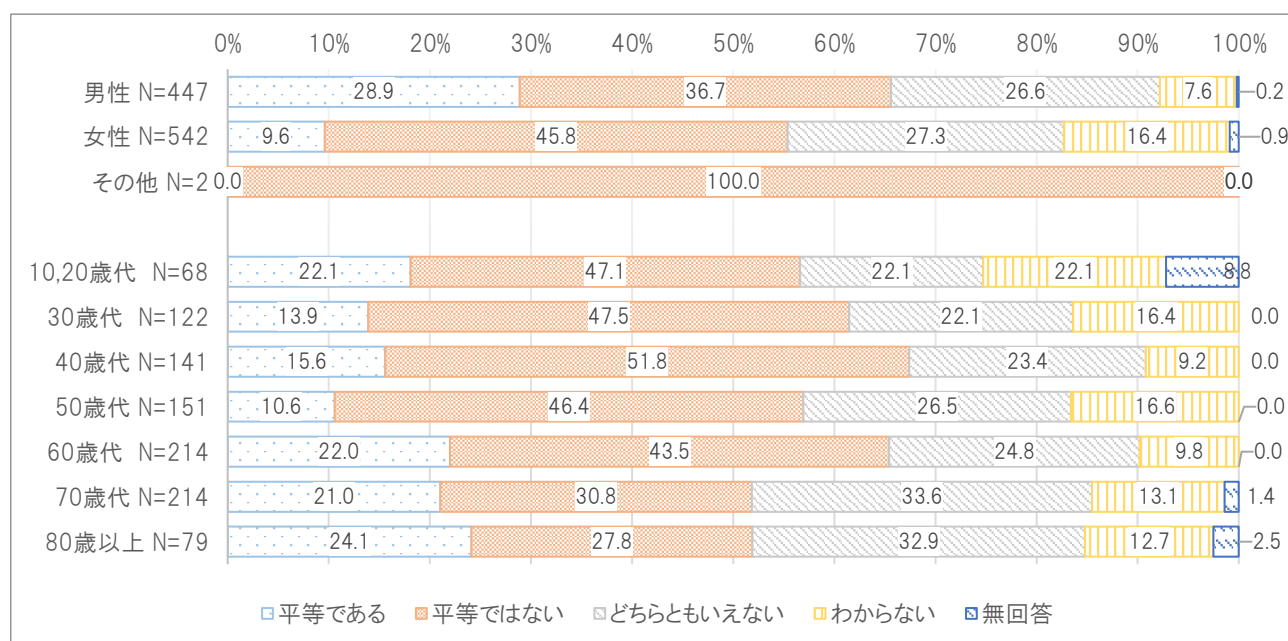
カ. 法律や制度では

「平等ではない」との回答率は、男性は 31.8%、女性は 36.5%となっている。年代別では、10、20 歳代が最も高く(50%)で、年齢層が高くなるにつれ低くなっている。



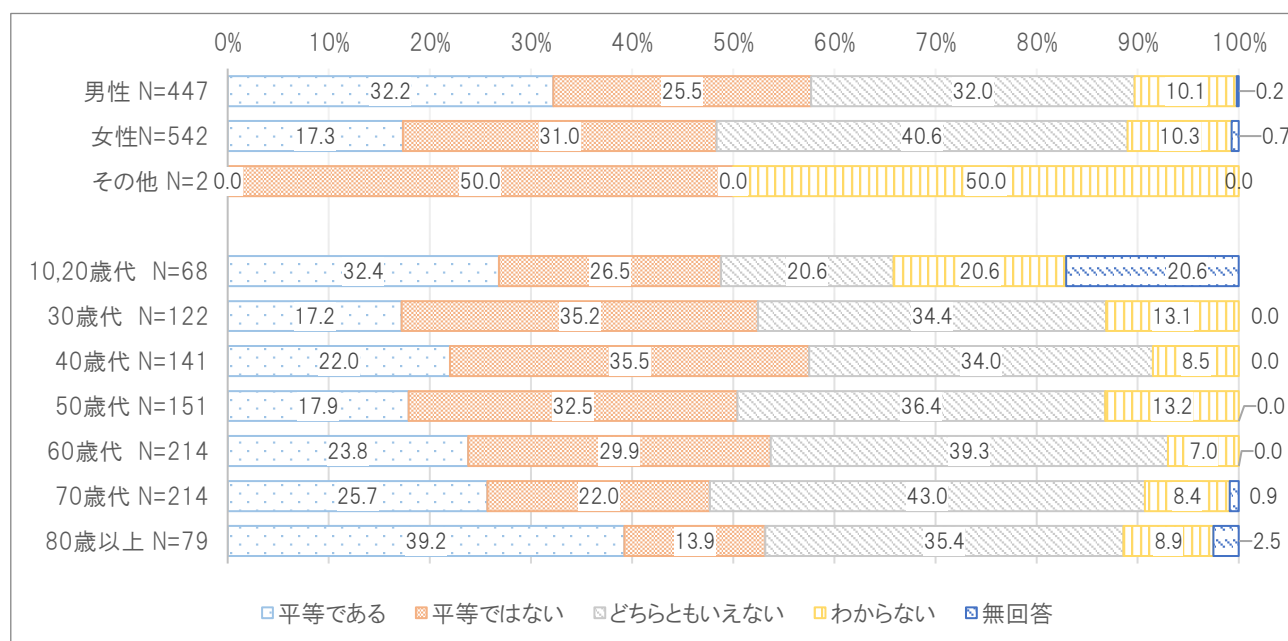
キ. 社会、政治活動への参加では

「平等ではない」との回答率は、男性は 36.7%、女性は 45.8%となっている。年代別では、60 歳代以下では 40%を超えるが、70 歳代、80歳以上では 30%以下となっている。



ク. 地域・近所づきあいでは

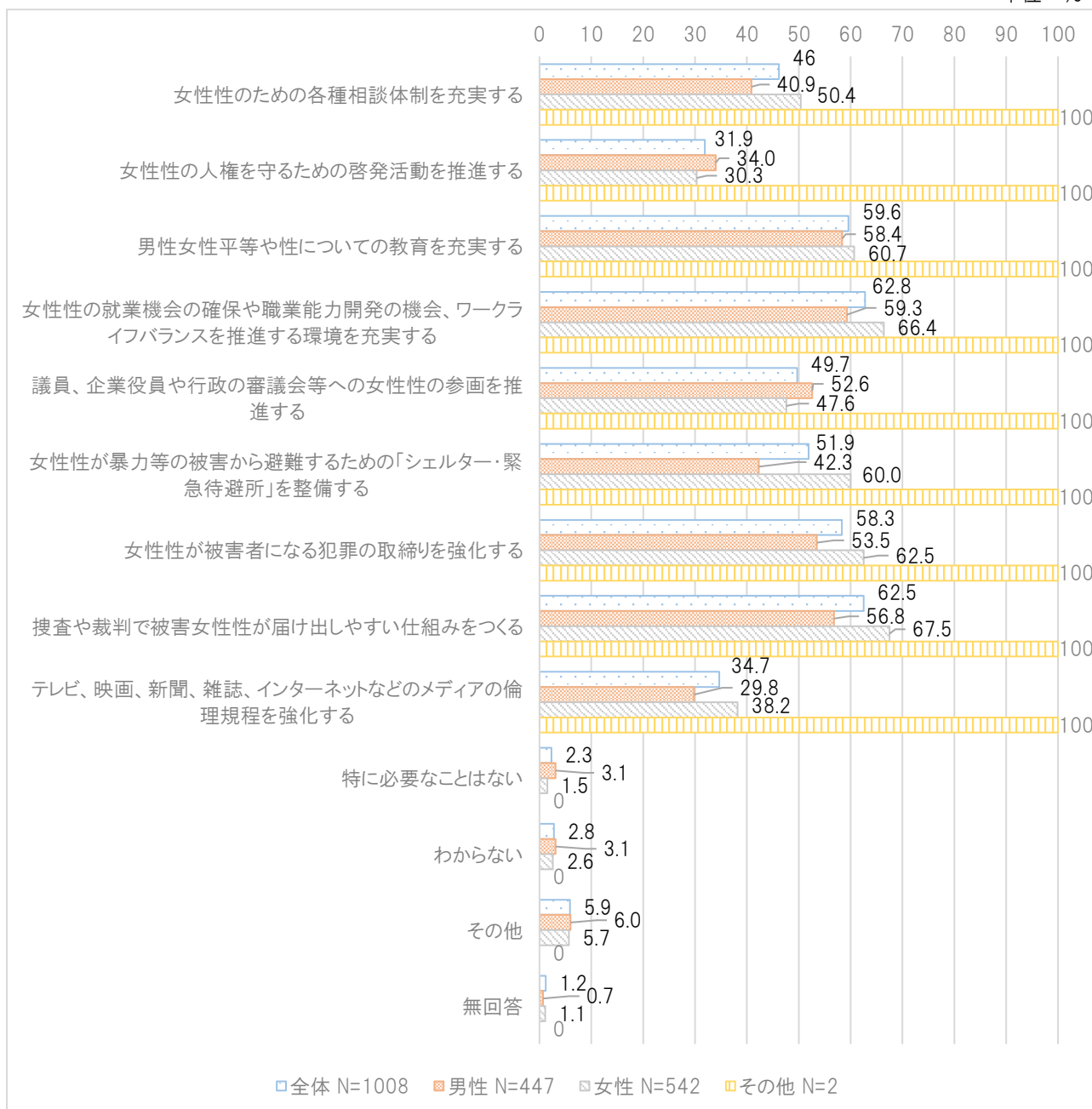
「平等である」との回答率は、男性は 32.2%、女性は 17.3%で、その差は 14.9 ポイント。年代別では、30 歳代が最も低く(17.2%)、80歳以上が最も高く(39.2%)になっている。



問4 女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号のすべてを回答用紙に記入してください。

「4. 女性の就業機会の確保や職業能力開発の機会、ワークライフバランスを推進する環境を充実する」が62.8%と最も高く、次いで「8. 捜査や裁判で被害女性が届けやすい仕組みをつくる」が62.5%、次いで「3. 男女平等や性についての教育を充実する」が59.6%となっている。

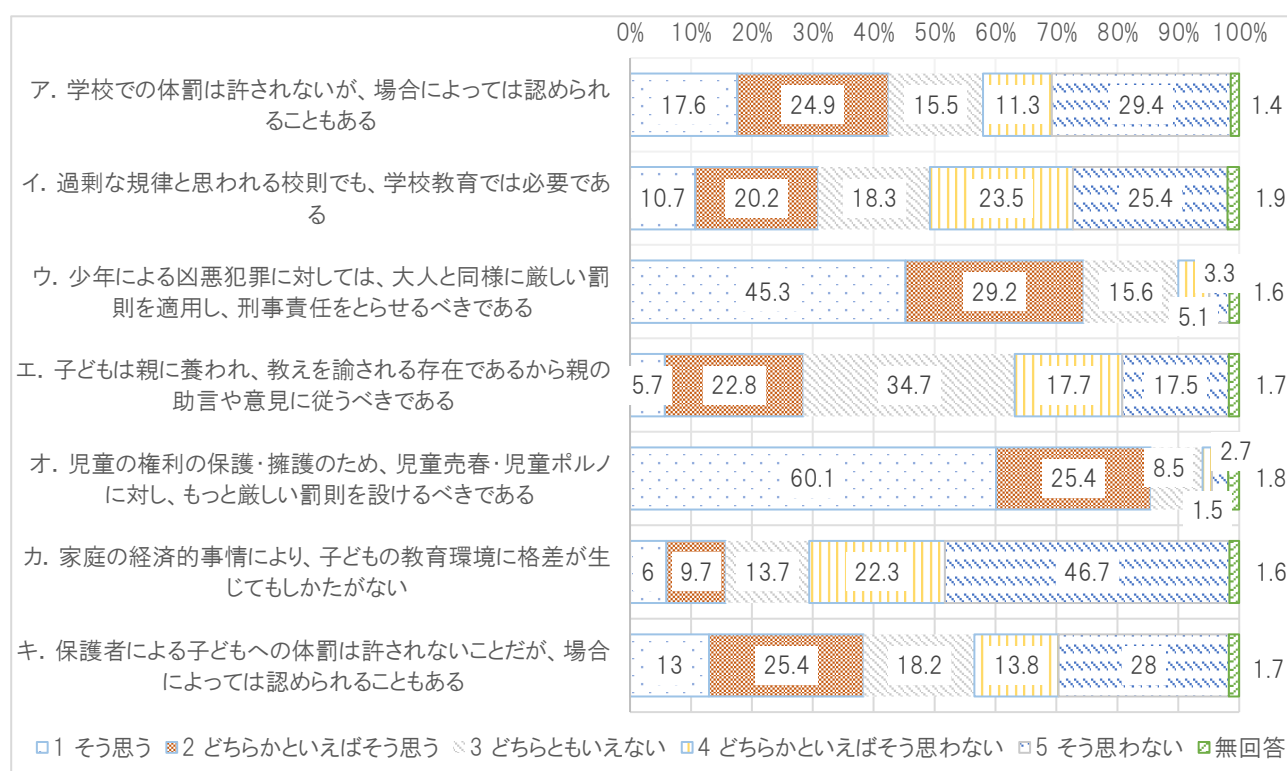
単位：％



こどもの人権について

問5 子どもに対する次のア～キの意見についてどのように思いますか。1～5の中から、それぞれにあてはまる番号を回答用紙に記入してください。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた比率でみると、「オ. 児童の権利の保護・擁護のため、児童買春・児童ポルノに対し、もっと厳しい罰則を設けるべきである」が85.5%（前回平成28年：85.2%）と最も高く、次いで「ウ. 少年による凶悪犯罪に対しては、大人と同様に厳しい罰則を適用し、刑事責任をとらせるべきである」が74.5%（前回平成28年：77.3%）であった。また、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた比率でみると、「カ. 家庭の経済的事情により子どもの生活環境に格差が生じてもしかたがない」が最も高く、69.0%（前回項目なし）であった。

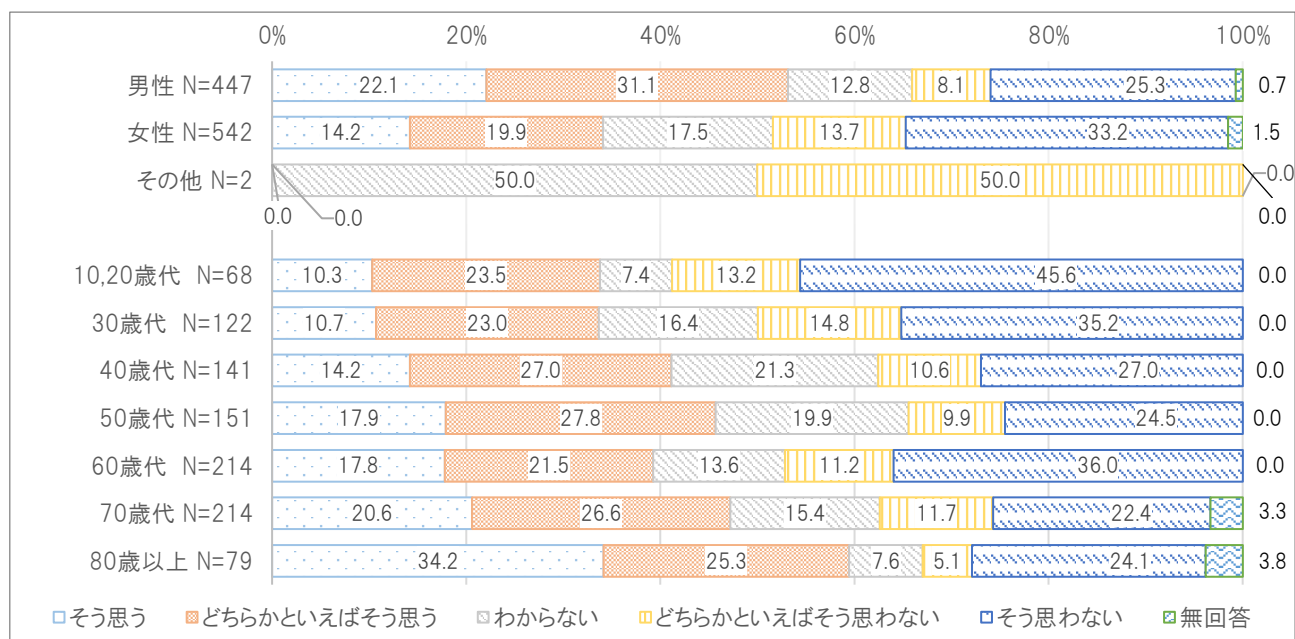


単位：％

区分	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	無回答
ア. 学校での体罰は許されないが、場合によっては認められることもある	17.6	24.9	15.5	11.3	29.4	1.4
イ. 過剰な規律と思われる校則でも、学校教育では必要である	10.7	20.2	18.3	23.5	25.4	1.9
ウ. 少年による凶悪犯罪に対しては、大人と同様に厳しい罰則を適用し、刑事責任をとらせるべきである	45.3	29.2	15.6	5.1	3.3	1.6
エ. 子どもは親に養われ、教えを諭される存在であるから親の助言や意見に従うべきである	5.7	22.8	34.7	17.7	17.5	1.7
オ. 児童の権利の保護・擁護のため、児童売春・児童ポルノに対し、もっと厳しい罰則を設けるべきである	60.1	25.4	8.5	1.5	2.7	1.8
カ. 家庭の経済的事情により、子どもの教育環境に格差が生じてもしかたがない	6	9.7	13.7	22.3	46.7	1.6
キ. 保護者による子どもへの体罰は許されないことだが、場合によっては認められることもある	13	25.4	18.2	13.8	28.0	1.7

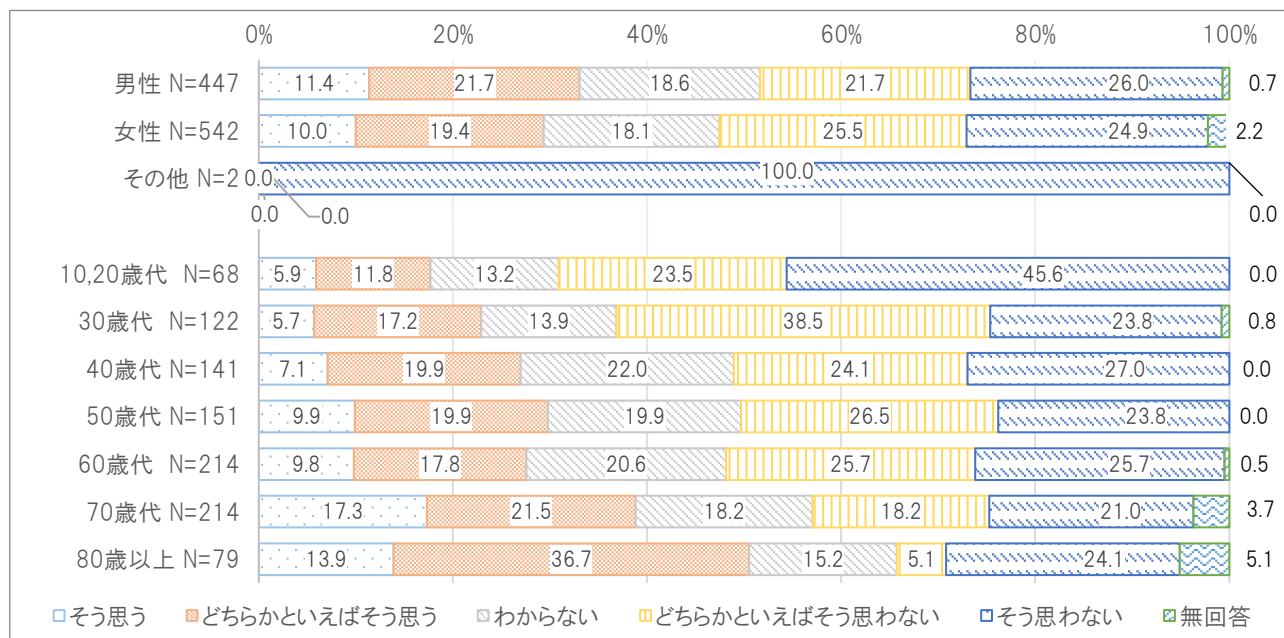
ア．学校での体罰は許されないことだが、場合によっては認められることもある

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 53.2%、女性 34.1%となっている。
年代別では、30 歳代から年齢層が上がるにつれ、高くなっている。



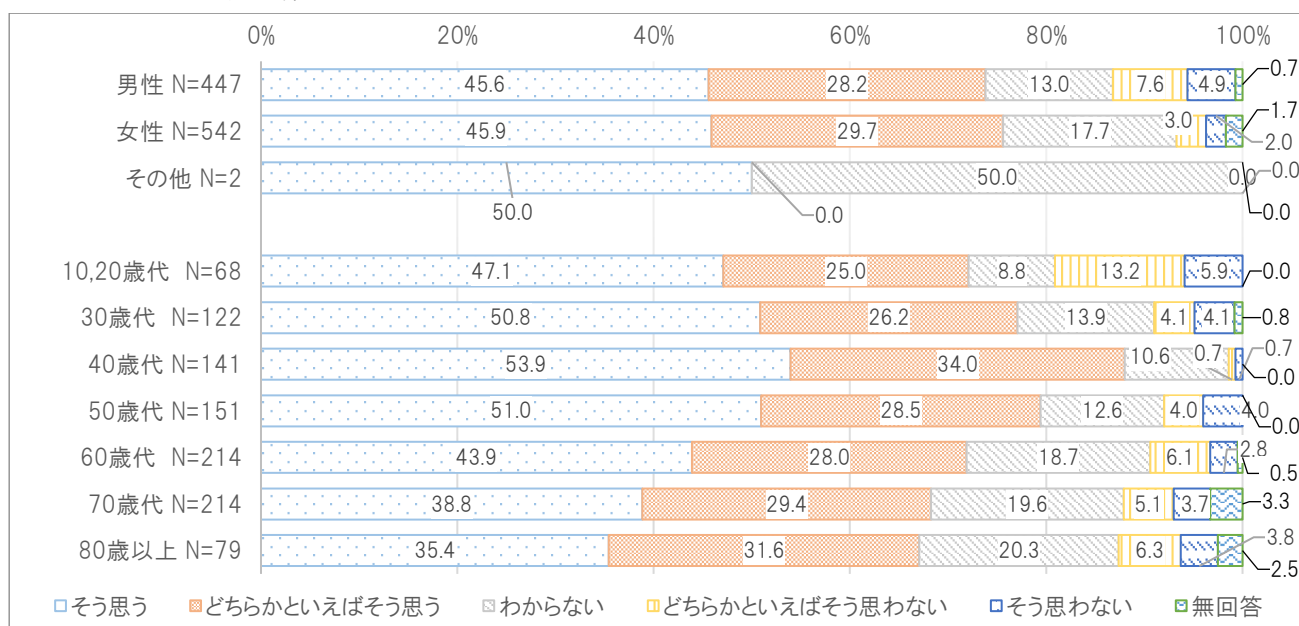
イ．過剰な規律と思われる校則でも、学校教育では必要である

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 33.1%、女性 29.4%となっている。
年代別では、年齢層が上がるにつれ、高くなっている。



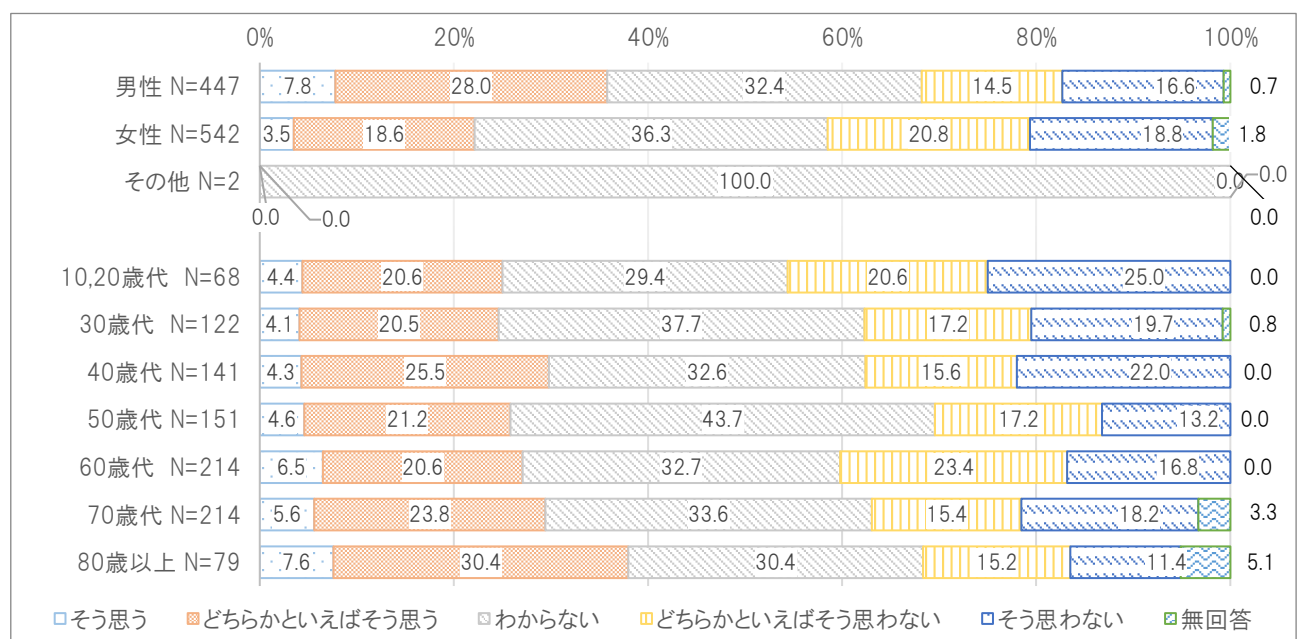
ウ. 少年が凶悪犯罪を犯した場合には、大人と同様に厳しい罰則を適用し、刑事責任をとらせるべきである

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 73.8%、女性 75.6%となっている。
年代別では、全ての年齢層で 65%を超えている。



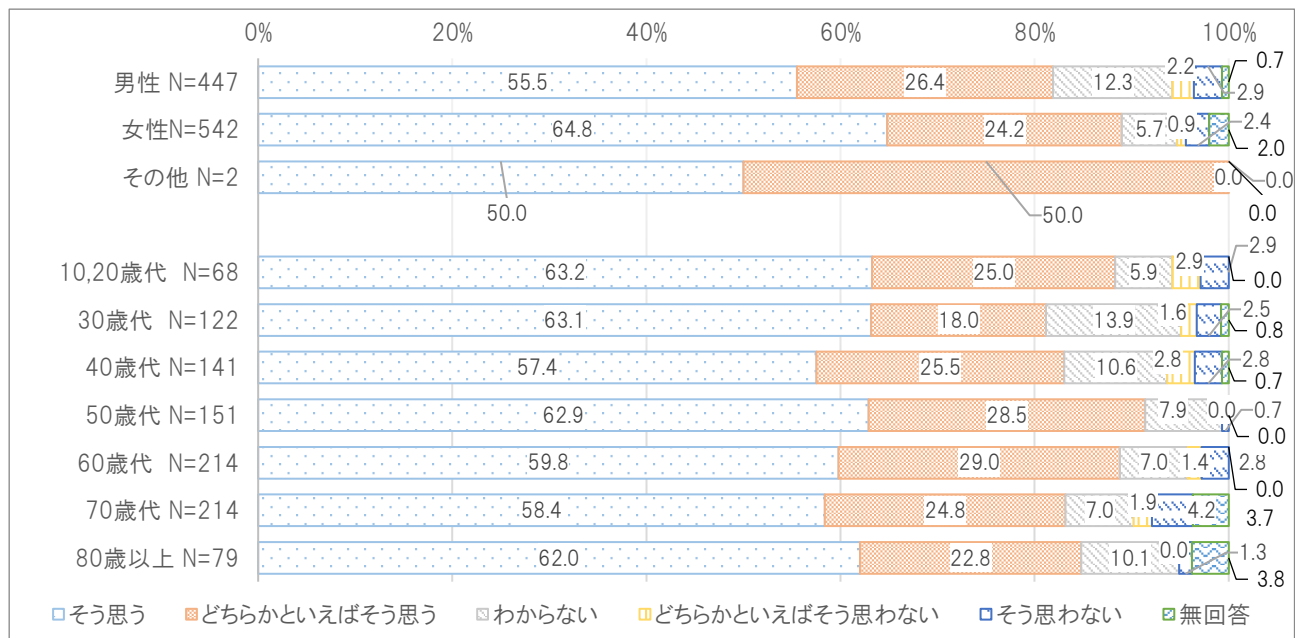
エ. 子どもは親に養われ、教えを諭される存在であるから親の助言や意見に従うべきである

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 35.8%、女性 22.1%となっている。
年代別では、80 歳以上が最も高く (38%) になっている。



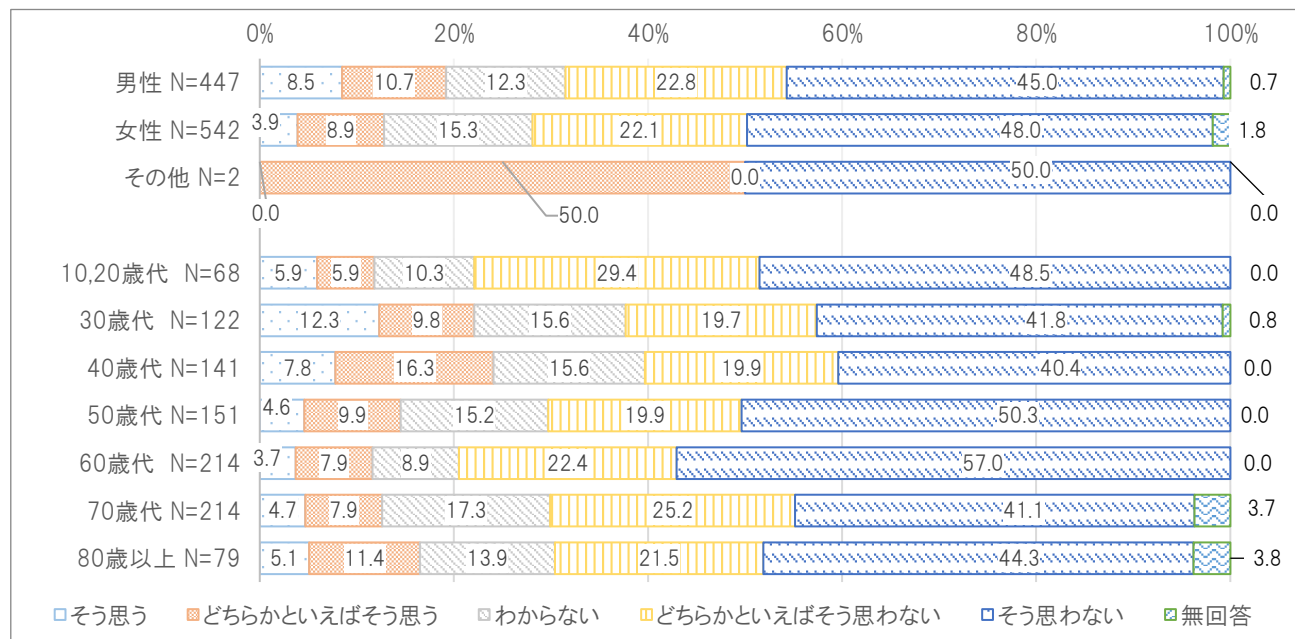
オ．児童の権利の保護・擁護のため、児童売春・児童ポルノに対し、もっと厳しい罰則を設けるべきである

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 81.9%、女性 89%となっている。年代別でも全ての年齢層で 80%を超えている。



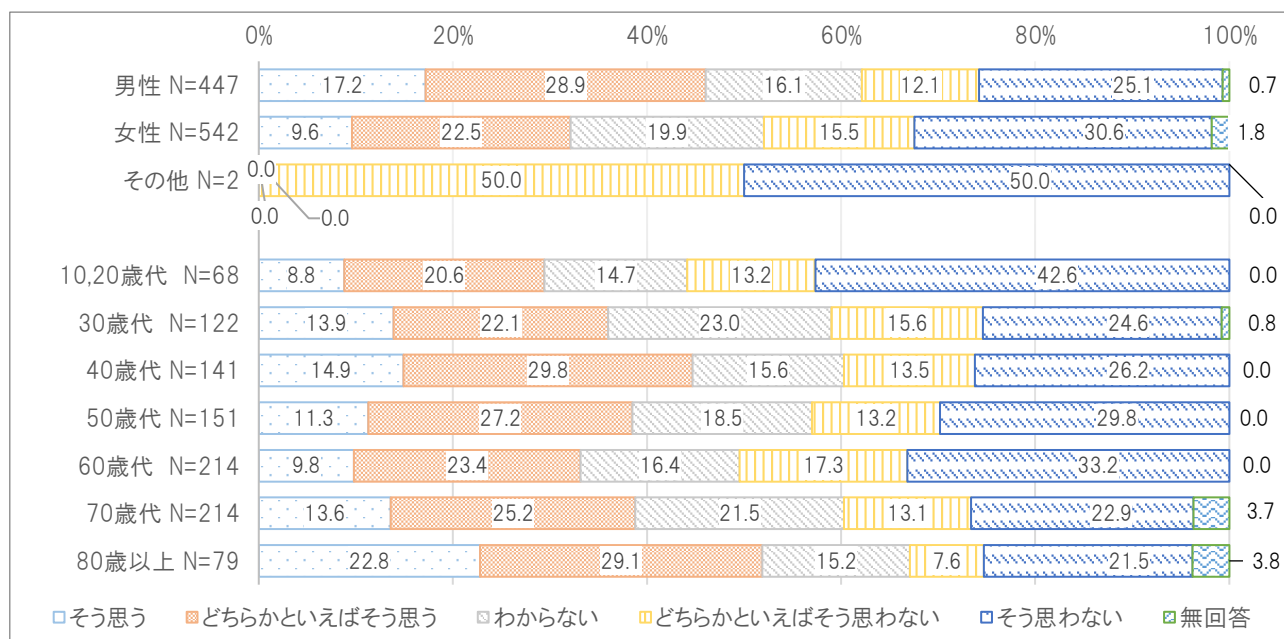
カ．家庭の経済的事情により、子どもの教育環境に格差が生じてもしかたがない

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 19.2%、女性 12.8%となっている。年代別では、40 歳代が最も高く (24.1%) となっている。



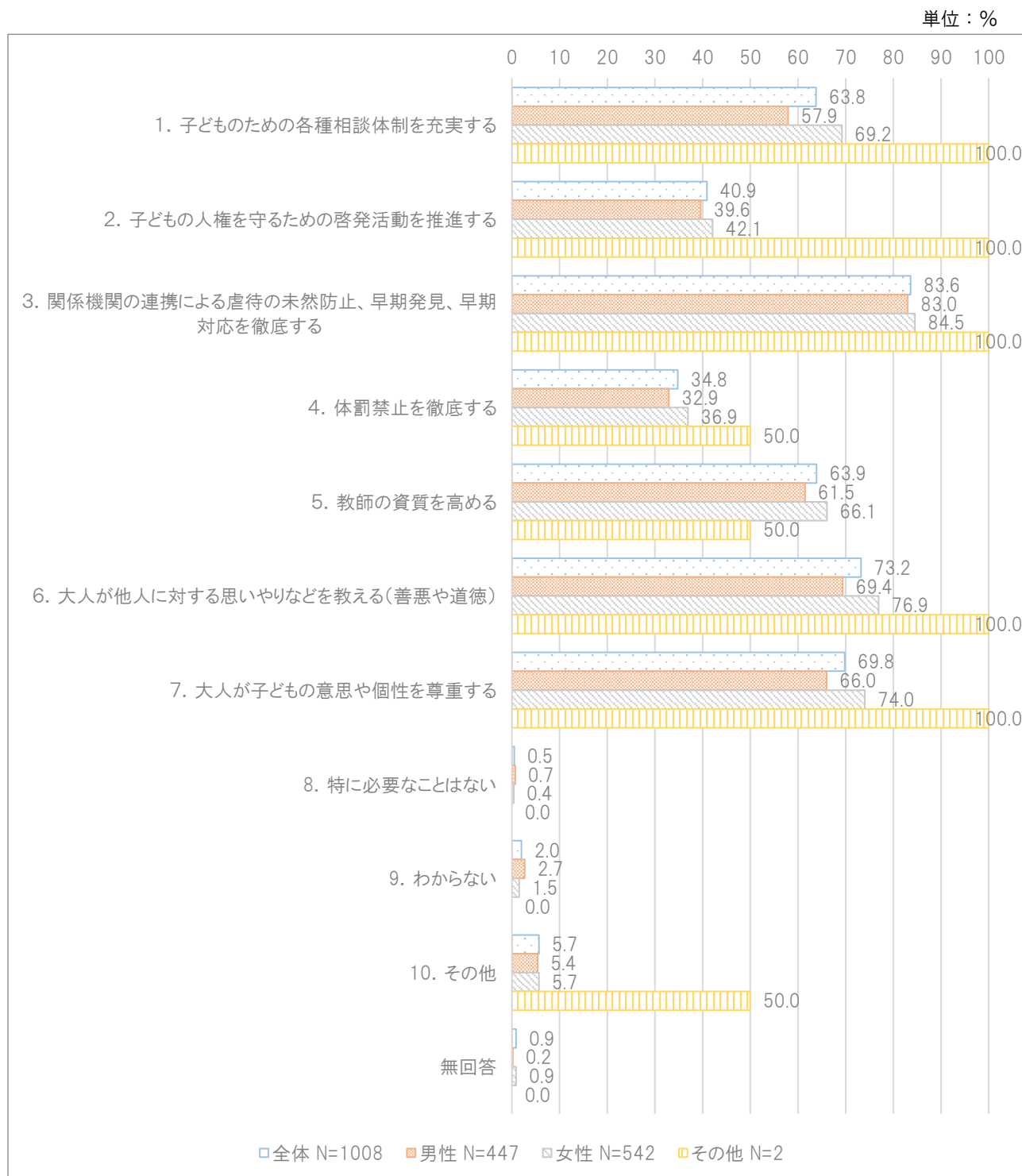
キ. 保護者による子どもへの体罰は許されないことだが、場合によっては認められることもある

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率は、男性 46.1%、女性 32.1%となっている。
年代別では、10、20 歳代が最も低く（29.4%）、80 歳以上が最も高く（51.9%）になっている。



問6 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてを回答用紙に記入してください。

「3. 関係機関の連携による虐待の未然防止、早期発見、早期対応を徹底する」が83.6%と最も高く、次いで「6. 大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道徳）」が73.2%、次いで「7. 大人が子どもの意思や個性を尊重する」が69.8%となっている。



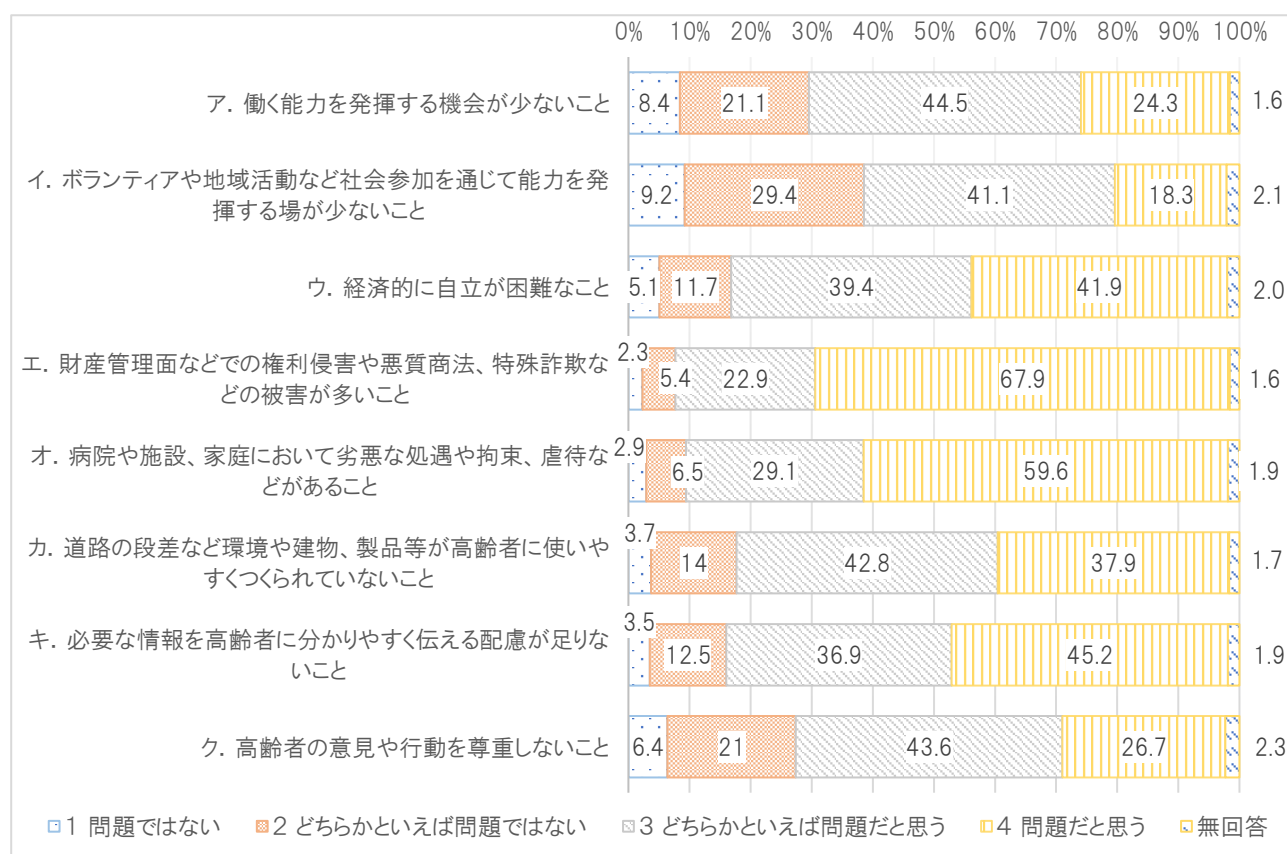
単位：％

区分	10・20 歳代 【N=68】	30 歳代 【N=122】	40 歳代 【N=141】	50 歳代 【N=151】	60 歳代 【N=214】	70 歳代 【N=214】	80 歳代 以上 【N=79】
子どものための各種相談体制を充実する	55.9	69.7	56.0	60.9	64.5	66.8	74.7
子供の人権を守る為の啓発活動を推進する	25	34.4	31.2	34.4	42.1	51.9	63.3
関係機関の連携による虐待の未然防止、 早期発見、早期対応を徹底する	89.7	82.0	78.0	84.1	84.6	84.6	88.6
体罰禁止を徹底する	32.4	35.2	27.7	29.8	39.7	40.2	34.2
教師の資質を高める	52.9	59.0	60.3	60.3	70.1	68.2	65.8
大人が他人に対する思いやりなどを教える(善悪や道徳)	64.7	70.5	74.5	70.2	78.0	71.5	84.8
大人が子どもの意思や個性を尊重する	88.2	80.3	68.8	64.9	70.1	69.6	59.5
特に必要なことはない	1.5	0.8	0.7	0	0	0.9	0

高齢者の人権について

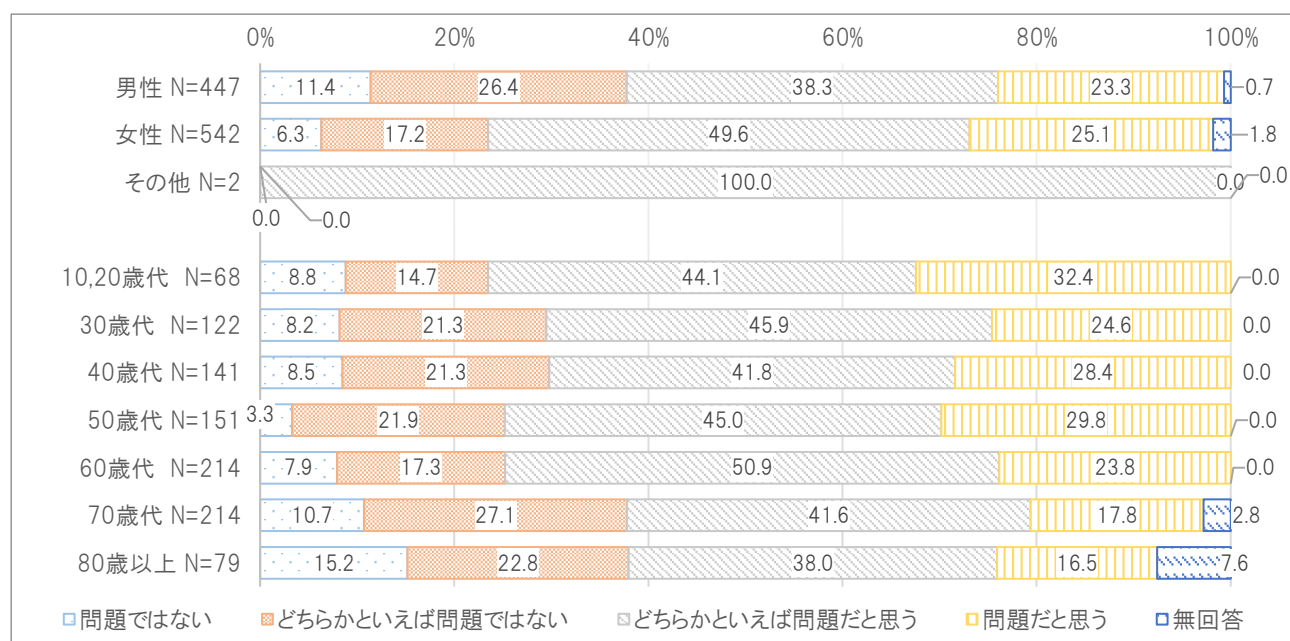
問7 高齢者（65歳以上）に関する次のア～クのことについて、どう思いますか。1～5の中から、それぞれにあてはまる番号を回答用紙に記入してください。

「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた比率でみると、「エ. 財産管理面などでの権利侵害や悪質商法、特殊詐欺などの被害が多いこと」が90.8%と最も高く、次いで「オ. 病院や施設、家庭において劣悪な処遇や拘束、虐待があること」が88.7%であった。また、「問題ではない」「どちらかといえば問題ではない」を合わせた比率でみると、「イ. ボランティアや地域活動など社会参加を通じて能力を発揮する場が少ないこと」が最も高く、38.6%であった。



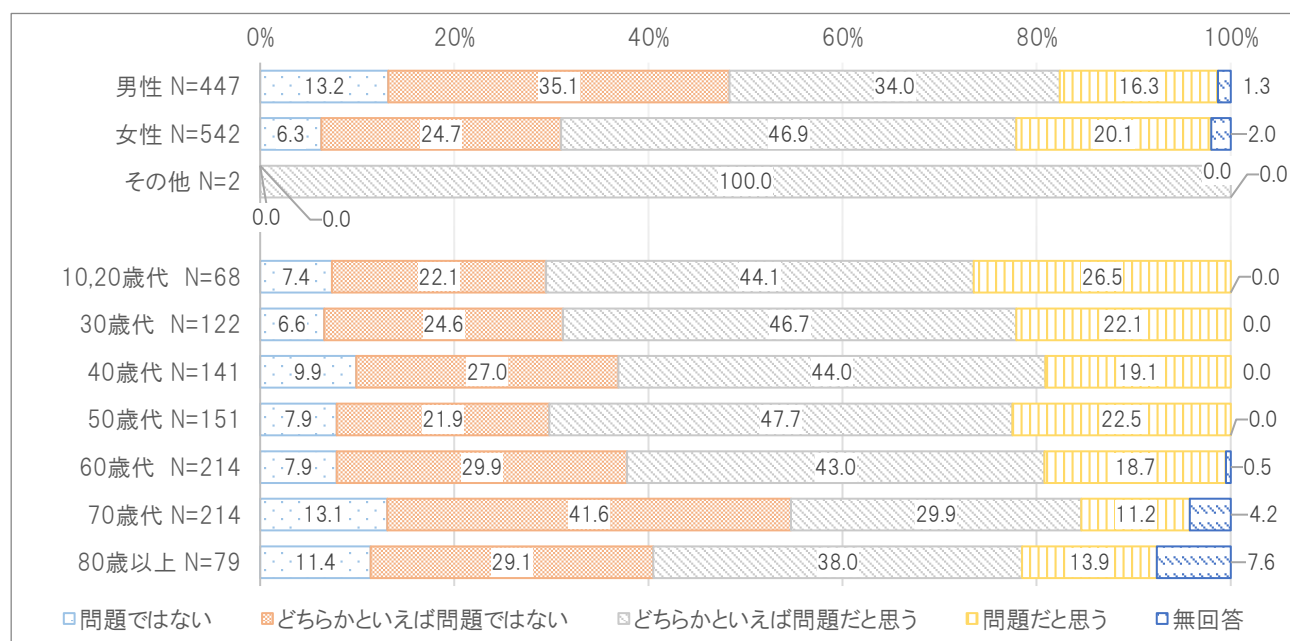
ア. 働く能力を発揮する機会が少ないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 61.6%、女性 74.7%となっている。年代別では、10、20 歳代が最も高く（76.5%）、80 歳以上が最も低く（54.5%）になっている。



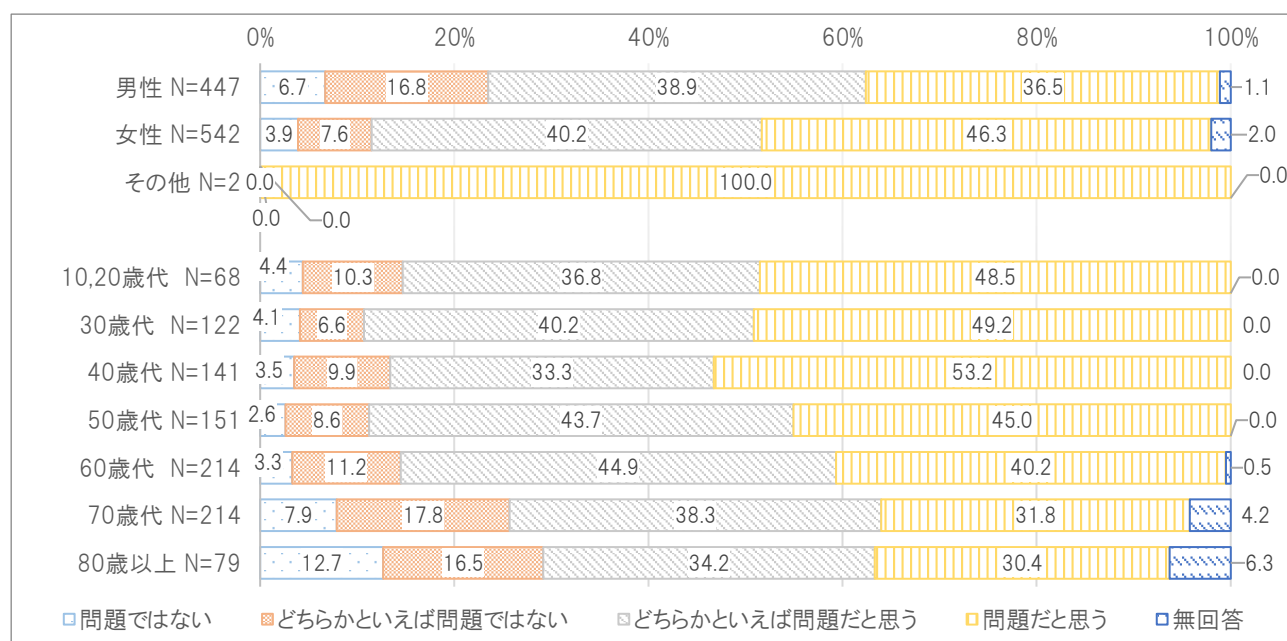
イ. ボランティアや地域活動など社会参加を通じて能力を発揮する場が少ないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 50.3%、女性 67%となっている。年代別では、10、20 歳代が最も高く（70.6%）、70 歳代が最も低く（41.1%）になっている。



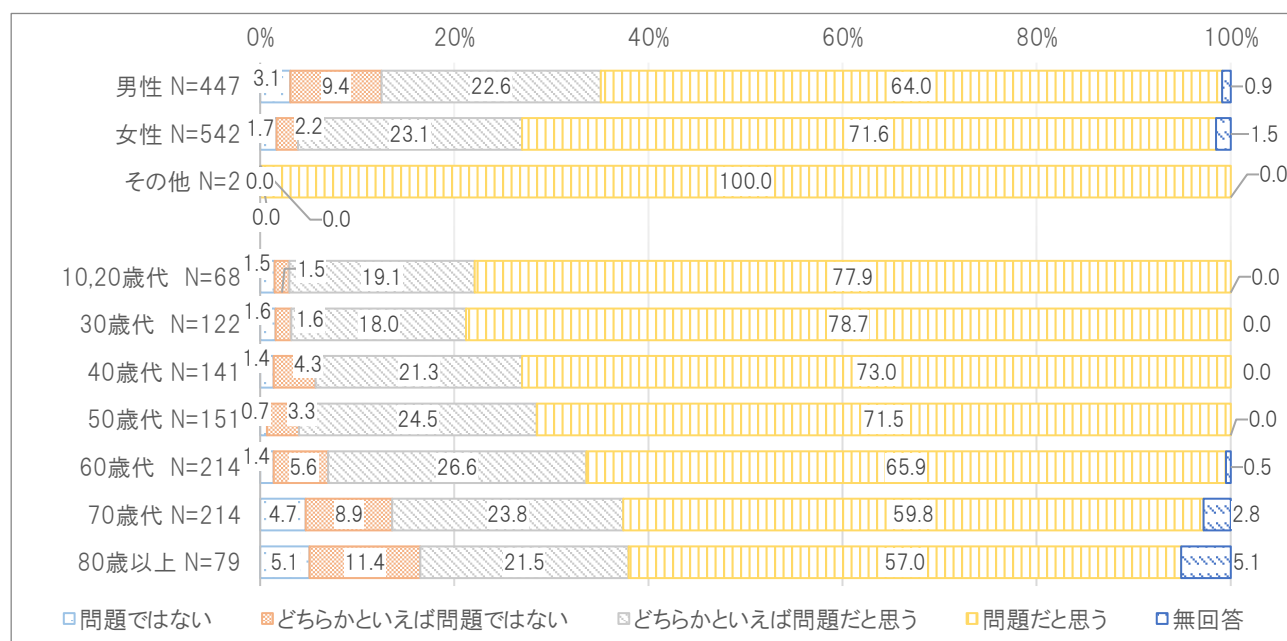
ウ. 経済的に自立が困難なこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 75.4%、女性 86.5%となっている。年代別では、30 歳代が最も高く(89.4%)、80 歳以上が最も低く(64.6%)となっている。



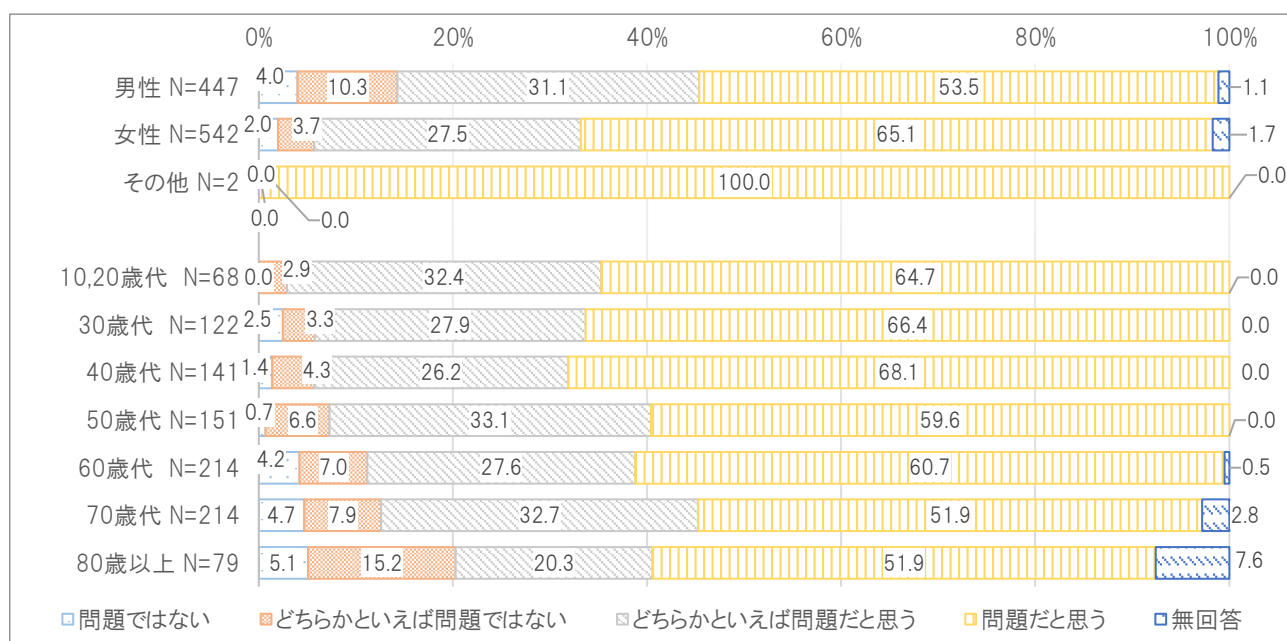
エ. 財産管理面などでの権利侵害や悪質商法、特殊詐欺などの被害が多いこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 86.6%、女性 94.7%となっている。年代別では、全ての年齢層で 75%を超えている。



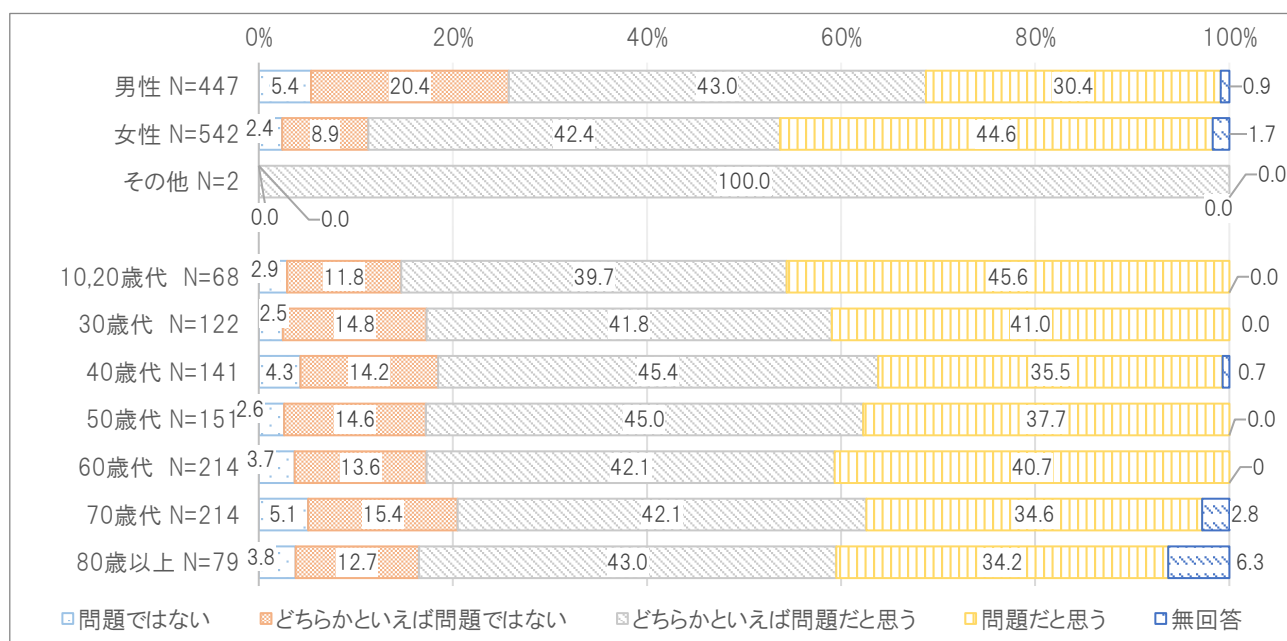
オ. 病院や施設、家庭において劣悪な処遇や拘束、虐待などがあること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 84.6%、女性 92.6%となっている。年代別では、全ての年齢層で 70%を超えている。



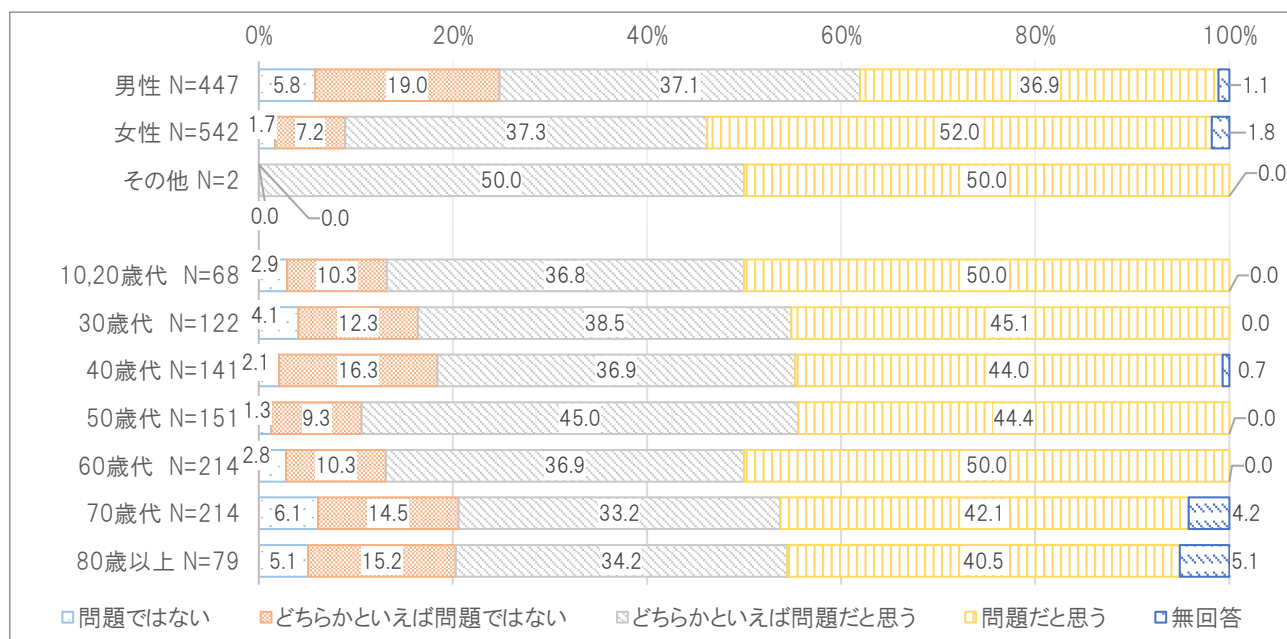
カ. 道路の段差など環境や建物、製品等が高齢者に使いやすくつくられていないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 73.4%、女性 87%となっている。年代別では、全ての年齢層で 75%を超えている。



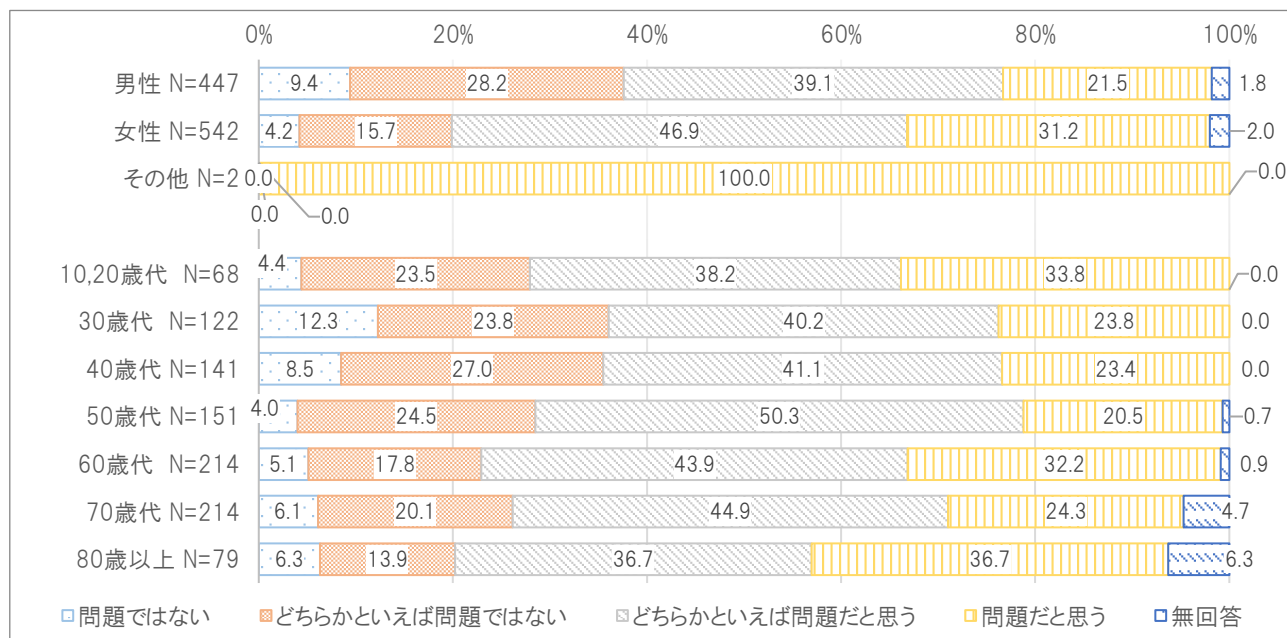
キ．必要な情報を高齢者に分かりやすく伝える配慮が足りないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 74%、女性 89.3%となっている。年代別では、全ての年齢層で 70%を超えている。



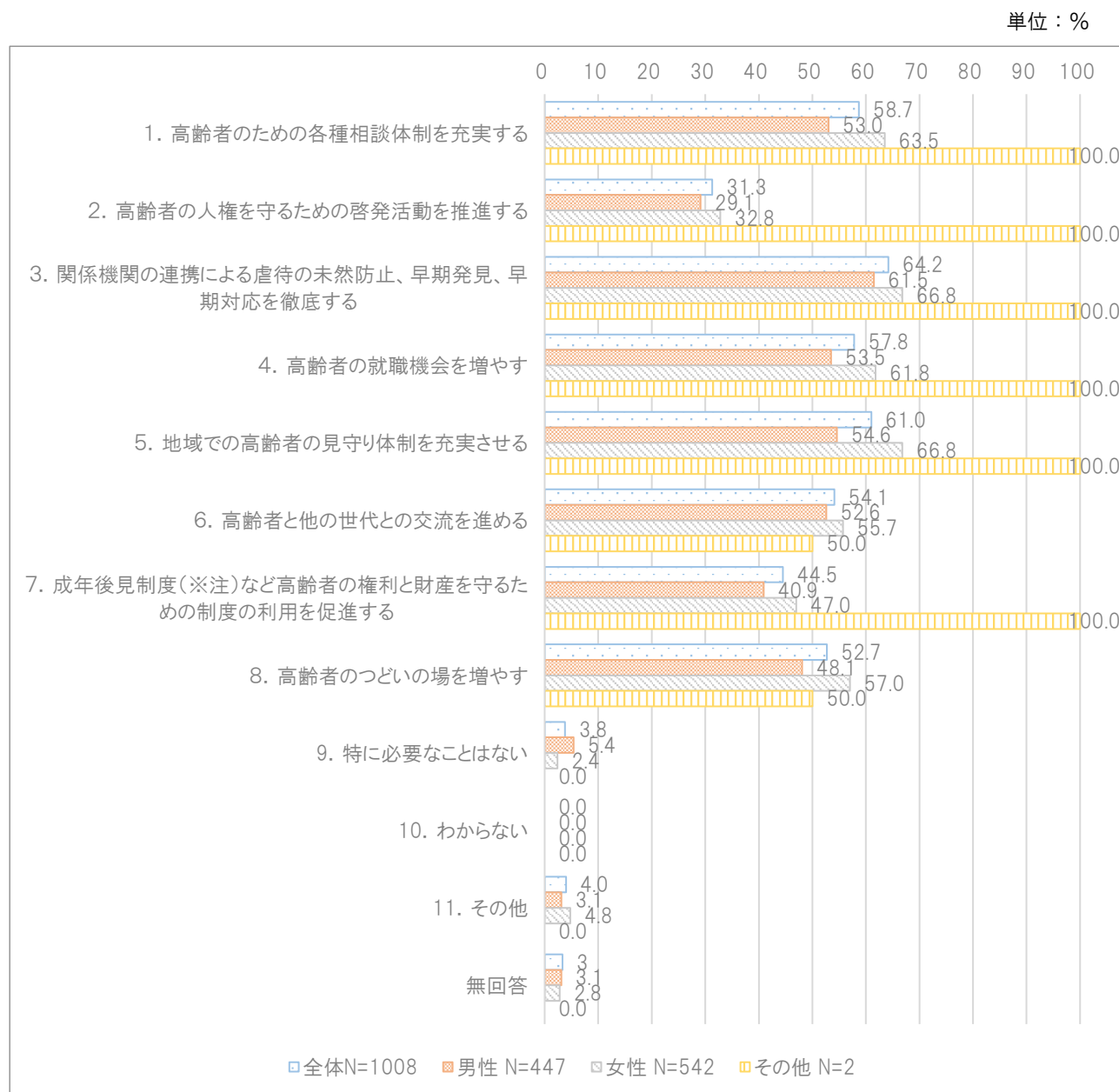
ク．高齢者の意見や行動を尊重しないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 60.6%、女性 78.1%となっている。年代別では、全ての年齢層で 60%を超えている。



問8 高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてを回答用紙に記入してください。

「3. 関係機関の連携による虐待の未然防止、早期発見、早期対応を徹底する」が64.2%と最も高く、次いで「5. 地域での高齢者の見守り体制を充実させる」が61.0%、次いで「1. 高齢者のための各種相談体制を充実する」が58.7%となっている。



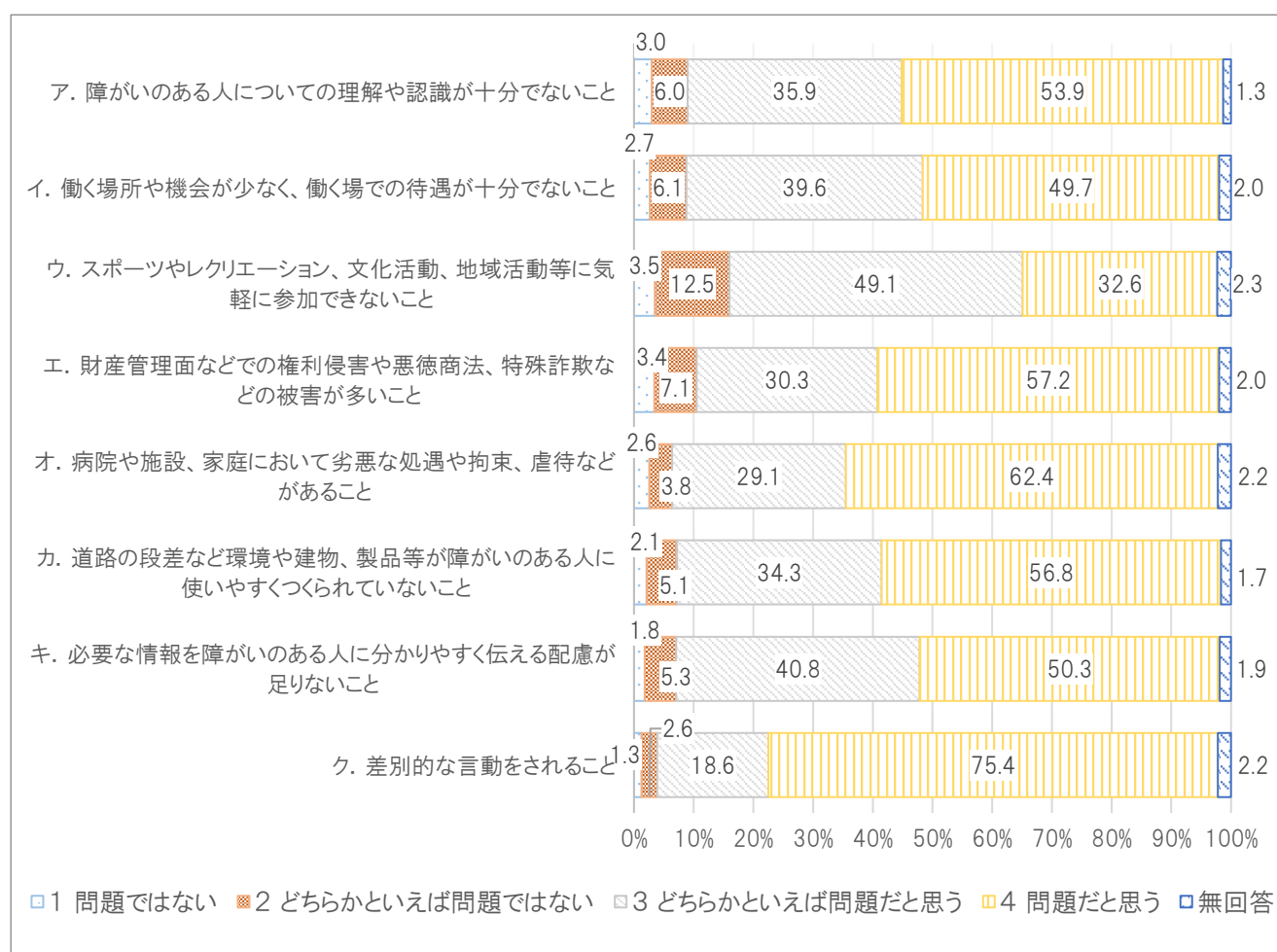
単位：％

区分	10・20 歳代 【N=68】	30 歳代 【N=122】	40 歳代 【N=141】	50 歳代 【N=151】	60 歳代 【N=214】	70 歳代 【N=214】	80 歳代 以上 【N=79】
高齢者のための各種相談体制を充実する	47.1	59.0	48.9	60.3	58.4	65.4	65.8
高齢者の人権を守るための啓発活動を推進する	19.1	22.1	22.7	26.5	33.2	39.7	51.9
関係機関の連携による虐待の未然防止、 早期発見、早期対応を徹底する	67.6	59.8	68.1	62.3	65.4	66.8	59.5
高齢者の就職機会を増やす	51.5	60.7	61.0	63.6	62.1	54.7	41.8
地域での高齢者の見守り体制を充実させる	57.4	54.9	58.2	59.6	63.1	65.0	69.6
高齢者和其他の世代との交流を進める	55.9	55.7	54.6	58.9	52.8	49.1	58.2
成年後見制度(※注)など高齢者の権利と 財産を守るための制度の利用を促進する	50.0	41.8	44.7	47.0	44.4	43.0	41.8
高齢者のつどいの場を増やす	60.3	54.1	55.3	47.7	47.2	54.7	63.3
特に必要なことはない	2.9	3.3	1.4	3.3	4.2	4.7	6.3
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.9	3.3	2.8	4.0	5.6	2.3	6.3
無回答	1.5	3.3	3.5	2.6	1.9	2.8	5.1

障がいがある人の人権について

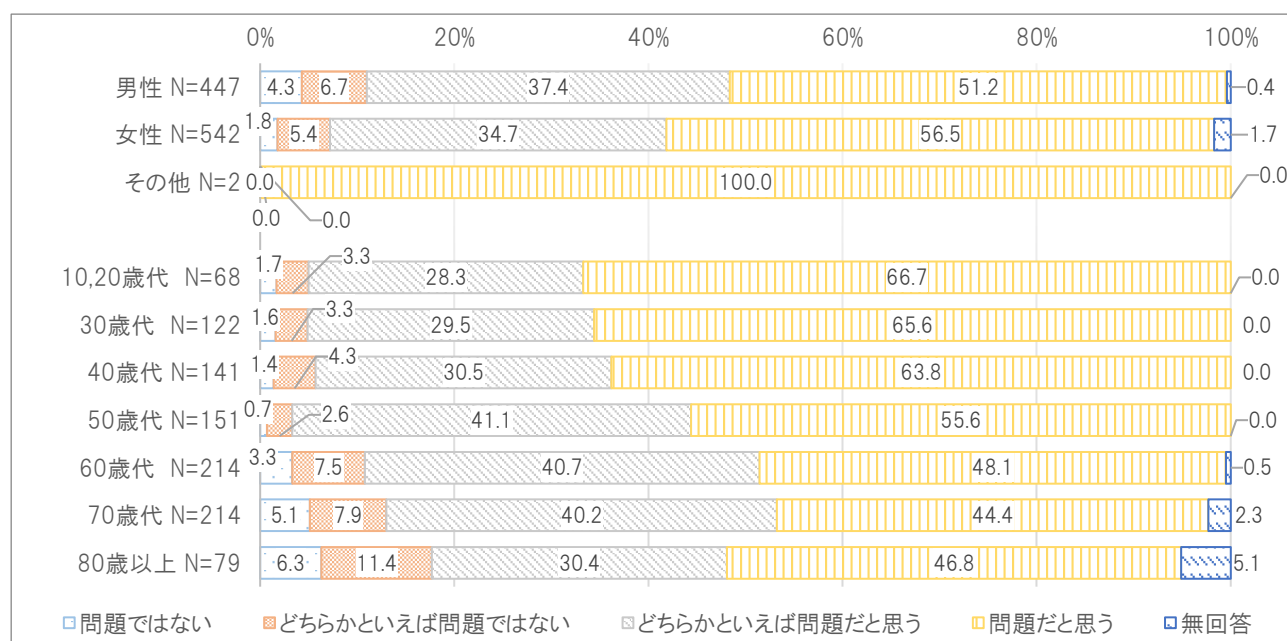
問9 障がいがある人に関する次のア～クのことからについて、どう思いますか。1～4の中から、それぞれにあてはまる番号を回答用紙に記入してください。

「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた比率でみると、「ク. 差別的な言動をされること」が94%で最も高く、次いで「オ. 病院や施設、家庭において劣悪な処遇や拘束、虐待などがあること」が91.5%であった。また、「問題でない」「どちらかといえば問題ではない」を合わせた比率でみると、「ウ. スポーツやレクリエーション、文化活動、地域活動等に気楽に参加できないこと」が最も高く、16.0%であった。



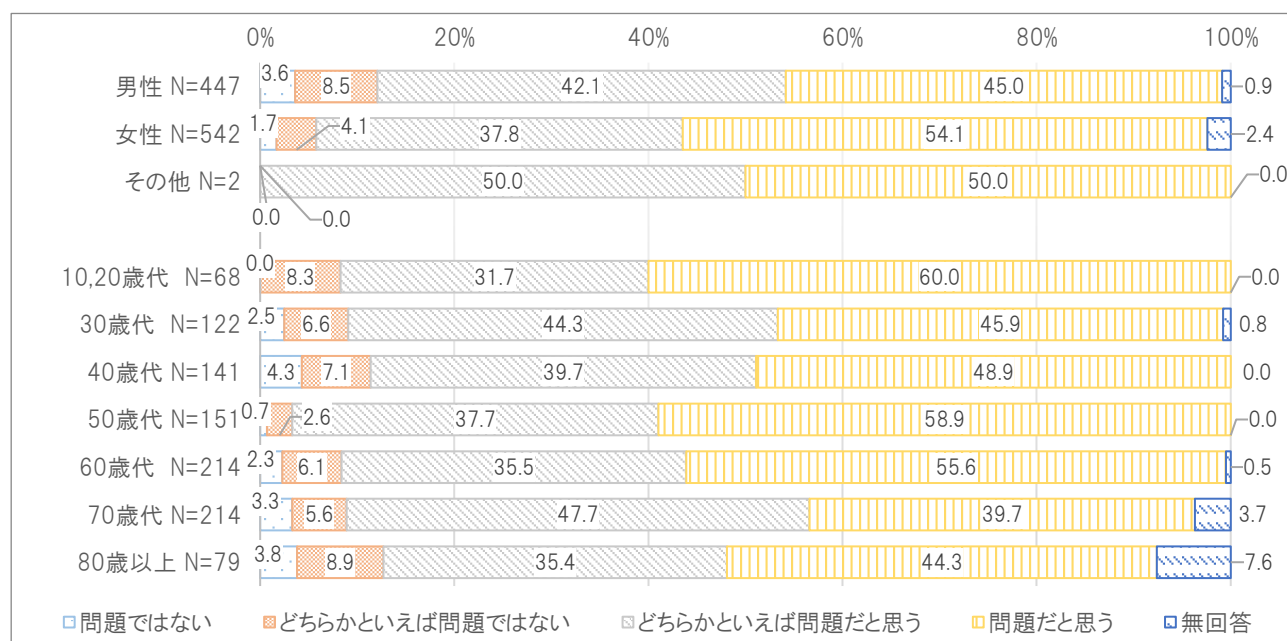
ア. 障がいのある人についての理解や認識が十分でないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 88.6%、女性 91.2%となっている。年代別では、全ての年齢層で 75%を超えている。



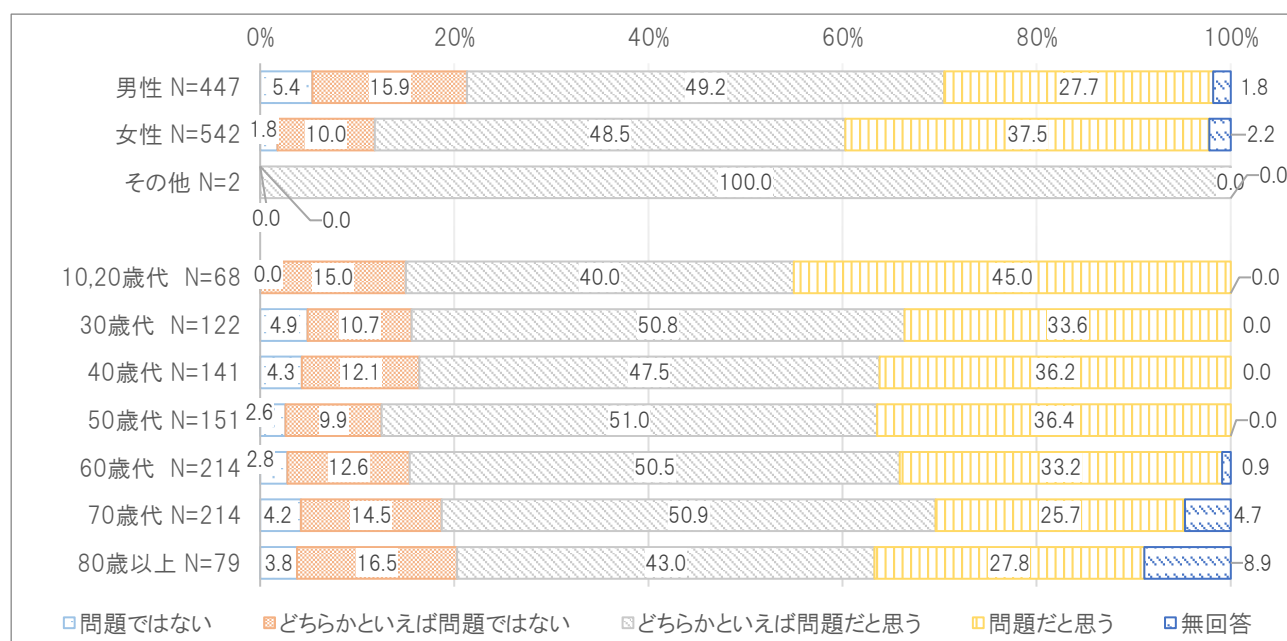
イ. 働く場所や機会が少なく、働く場での待遇が十分でないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 87.1%、女性 91.9%となっている。年代別では、50歳代が最も高く(96.6%)で、全ての年齢層で 75%を超えている。



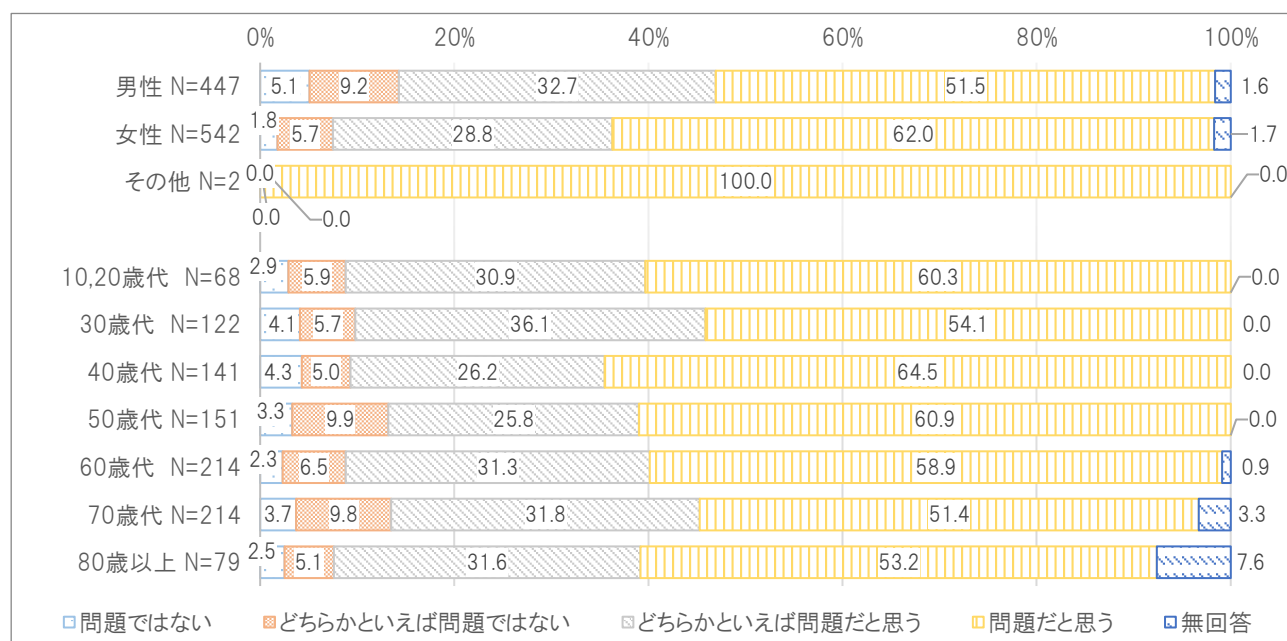
ウ. スポーツやレクリエーション、文化活動、地域活動等に気軽に参加できないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 76.9%、女性 86%となっている。年代別では、全ての年齢層で 70%を超えている。



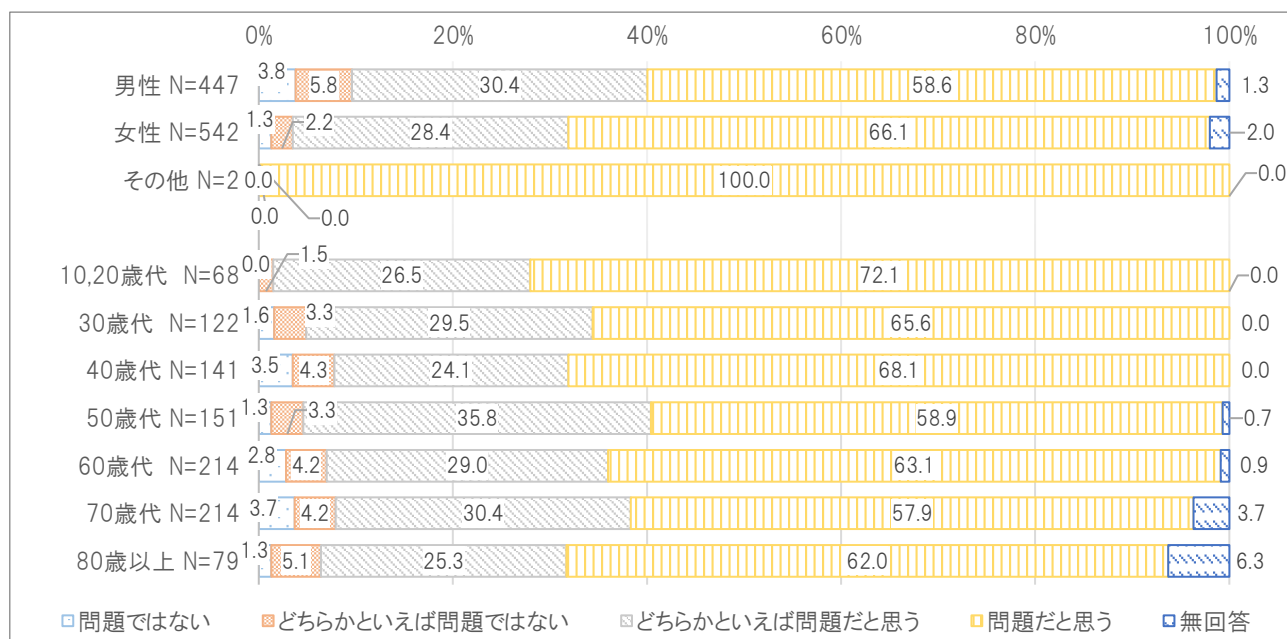
エ. 財産管理面などでの権利侵害や悪質商法、特殊詐欺などの被害が多いこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 84.2%、女性 90.8%となっている。年代別では、全ての年齢層で 80%を超えている。



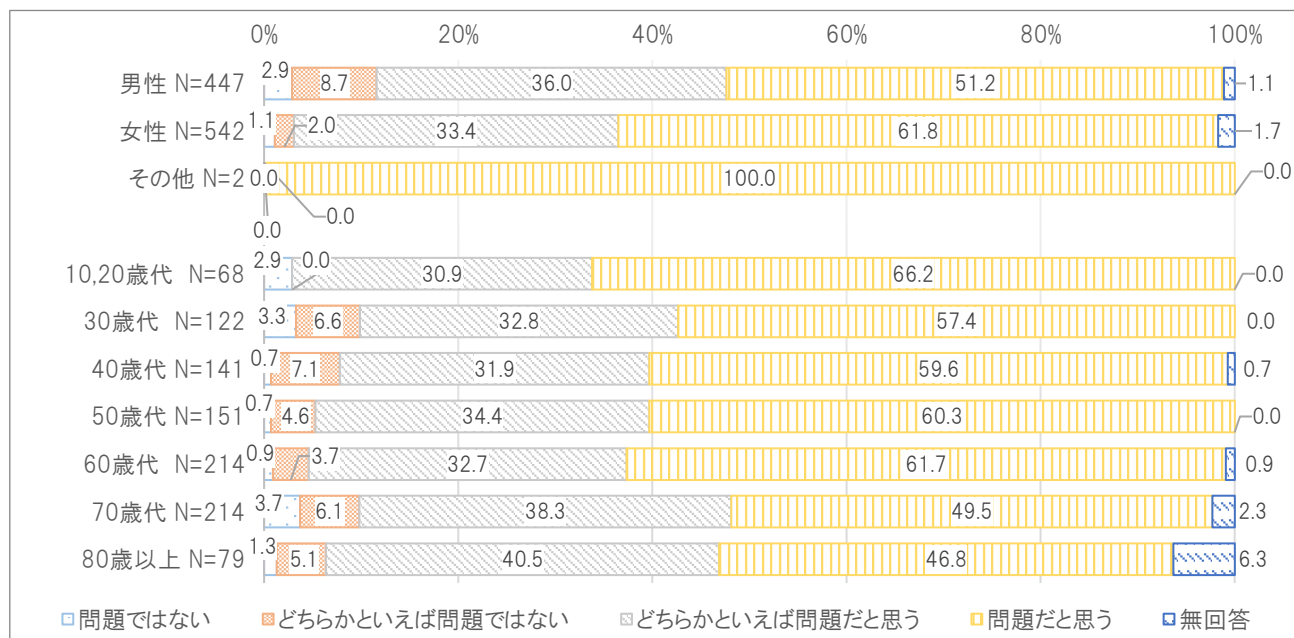
オ. 病院や施設、家庭において劣悪な処遇や拘束、虐待などがあること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 89%、女性 94.5%となっている。年代別では、10.20 歳代が最も高く(98.6%)で、全ての年齢層で 85%を超えている。



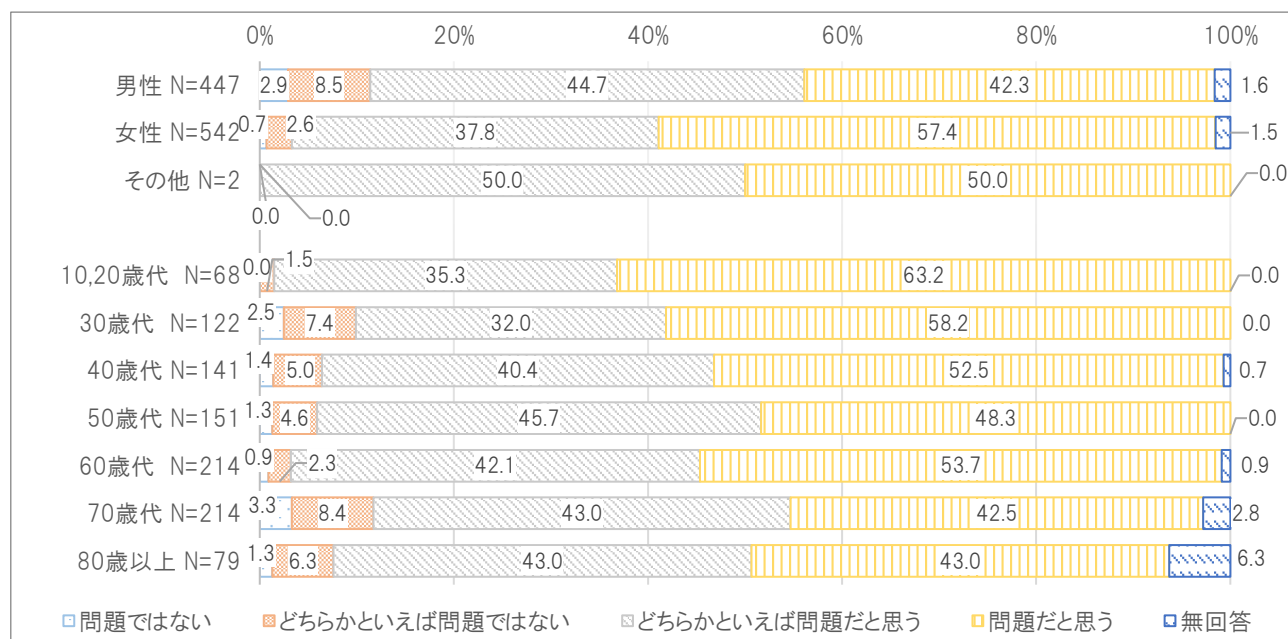
カ. 道路の段差など環境や建物、製品等が障がいのある人に使いやすつくられていないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 87.2%、女性 95.2%となっている。年代別では、10.20 歳代が最も高く(97.1%)で、全ての年齢層で 85%を超えている。



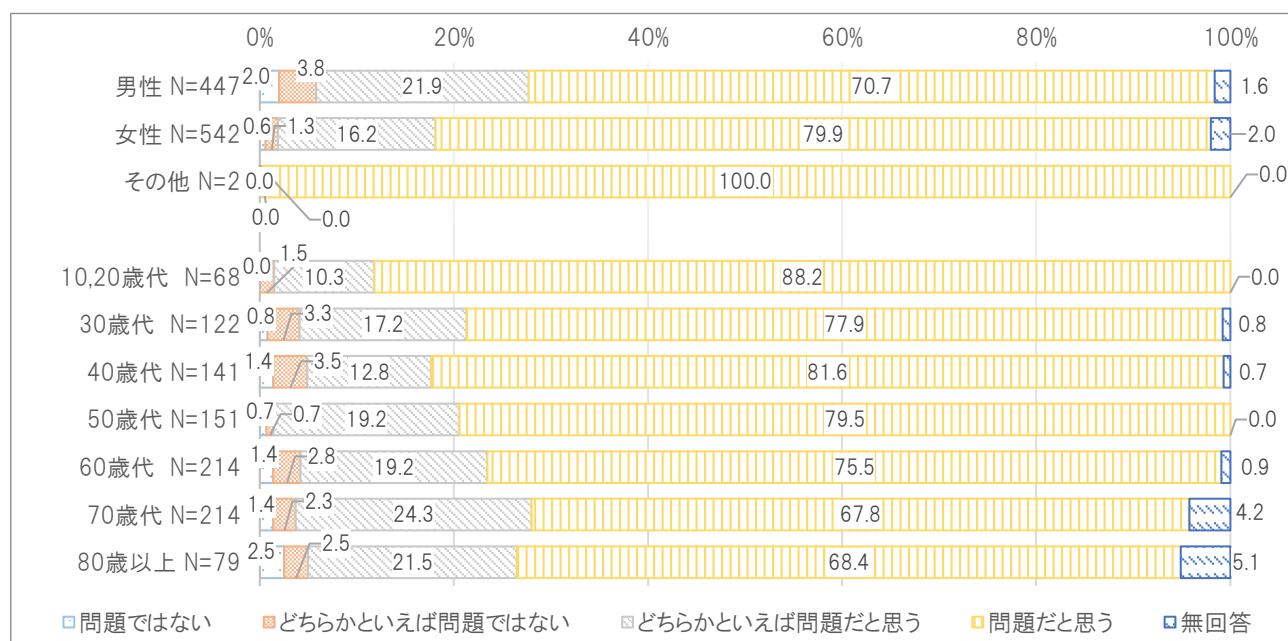
キ. 必要な情報を障がいのある人に分かりやすく伝える配慮が足りないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 87%、女性 95.2%となっている。年代別では、10.20 歳代が最も高く(98.5%)で、全ての年齢層で 85%を超えている。



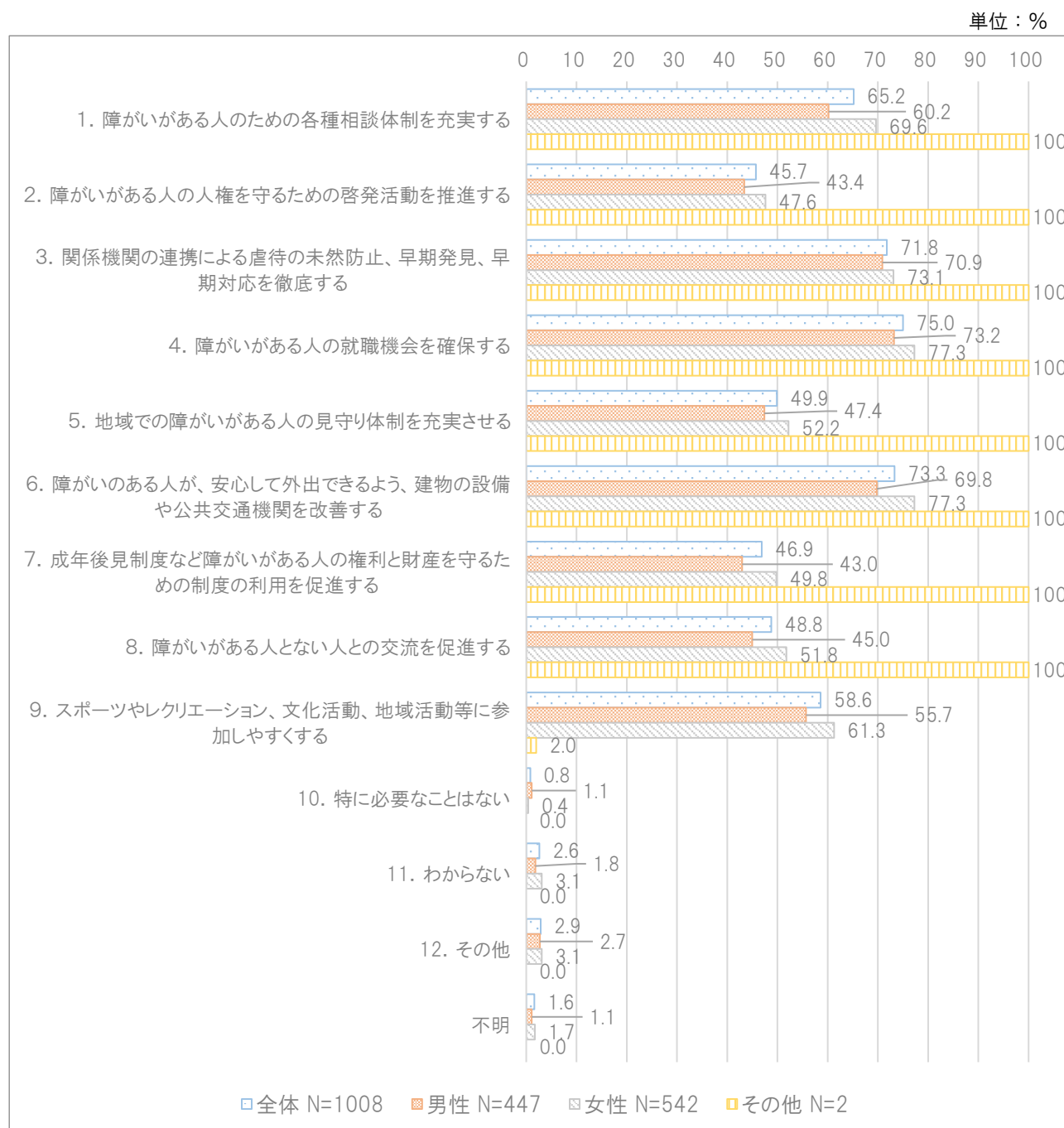
ク. 差別的な言動をされること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 92.6%、女性 96.1%となっている。年代別では、50 歳代が最も高く(98.7%)で、全ての年齢層で 85%を超えている。



問10 障がいがある人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてを回答用紙に記入してください。

「4. 障がいがある人の就職機会を確保する」が75.0%と最も高く、次いで「6. 障がいのある人が、安心して外出できるよう、建物の設備や公共交通機関を改善する」が73.3%、次いで「3. 関係機関の連携による虐待の未然防止、早期発見、早期対応を徹底する」が71.8%となっている。



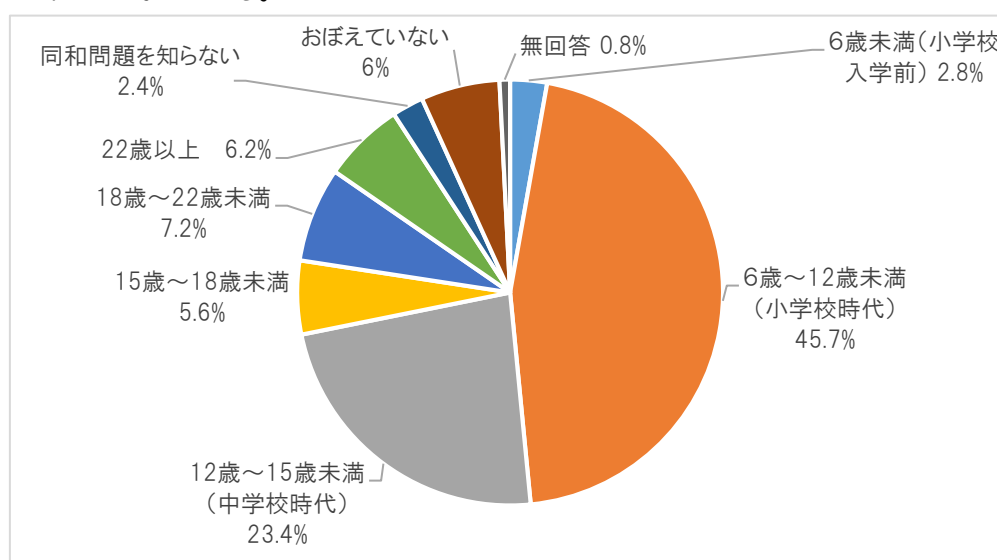
単位：％

	10,20 歳代 【N=68】	30 歳代 N=122】	40 歳代 【N=141】	50 歳代 【N=151】	60 歳代 【N=214】	70 歳代 【N=214】	80 歳代 以上 【N=79】
障がいがある人のための各種相談体制を充実する	63.2	68.0	58.9	64.2	62.1	70.6	70.9
障がいがある人の人権を守るための啓発活動を推進する	38.2	36.9	43.3	45.7	45.8	52.3	53.2
関係機関の連携による虐待の未然防止、早期発見、早期対応を徹底する	69.1	73.8	75.9	68.2	72.9	71.5	72.2
障がいがある人の就職機会を確保する	76.5	73.8	75.2	80.1	76.2	73.8	70.9
地域での障がいがある人の見守り体制を充実させる	41.2	42.6	51.8	48.3	53.3	50.9	59.5
障がいのある人が、安心して外出できるよう、建物の設備や公共交通機関を改善する	73.5	69.7	73.8	77.5	75.7	73.4	72.2
成年後見制度など障がいがある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する	50.0	39.3	51.8	50.3	45.3	48.1	40.5
障がいがある人となない人との交流を促進する	51.5	51.6	51.1	51.0	50.0	42.5	48.1
スポーツやレクリエーション、文化活動、地域活動等に参加しやすくする	61.8	59.8	58.9	52.3	57.0	62.1	62.0
特に必要なことはない	1.5	0.0	0.0	0.7	0.5	0.9	2.5
わからない	0.0	2.5	4.3	3.3	2.3	1.9	2.5
その他	2.9	4.9	2.1	2.0	4.2	1.9	2.5
無回答	0.0	0.0	0.0	1.3	1.4	1.4	6.3

同和問題について

問11 同和問題をいつ頃知りましたか。次の1～8の中から、あてはまる番号を回答用紙に記入してください。

「6歳～12歳未満（小学校時代）」が最も多く、45.7%となっており、次いで「12歳～15歳未満（中学校時代）」が23.4%となっている。



単位：%

	10.20歳代 【N=68】	30歳代 【N=122】	40歳代 【N=141】	50歳代 【N=151】	60歳代 【N=214】	70歳代 【N=214】	80歳以上 【N=79】
6歳未満 （小学校入学前）	0	0.8	0.7	0.7	4.2	4.7	5.1
6歳～12歳未満 （小学校時代）	29.4	55.7	58.9	60.3	46.3	35.0	27.8
12歳～15歳未満 （中学校時代）	29.4	17.2	14.9	20.5	29.0	25.2	25.3
15歳～18歳未満	5.9	4.1	5.7	4.6	3.7	6.5	12.7
18～22歳未満	7.4	3.3	2.8	4.6	7.9	13.6	7.6
22歳以上	1.5	3.3	5.7	4.6	5.6	8.4	12.7
同和問題を知らない	13.2	4.1	4.3	0.7	0.5	0.5	1.3
おぼえていない	13.2	11.5	7.1	4.0	2.8	4.7	6.3
無回答	0	0	0	0	0	1.4	1.3

問12 同和問題について、どのようにして知りましたか。次の1～10の中から、あてはまる番号を回答用紙に記入してください。

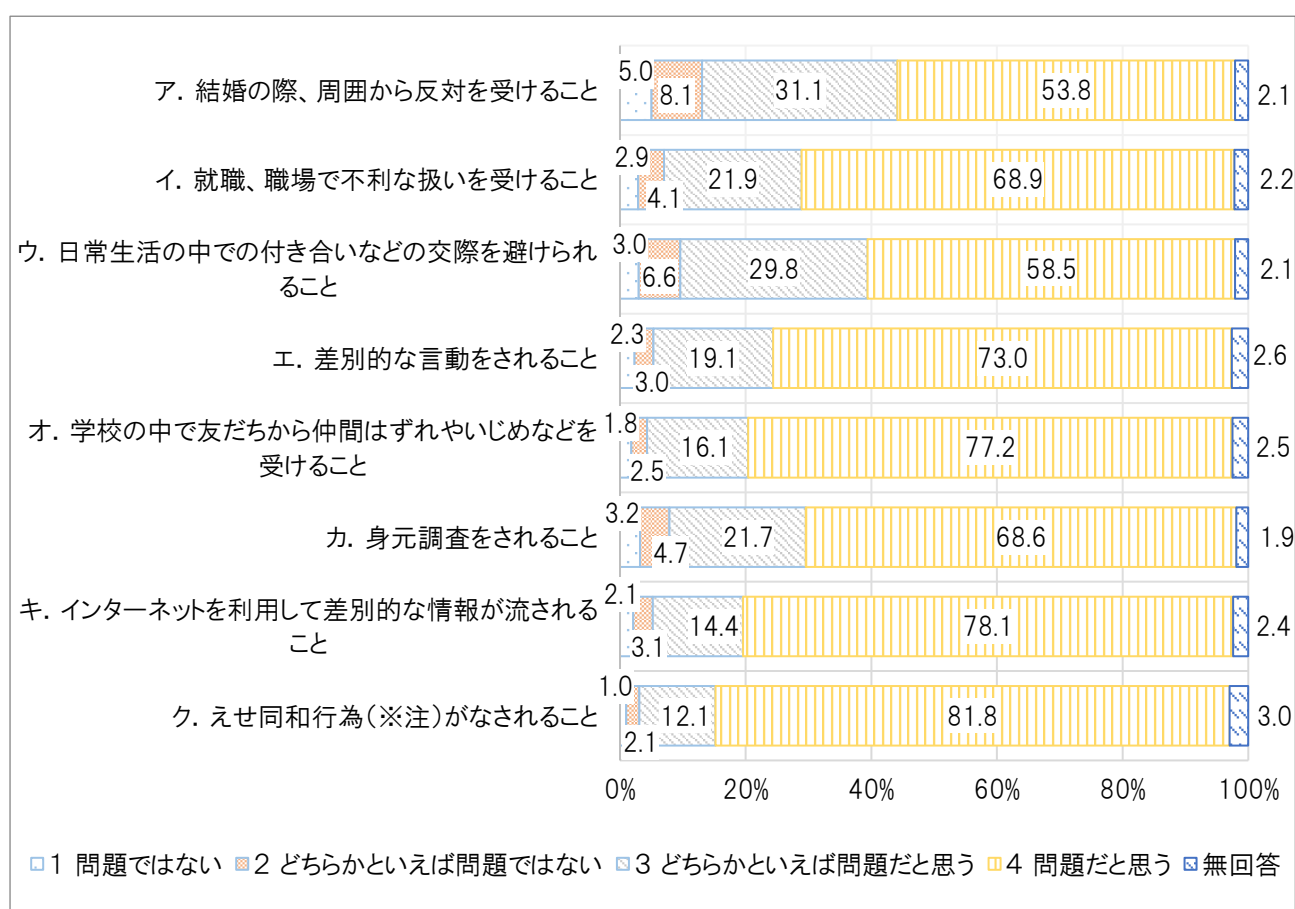
10. 20歳代から50歳代で「学校の授業で」が60%前後となっている。60歳代以上では「家族から」が約30%を占めている。

単位：%

	10.20歳代 【N=68】	30歳代 【N=122】	40歳代 【N=141】	50歳代 【N=151】	60歳代 【N=214】	70歳代 【N=214】	80歳以上 【N=79】
家族から	11.8	11.5	21.3	21.2	34.1	29.9	36.7
近所の人から	0	0	1.4	0.7	4.2	10.3	8.9
友だちから	2.9	3.3	5.0	4.0	9.8	12.1	15.2
職場の同僚から	0	0.8	2.8	2.0	1.9	5.1	3.8
学校の授業で	60.3	62.3	58.9	60.9	32.7	7.0	3.8
講演会・研修会など	1.5	2.5	1.4	0.7	3.7	8.9	12.7
行政の広報紙で	1.5	0	0	0	1.9	1.9	3.8
テレビ・新聞・本などで	2.9	3.3	0.7	0	0.9	5.6	2.5
その他	2.9	2.5	4.3	2.0	1.9	2.8	3.8
おぼえていない	16.2	13.9	3.5	6.6	8.4	14.0	7.6
無回答	0	0	0.7	2.0	0.5	2.3	1.3

問13 同和問題に関する次のア～クのことについて、どう思いますか。1～4の中から、それぞれにあてはまる番号を回答用紙に記入してください。

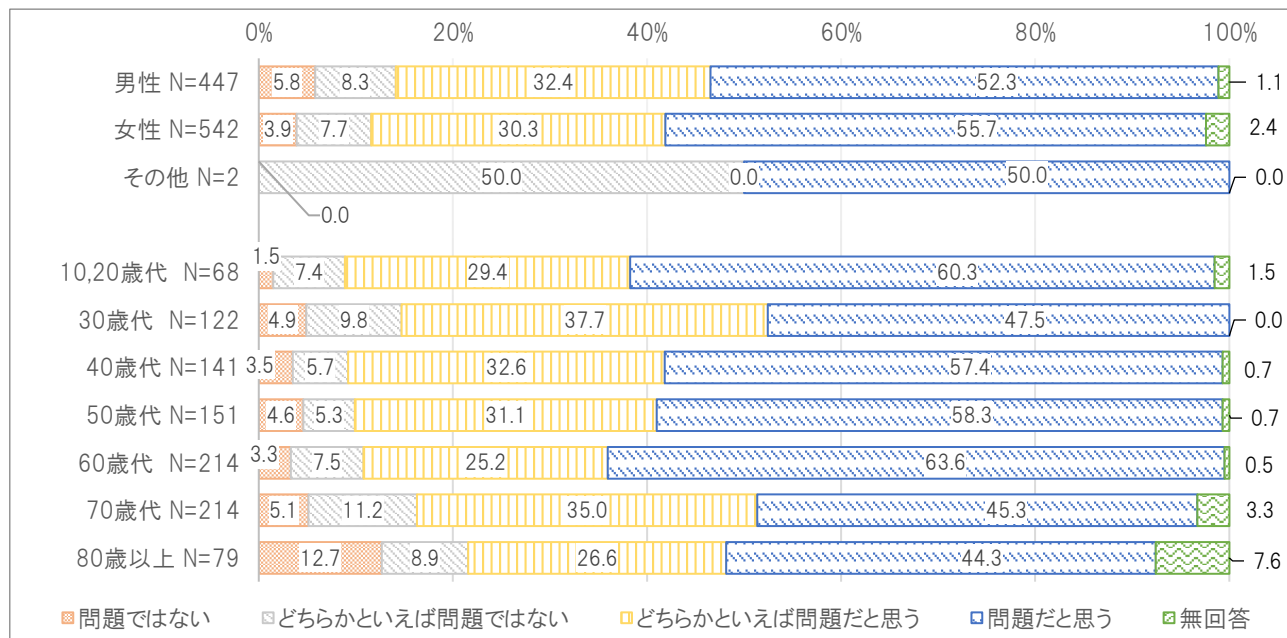
「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた比率でみると、「ク. えせ同和行為がなされること」が93.9%と最も高く、次いで「オ. 学校の中で友だちから仲間はずれやいじめを受けること」が93.3%、次いで「キ. インターネットを利用して差別的な情報が流されること」が92.5%であった。また、「問題ではない」「どちらかといえば問題ではない」を合わせた比率でみると、「ア. 結婚の際、周囲から反対を受ける」が最も高く、13.1%であった。



※同和、部落を名乗る個人あるいは団体が、企業団体に対し同和問題への取り組みなどを口実として、不当な要求をする行為

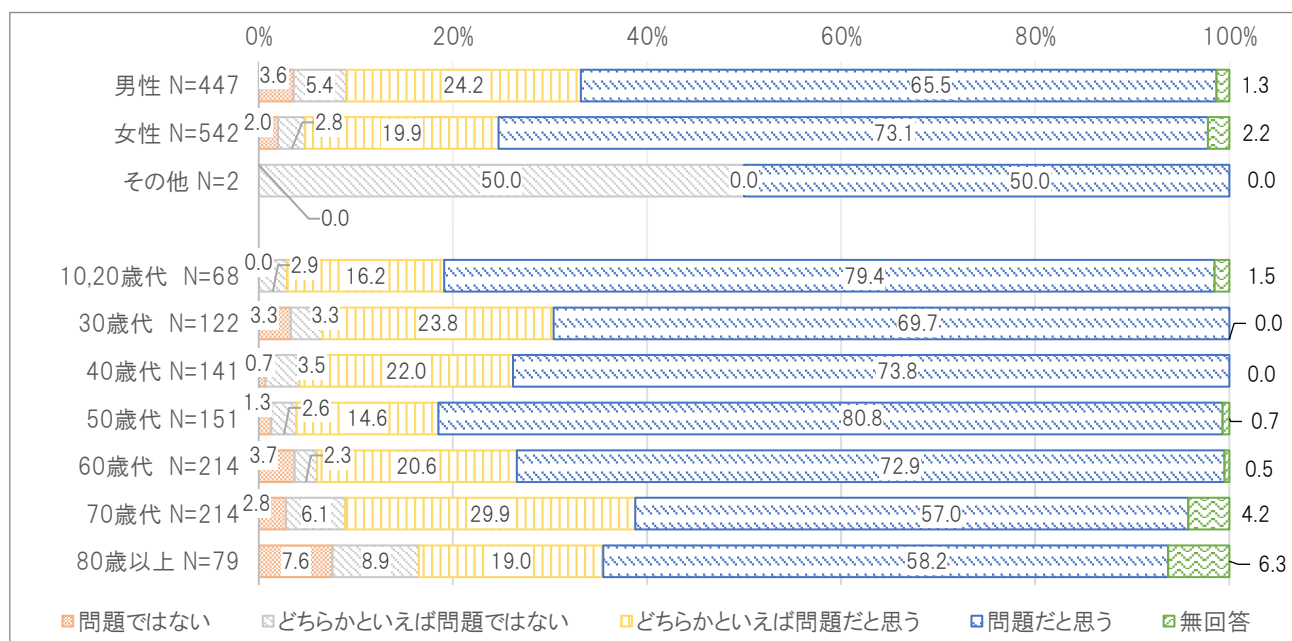
ア. 結婚の際、周囲から反対を受けること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 84.7%、女性 86%となっている。年代別では、40 歳代が最も高く（90%）で、70 歳代以上で 80.3%、80 歳以上で 70.9%となっている。



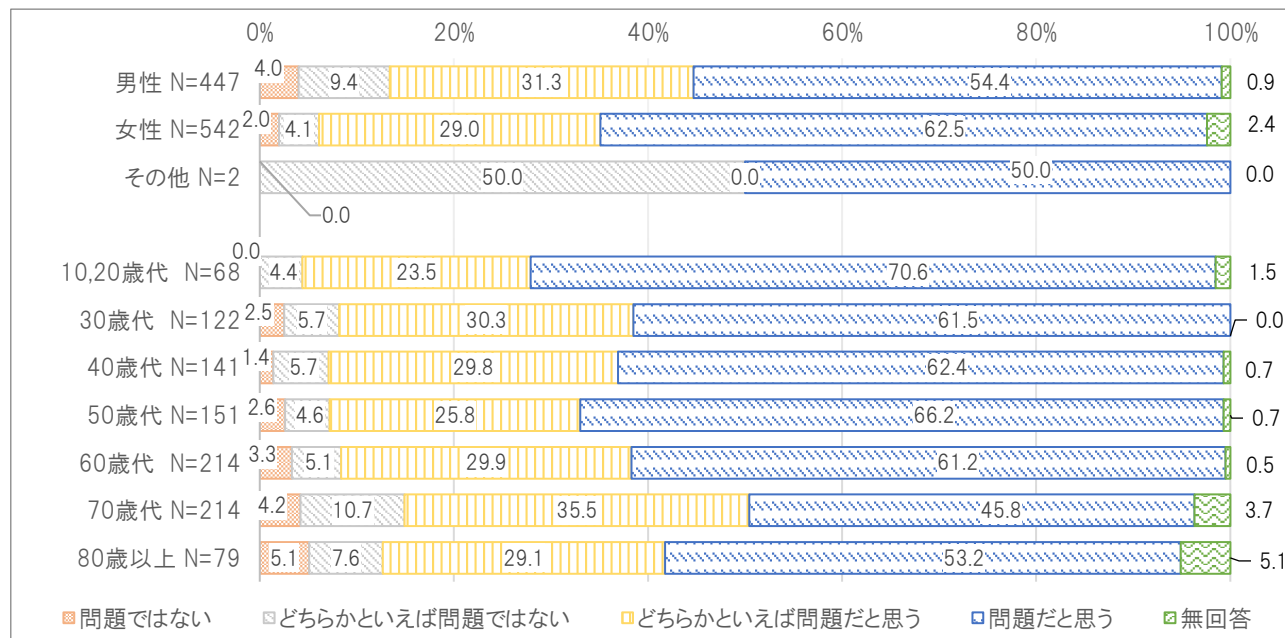
イ. 就職、職場で不利な扱いを受けること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 89.7%、女性 93%となっている。年代別では、60 歳代以下は 90%を超えているが、70 歳代以上で 86.9%、80 歳以上で 77.2%となっている。



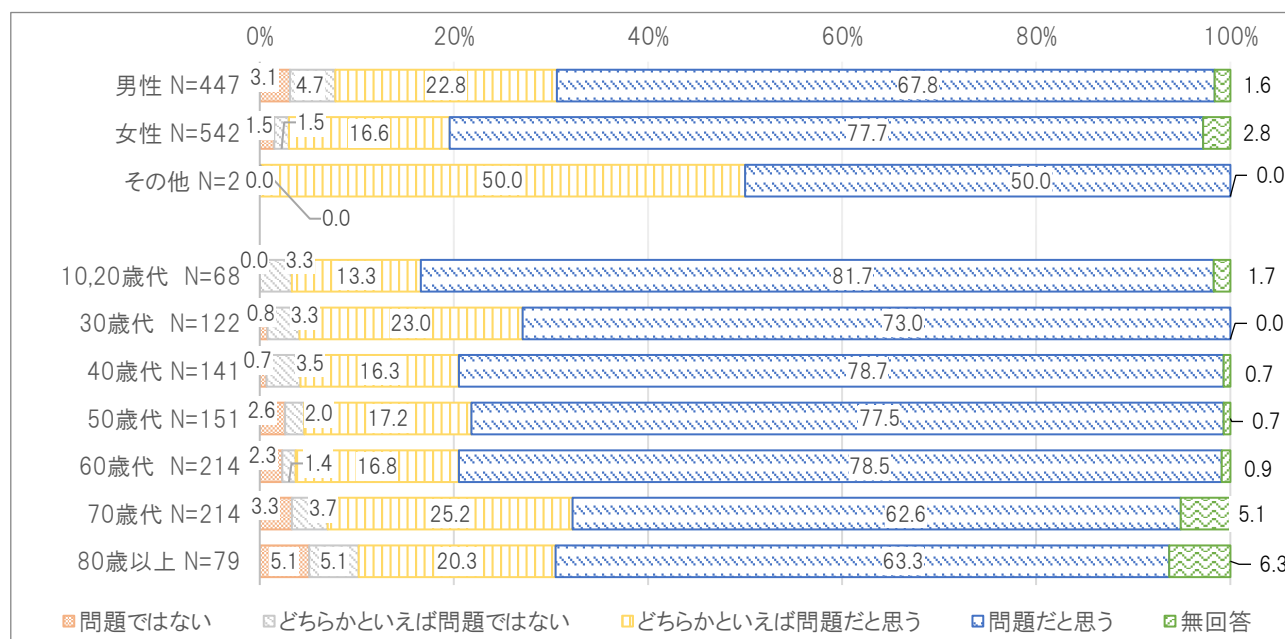
ウ. 日常生活の中での付き合いなどの交際を避けられること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 85.7%、女性 91.5%となっている。年代別では、60 歳代以下は 90%を超えているが、70 歳代以上で 81.3%、80 歳以上で 82.3%となっている。



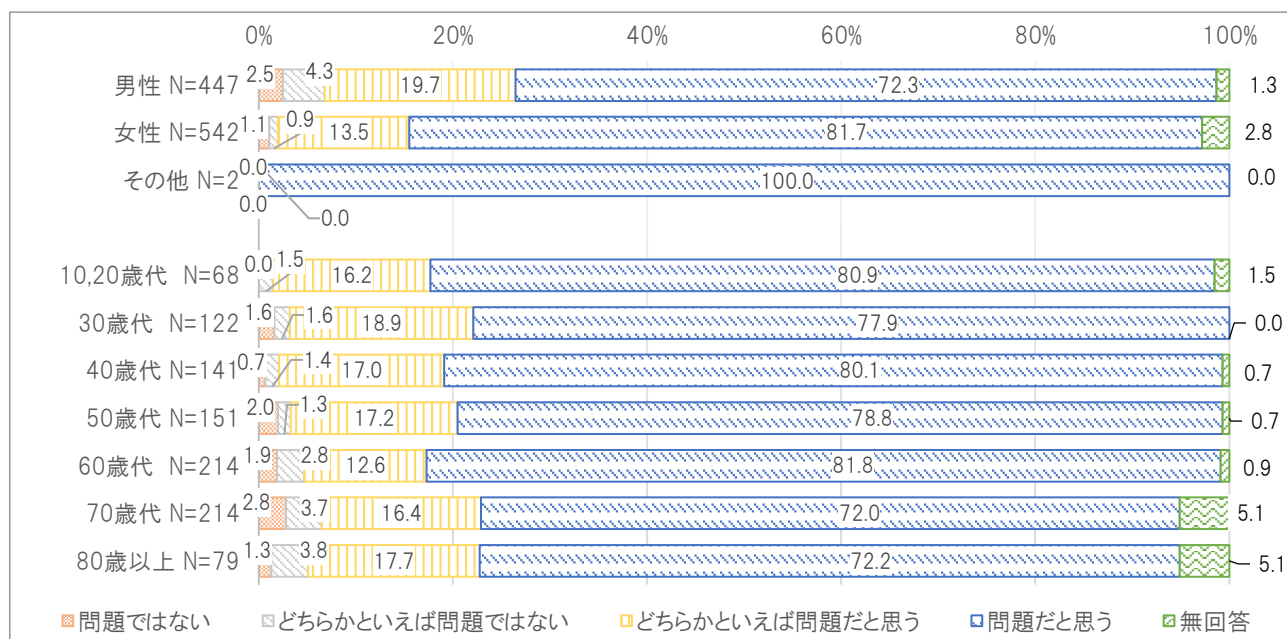
エ. 差別的な言動をされること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 90.6%、女性 94.3%となっている。年代別では、60 歳代以下は 90%を超えているが、70 歳代以上で 87.8%、80 歳以上で 83.6%となっている。



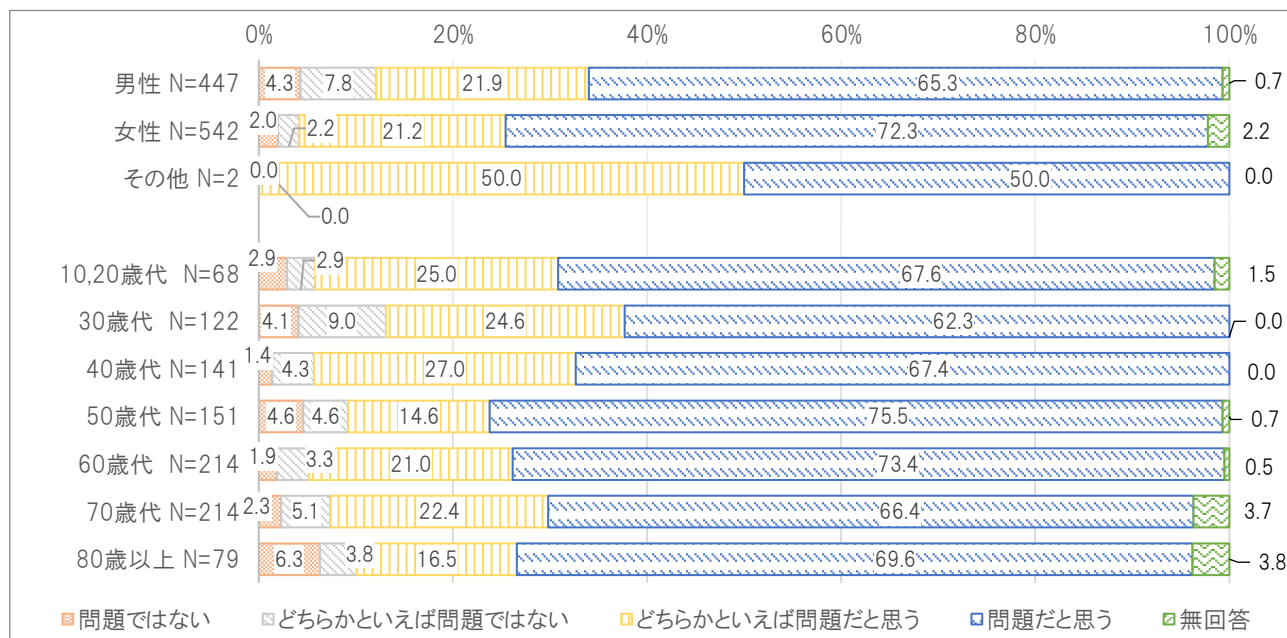
オ. 学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 92%、女性 95.2%となっている。年代別では、全ての年齢層で 85%を超えている。



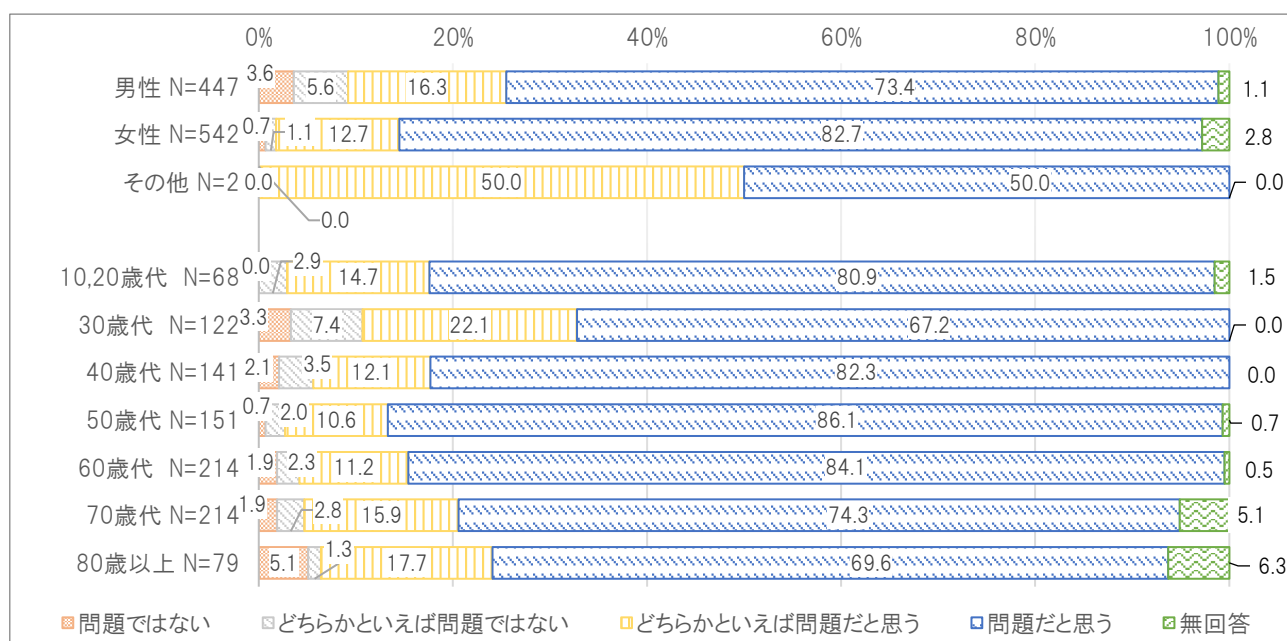
カ. 身元調査をされること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 87.2%、女性 93.5%となっている。年代別では、全年齢層で 85%を超えている。



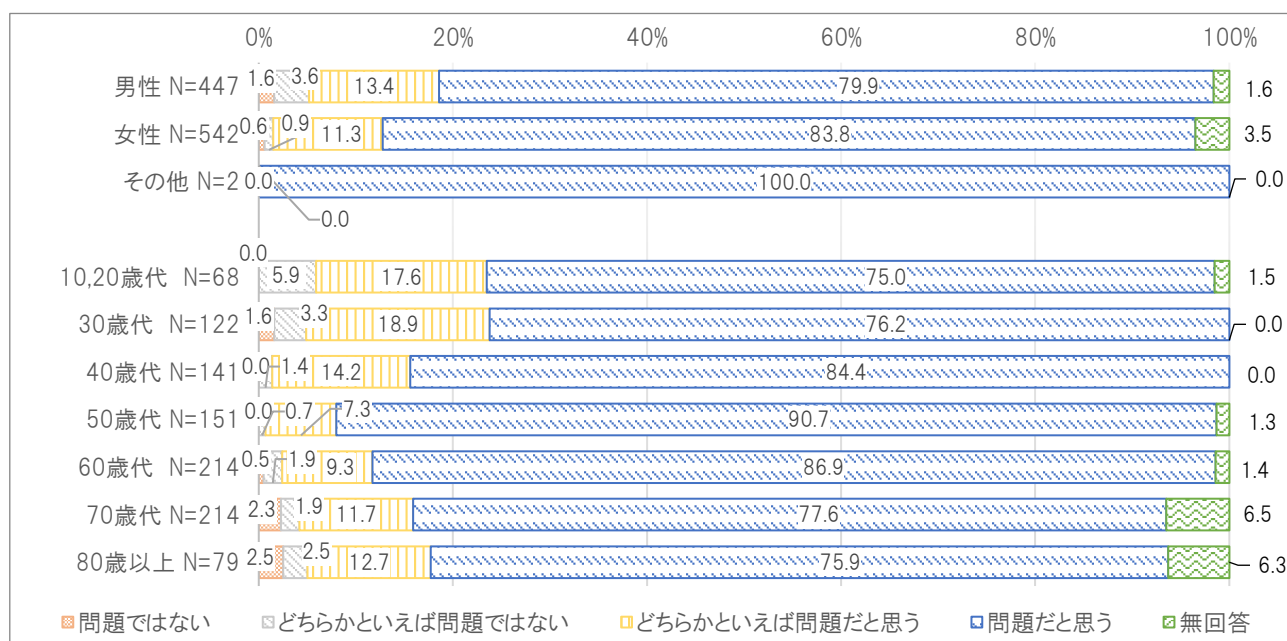
キ. インターネットを利用して差別的な情報が流されること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 89.7%、女性 95.4%となっている。年代別では、全年齢層で 85%を超えている。



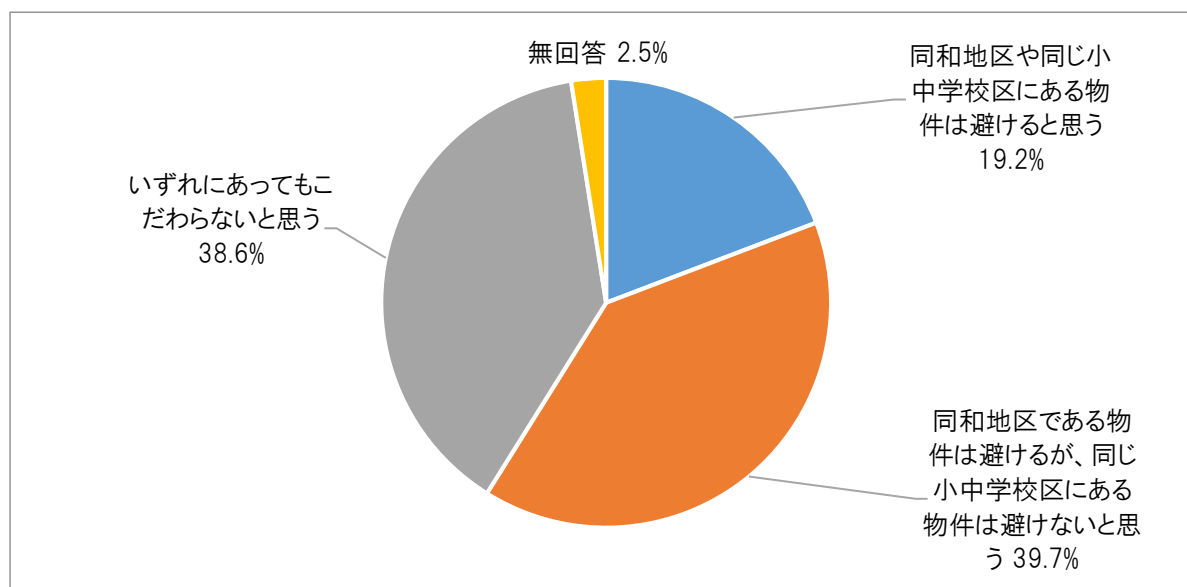
ク. えせ同和行為がなされること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 93.3%、女性 95.1%となっている。年代別では、全年齢層で 85%を超えている。

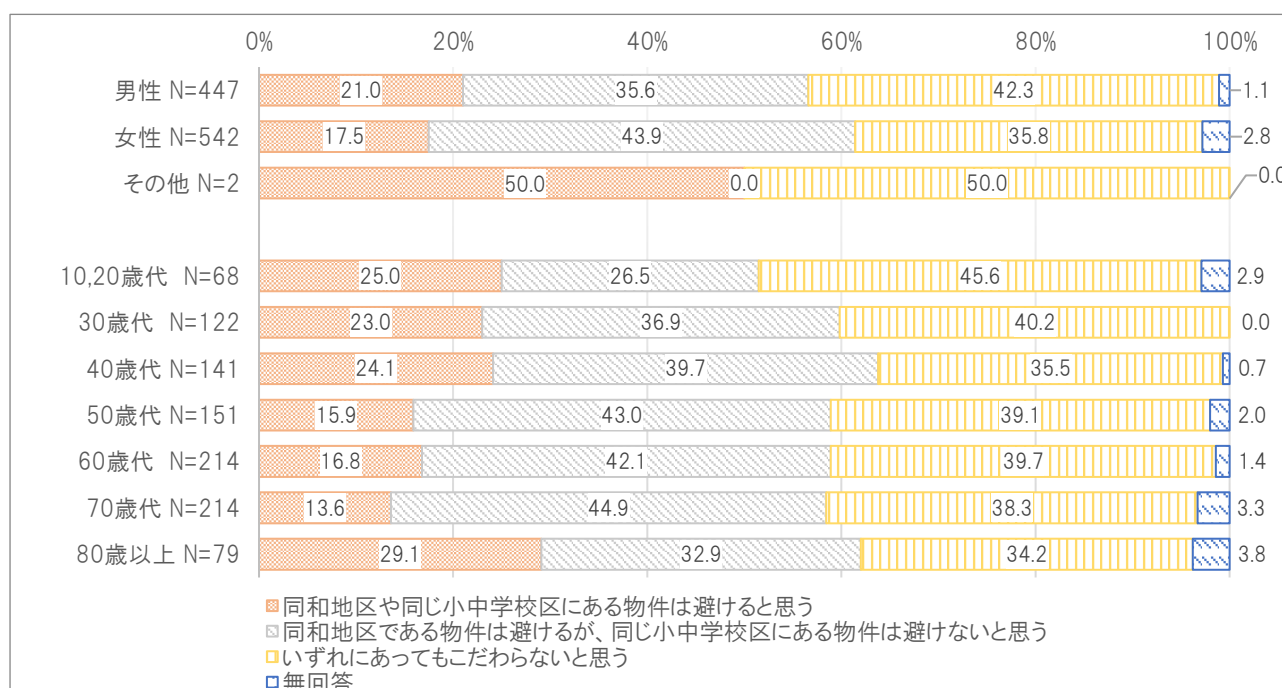


問14 もし、家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ時に、同和地区にある物件、または小・中学校区内に同和地区がある物件ならばどうだと思いますか。
次の1～3の中から、あてはまる番号を記入してください。

「1. 同和地区や同じ小中学校にある物件は避けると思う」「2. 同和地区である物件は避けるが、同じ小中学校区内にある物件は避けないと思う」を合わせた、「同和地区を避ける」との回答は58.9%であった。これに対し「3. いずれにあってもこだわらないと思う」は38.6%であった。

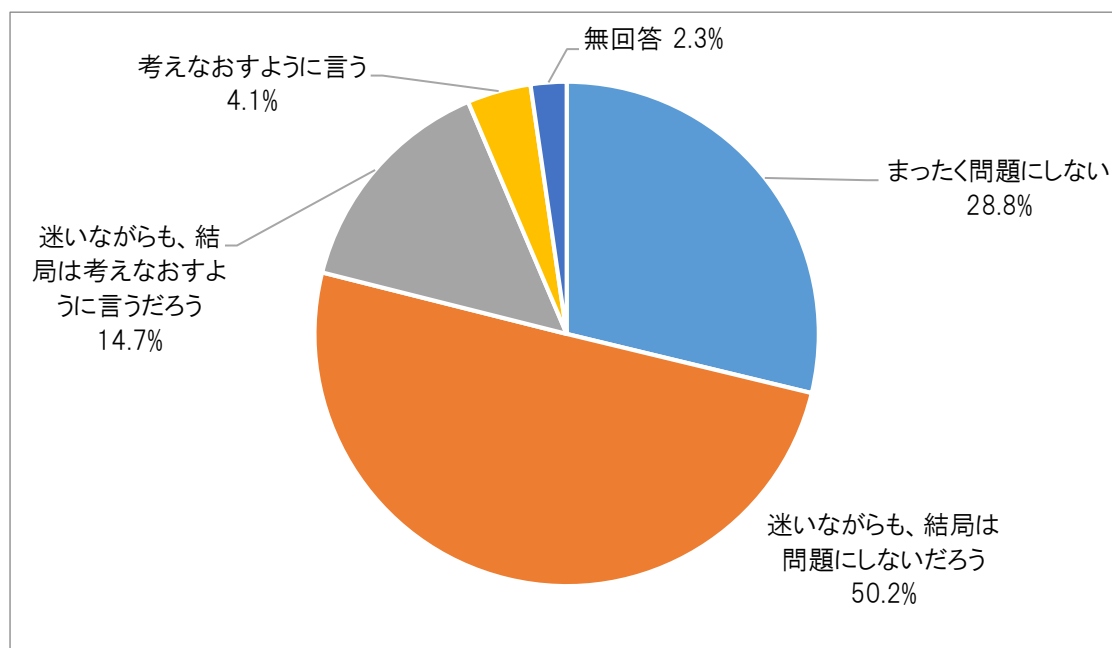


「いずれにあってもこだわらない」との回答率は、男性 42.3%、女性 35.8%となっている。年代別では、10,20 歳代は 45.6%と最も高く、40 歳代以上で 40%を下回っている。

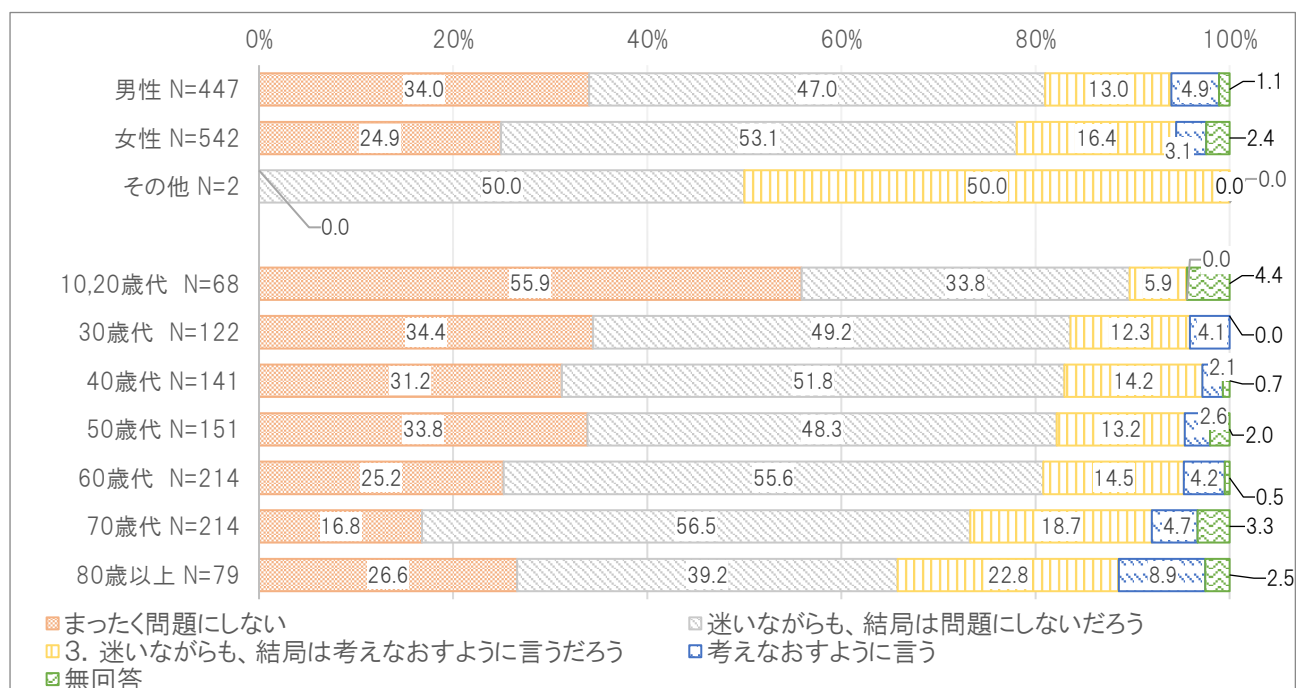


問15 仮に、あなたに子どもがおり、子どもの恋愛や結婚の相手が同和地区出身の人だとわかった場合、あなたはどのように思いますか。次の1～4の中から、あてはまる番号を記入してください。

「1. まったく問題にしない」「2. 迷いながらも結局は問題にしないだろう」を合わせた比率は79.0%、「3. 迷いながらも結局は考え直すように言うだろう」「4. 考え直すように言う」を合わせた比率は18.8%であった。

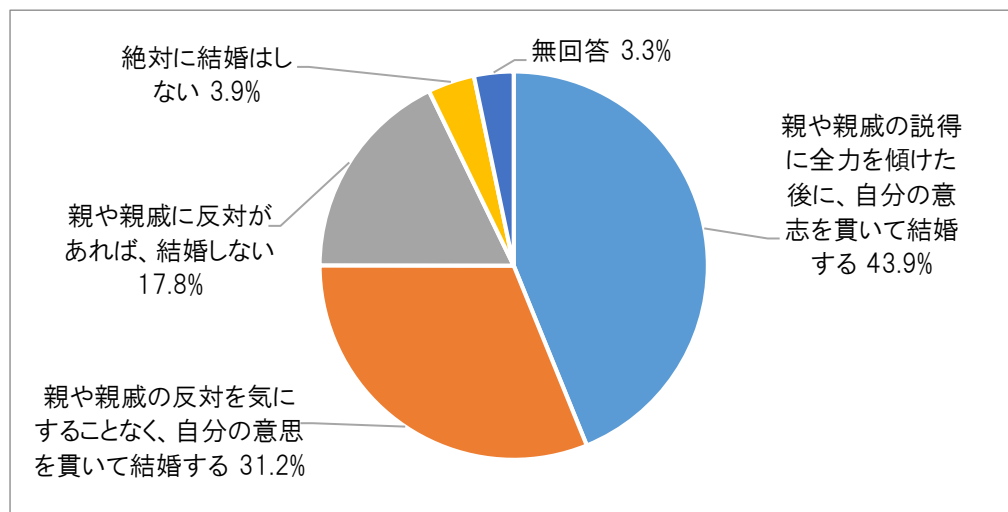


「まったく問題にしない」との回答率は、男性 34%、女性 24.9%となっている。年代別では、10、20 歳代は最も高く (55.9%)、70 歳代は最も低く (16.8%) となっている。

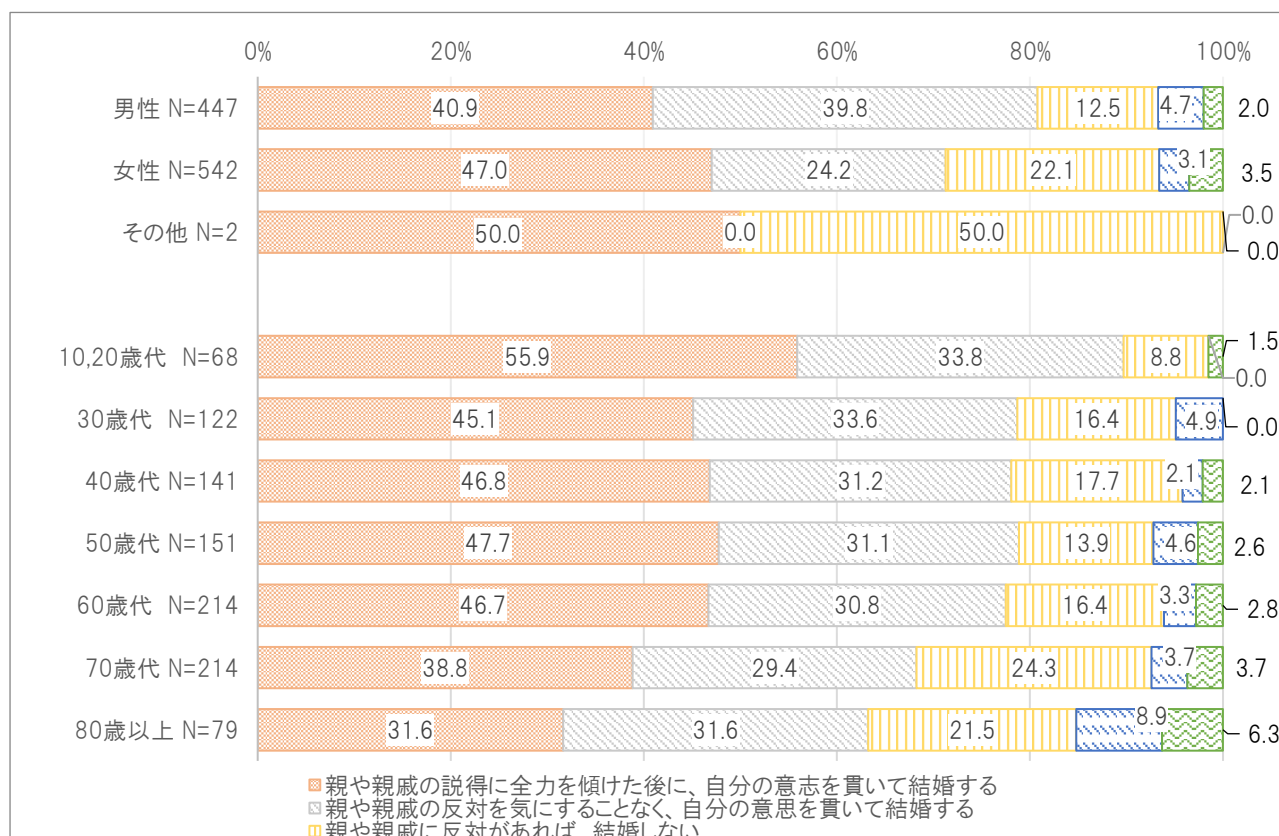


問16 仮に、あなたが同和地区の人と結婚しようとしたとき、親や親戚が反対をしたら、あなたはどのようにしますか。次の1～4の中から、あてはまる番号を記入してください。

「1. 親や親戚の説得に全力を傾けた後に自分の意思を貫いて結婚する」「2. 親や親戚の反対を気にすることなく、自分の意思を貫いて結婚する」を合わせた比率は75.1%、「3. 親や親戚に反対があれば結婚しない」「4. 絶対に結婚しない」を合わせた比率は21.7%であった。



「反対があれば結婚しない」、「絶対に結婚しない」を合わせた回答率は、男性 17.2%、女性 25.2%となっている。年代別では、10、20 歳代は最も高く(8.8%)、70 歳代は 28%、80 歳代は 30.4%となっている。

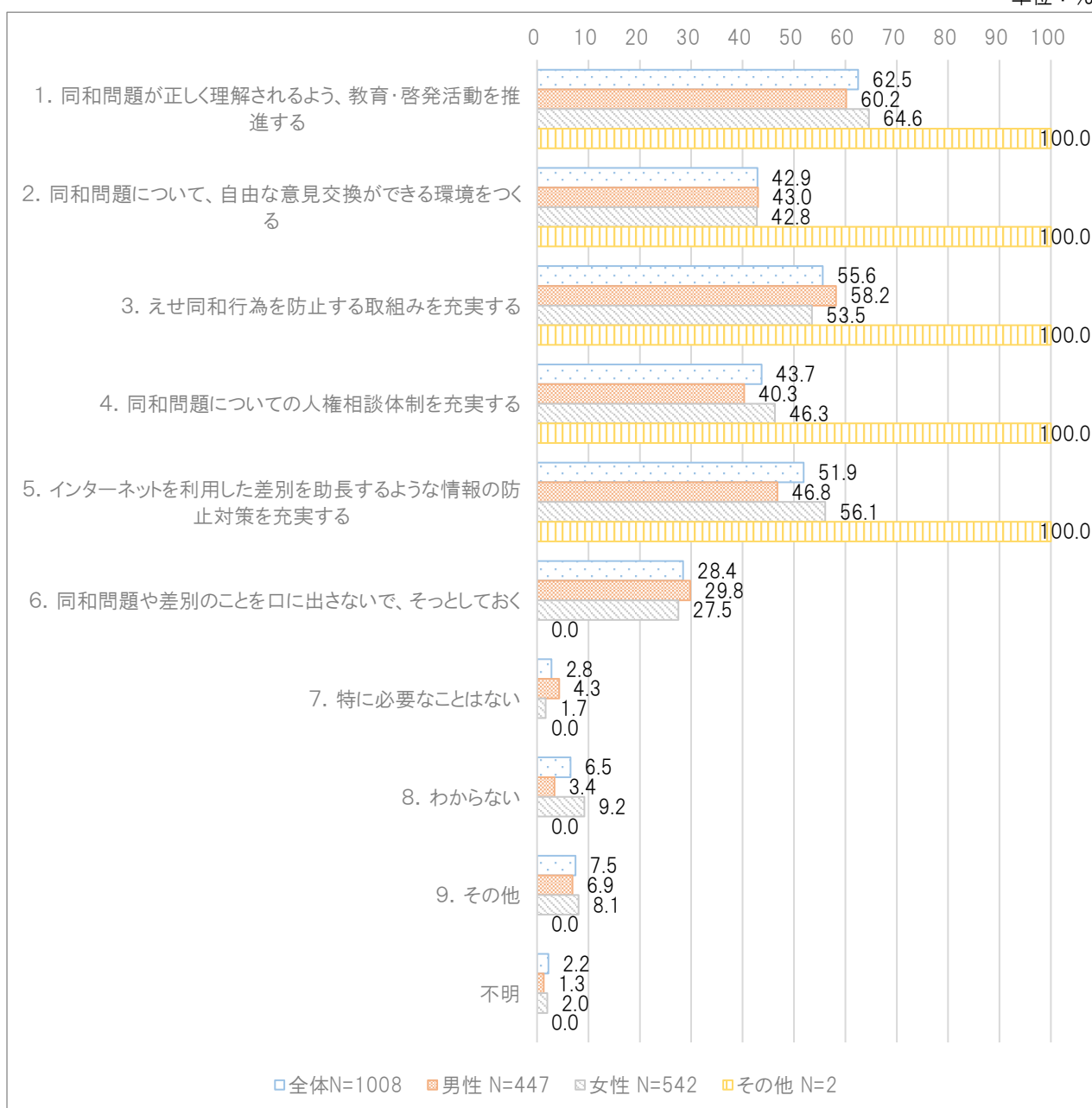


問 17 同和問題を解決するために、必要なことはどのようなことだと思いますか。

あてはまる番号すべてを記入してください。

「1. 同和問題が正しく理解されるよう、教育・啓発活動を推進する」が62.5%と最も高く、次いで「3. えせ同和行為を防止する取組みを充実する」が55.6%、次いで「5. インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」が51.9%となっている。

単位：％



単位：％

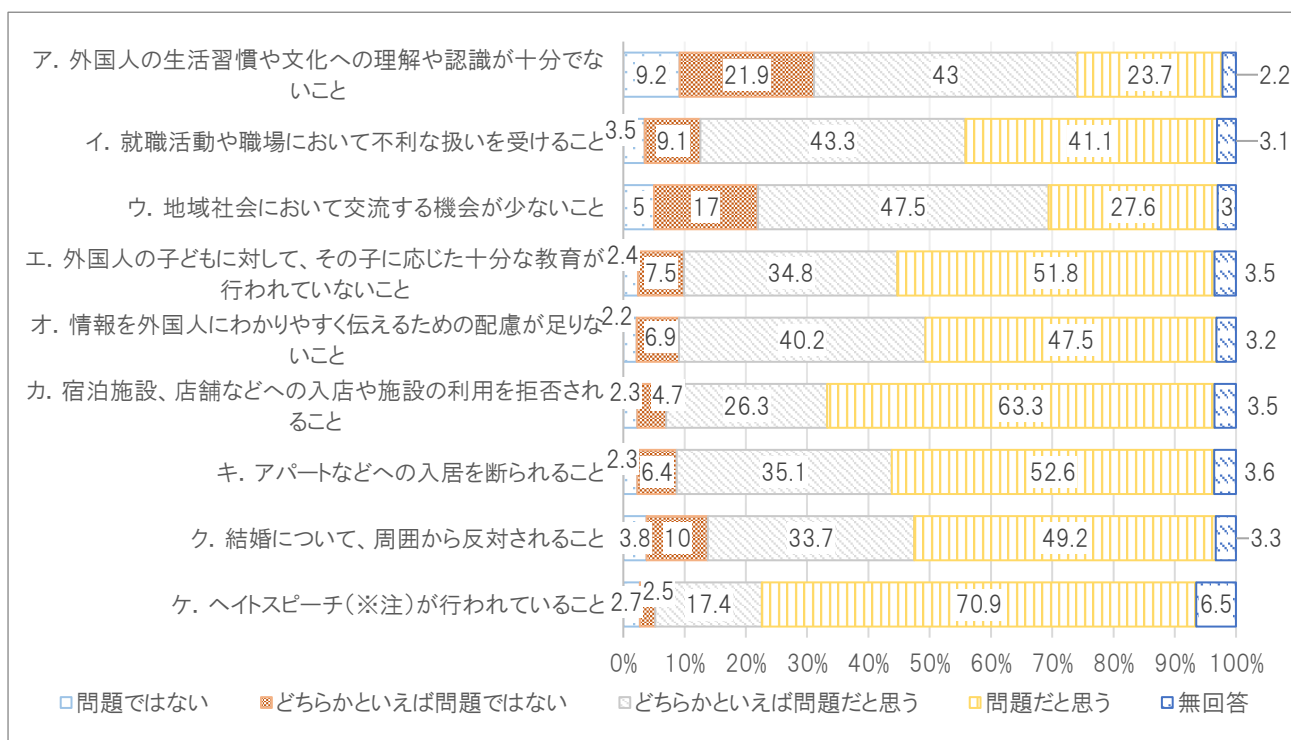
	10,20 歳代 【N=68】	30 歳代 N=122】	40 歳代 【N=141】	50 歳代 【N=151】	60 歳代 【N=214】	70 歳代 【N=214】	80 歳代 以上 【N=79】
同和問題が正しく理解されるよう、教育・啓発活動を推進する	67.6	60.7	59.6	64.2	60.3	62.6	70.9
同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	33.8	33.6	34.8	39.1	46.7	52.3	53.2
えせ同和行為を防止する取組みを充実する	55.9	59.0	59.6	63.6	53.7	51.9	44.3
同和問題についての人権相談体制を充実する	45.6	39.3	40.4	41.1	47.7	44.9	46.8
インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	63.2	51.6	46.8	59.6	52.3	49.5	45.6
同和問題や差別のことを口に出さないで、そっとしておく	33.8	35.2	26.2	25.8	23.4	28.0	38.0
特に必要なことはない	1.5	1.6	2.1	1.3	3.7	4.2	3.8
わからない	2.9	4.9	8.5	7.9	7.9	6.1	3.8
その他	4.4	10.7	9.2	7.9	7.5	5.6	6.3
無回答	1.5	0.0	1.4	0.7	1.4	1.9	6.3

外国人の人権について

問 18 日本に住んでいる外国人に関する次のア～ケのことがらについて、どう思いますか。

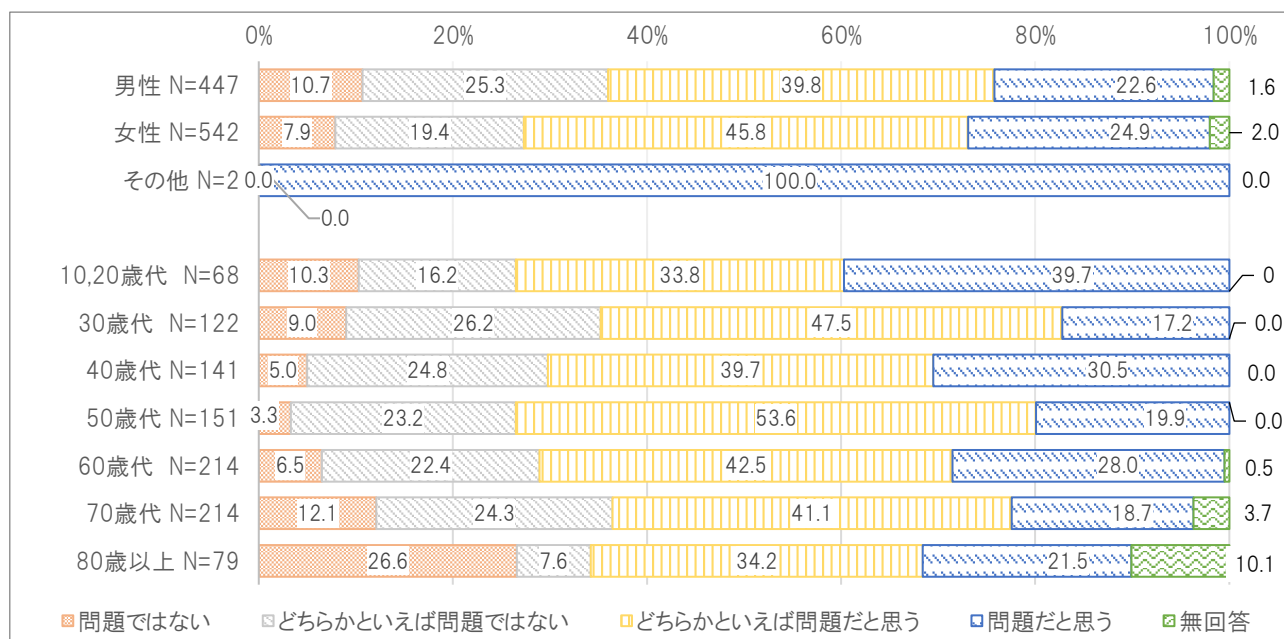
1～4の中から、それぞれにあてはまる番号を記入してください。

「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた比率でみると、「カ. 宿泊施設、店舗などへの入店や施設の利用を拒否されること」が89.6%と最も高く、次いで「ケ. ヘイトスピーチが行われていること」が88.3%、次いで「オ. 情報を外国人に分かりやすく伝えるための配慮が足りないこと」「キ. アパートなどへの入居を断られること」がともに87.7%であった。



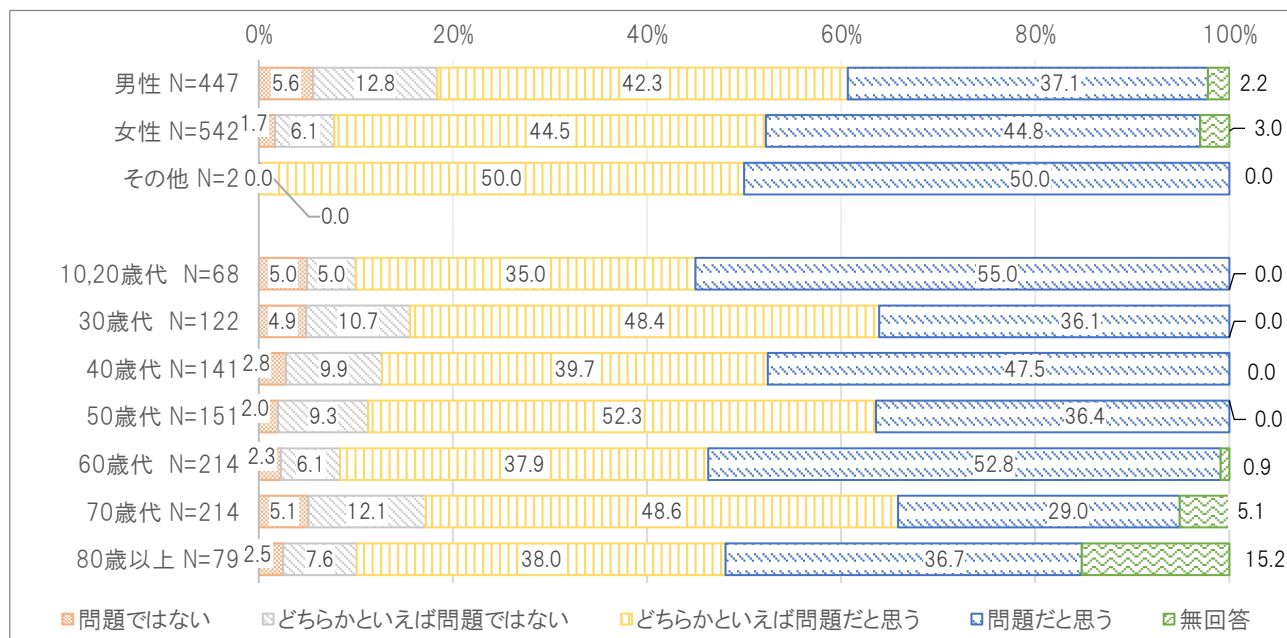
ア. 外国人の生活習慣や文化への理解や認識が十分でないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 62.4%、女性 70.7%となっている。年代別では、60 歳代以下では 60%を超えるが、70 歳代以上は 60%を下回っている。



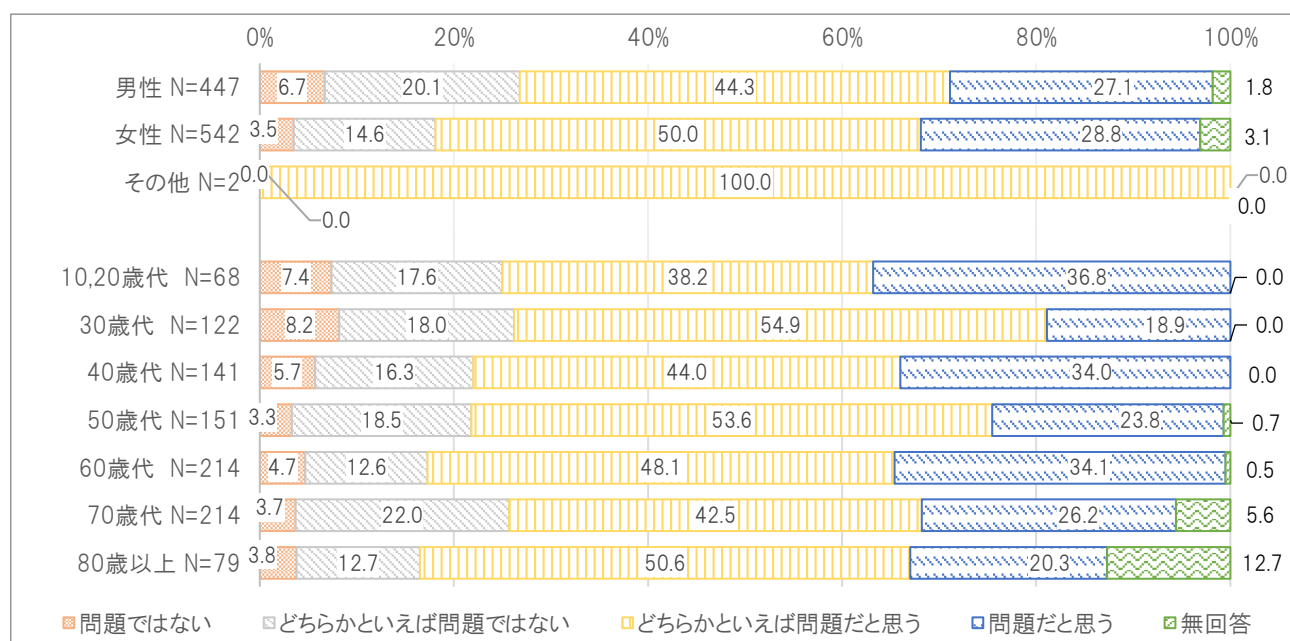
イ. 就職活動や職場において不利な扱いを受けること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 79.4%、女性 89.3%となっている。年代別では、60 歳代以下では 80%を超えるが、70 歳代以上は 80%を下回っている。



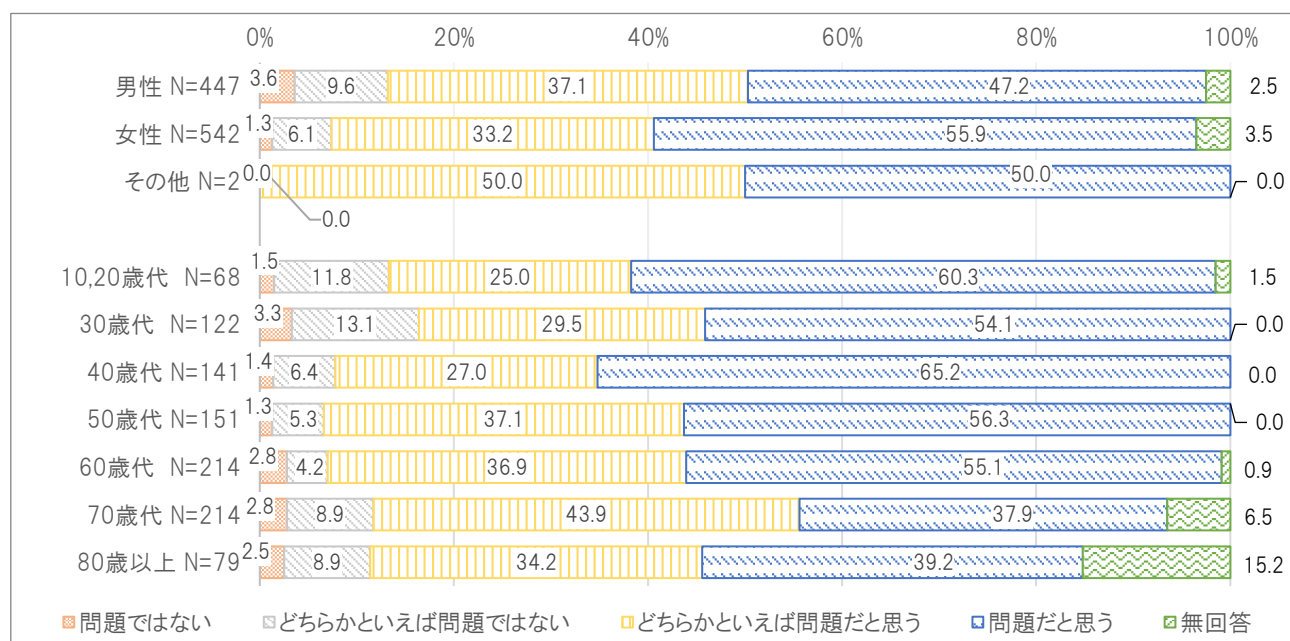
ウ. 地域社会において交流する機会が少ないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 71.4%、女性 78.8%となっている。年代別では、70 歳代 (68.7%) を除く年齢層で 70%を超えている。



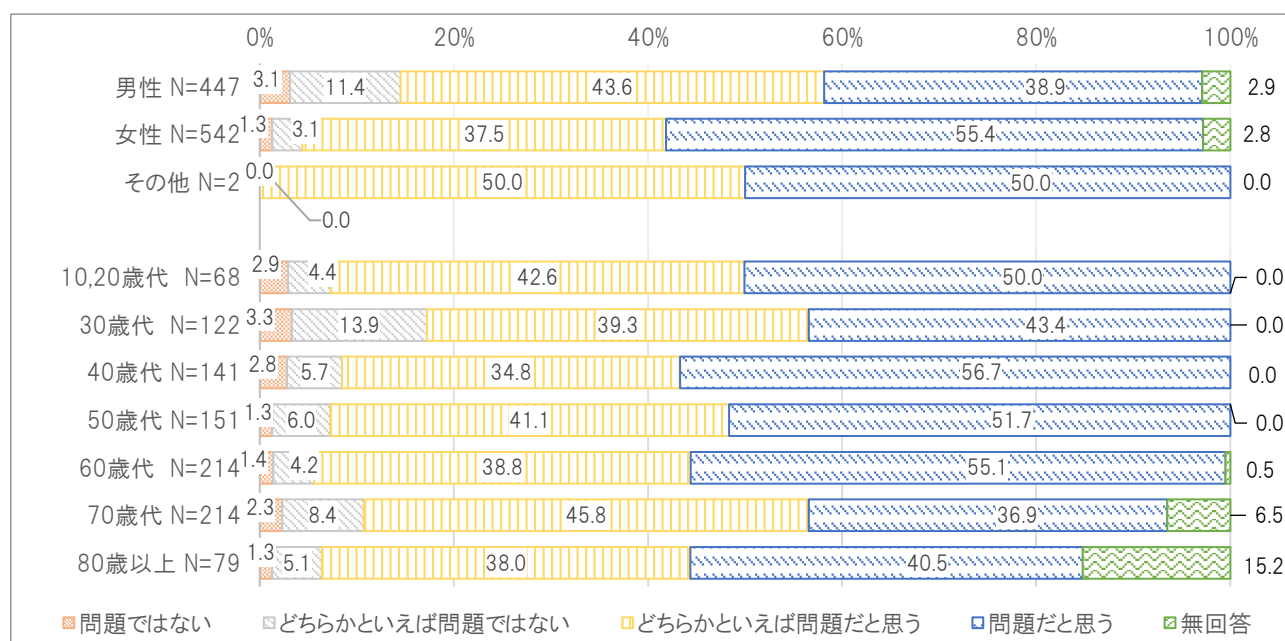
エ. 外国人の子どもに対して、その子に応じた十分な教育が行われていないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 84.3%、女性 89.1%となっている。年代別では、全年齢層で 70%以上となっている。



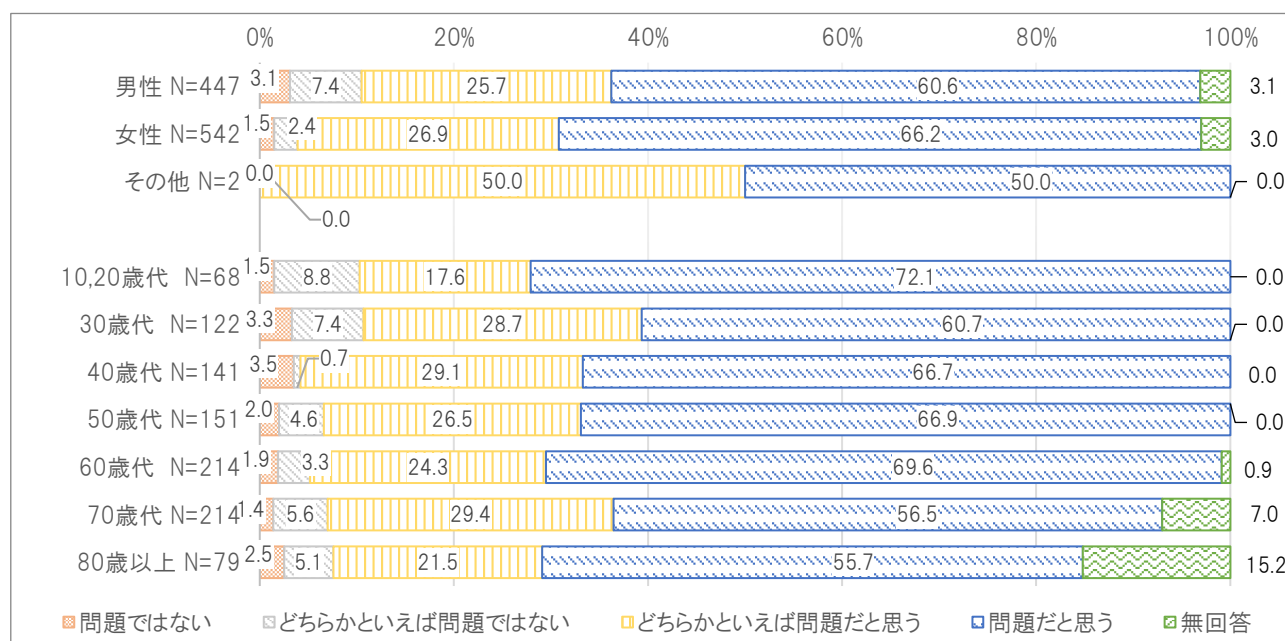
オ. 情報を外国人にわかりやすく伝えるための配慮が足りないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 82.5%、女性 92.9%となっている。年代別では、全年齢層で 75%を超えている。



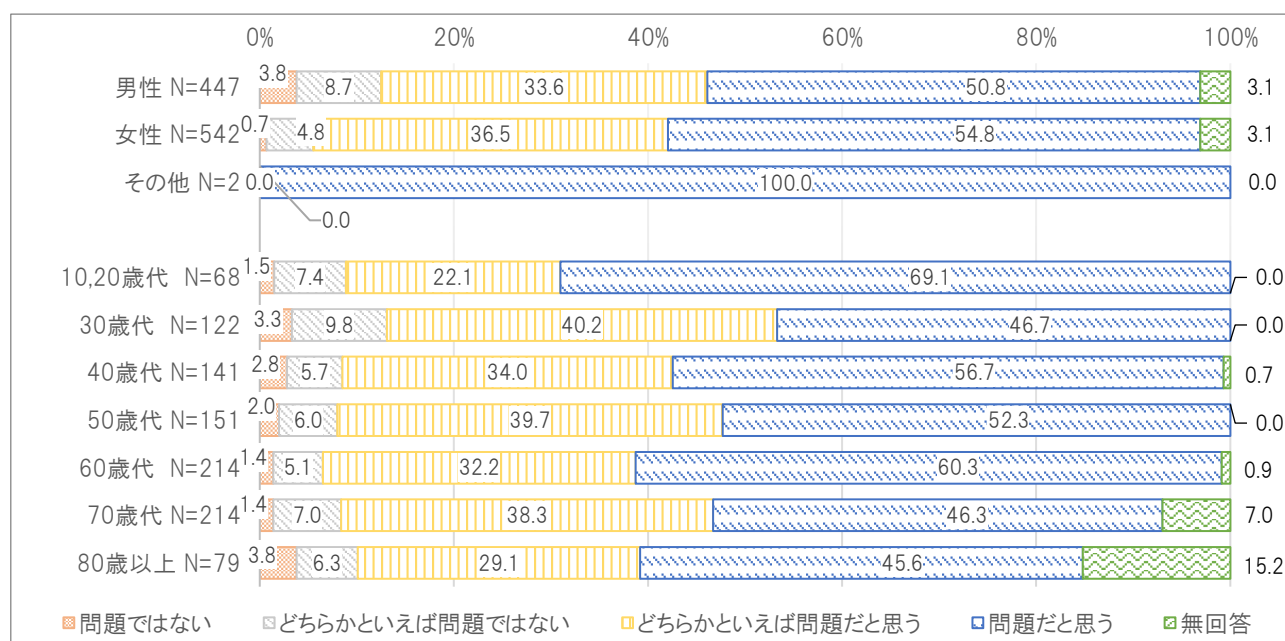
カ. 宿泊施設、店舗などへの入店や施設の利用を拒否されること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 86.3%、女性 93.1%となっている。年代別では、80歳以上(77.2%)を除く年齢層で 85%を超えている。



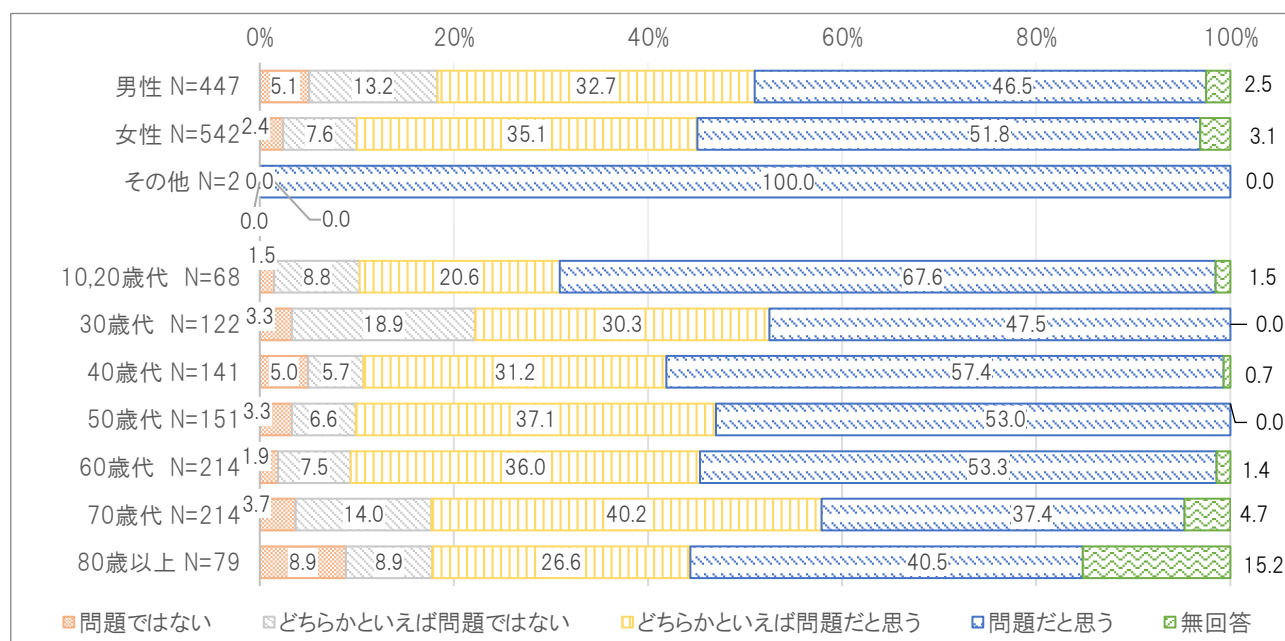
キ. アパートなどへの入居を断られること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 84.4%、女性 91.3%となっている。年代別では、80 歳以上 (74.7%) を除く年齢層で 80%を超えている。



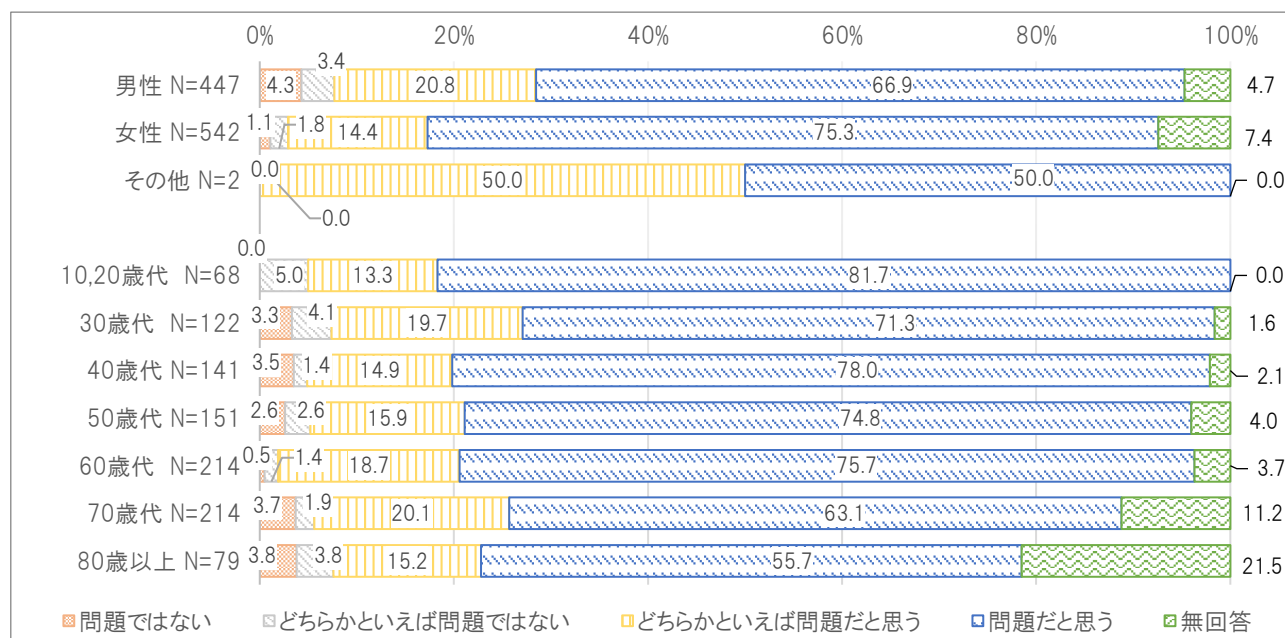
ク. 結婚について、周囲から反対されること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 79.2%、女性 86.9%となっている。年代別では、80 歳以上 (67.1%) を除く年齢層で 75%を超えている。



ケ. ヘイトスピーチが行われていること

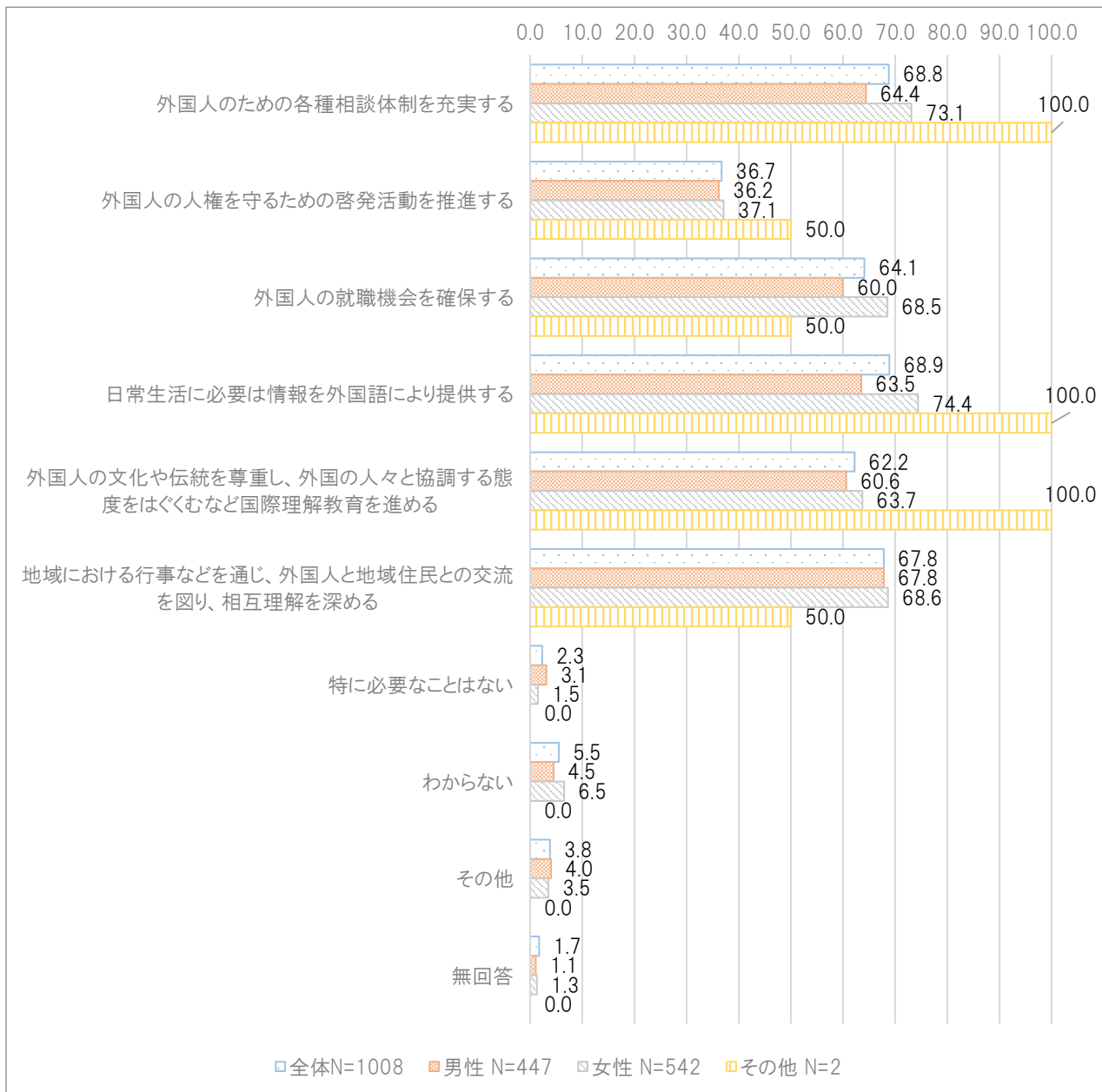
「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 87.7%、女性 89.7%となっている。年代別では、60 歳代以下は 90%を超えているが、70 歳代で 83.2%、80 歳以上で 70.9%となっている。



問 19 日本に住んでいる外国人の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。
 あてはまる番号すべてを記入してください。

「4. 日常生活に必要な情報を外国語により提供する」が68.9%と最も高く、次いで「1. 外国人のための各種相談体制を充実する」が68.8%、次いで「6. 地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が67.8%となっている。

単位：％



単位：％

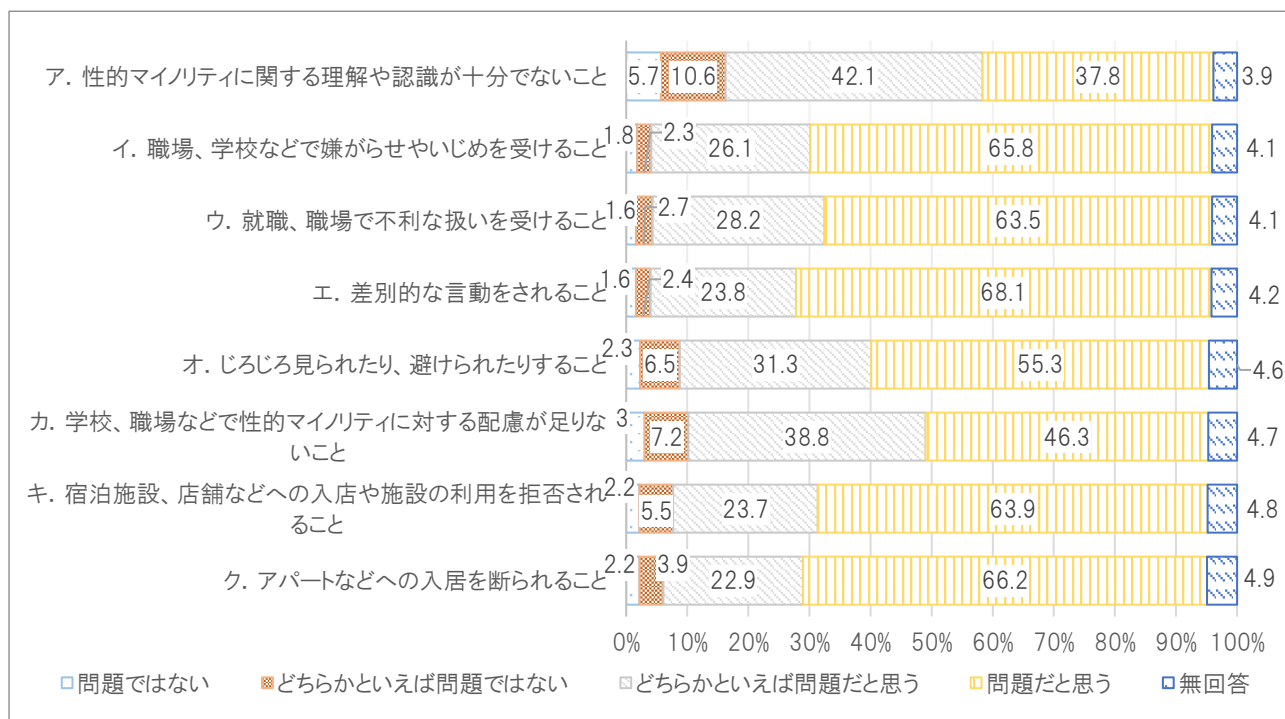
	10,20 歳代 【N=68】	30 歳代 N=122】	40 歳代 【N=141】	50 歳代 【N=151】	60 歳代 【N=214】	70 歳代 【N=214】	80 歳代 以上 【N=79】
外国人のための各種相談体制を充実する	66.2	69.7	70.2	72.2	71.0	65.9	68.4
外国人の人権を守るための啓発活動を推進する	33.8	26.2	31.2	35.1	40.2	41.6	45.6
外国人の就職機会を確保する	70.6	63.9	63.1	64.2	67.8	61.7	62.0
日常生活に必要な情報を外国語により提供する	73.5	67.2	68.8	72.2	74.8	67.3	59.5
外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める	69.1	61.5	65.2	59.6	59.8	63.1	63.3
地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める	60.3	64.8	66.0	68.2	69.6	71.5	72.2
特に必要なことはない	2.9	0.0	2.8	2.0	2.3	2.8	2.5
わからない	2.9	4.9	8.5	4.0	4.7	6.1	7.6
その他	4.4	2.5	6.0	4.6	3.7	2.8	5.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	6.3

性的マイノリティについて

問 20 性的マイノリティに関する次のア～クのことからについて、どう思いますか。

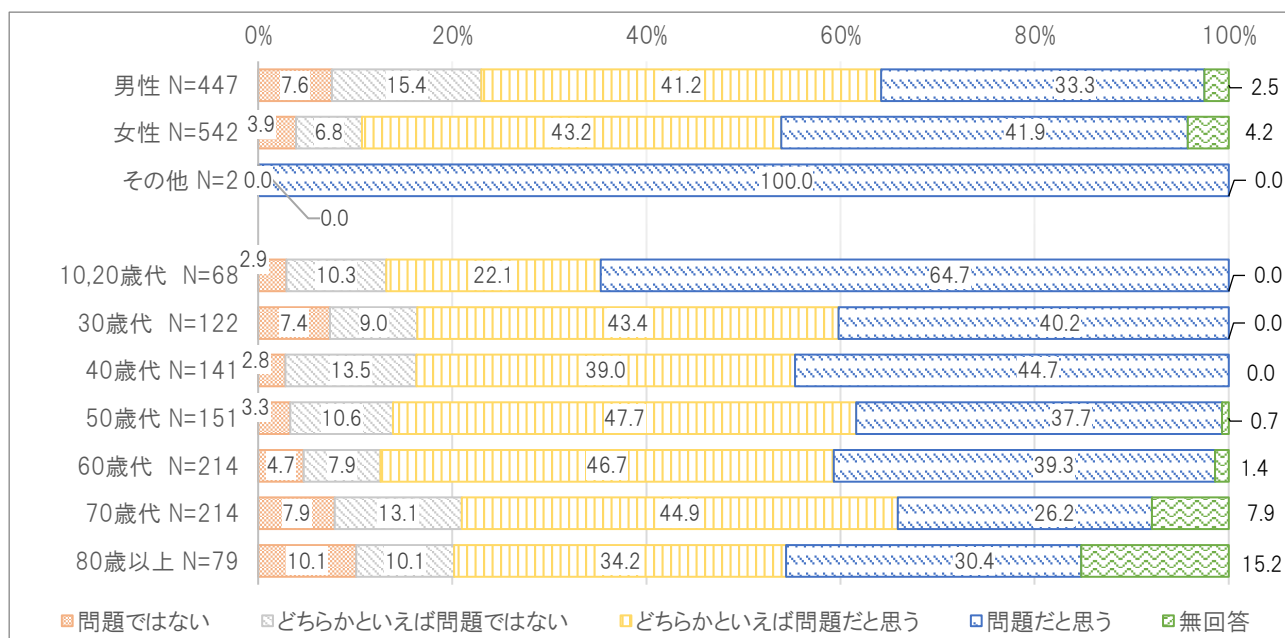
1～4の中から、それぞれにあてはまる番号を記入してください。

「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた比率でみると、「イ. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」「エ. 差別的な言動をされること」がともに91.9%と最も高く、次いで「ウ. 就職、職場で不利な扱いを受けること」が91.7%、次いで「ク. アパートなどへの入居を断られること」が89.1%であった。



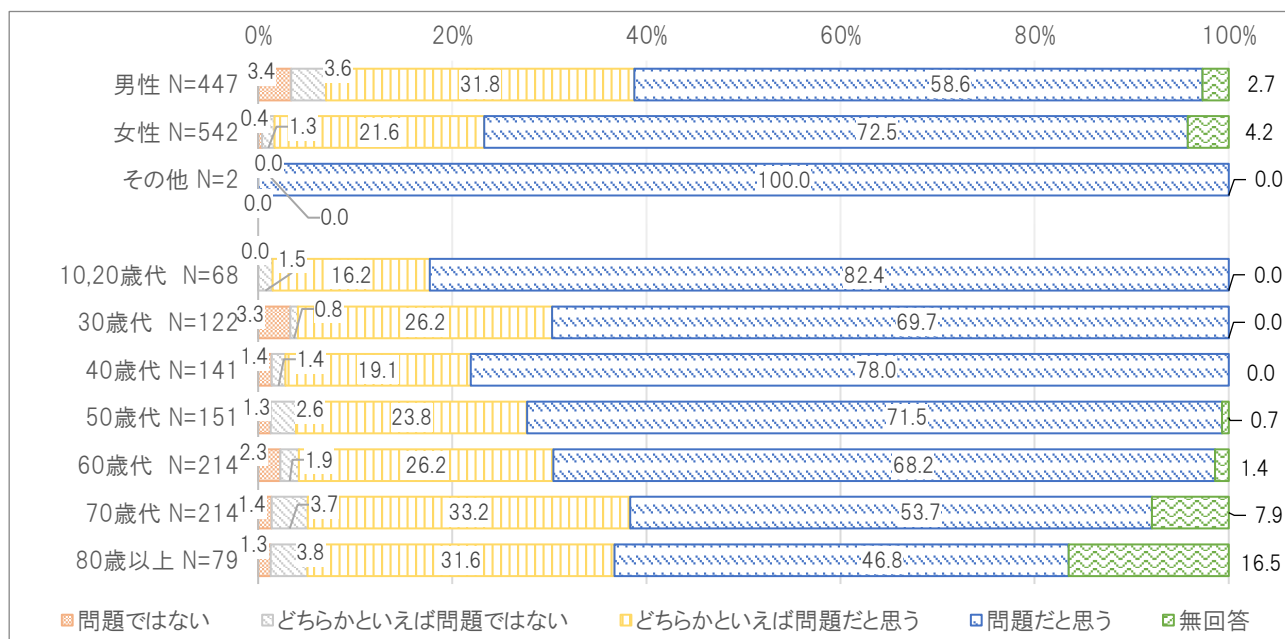
ア. 性的マイノリティに関する理解や認識が十分でないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 74.5%、女性 85.1%となっている。年代別では、60 歳代以下は 80%を超えているが、70 歳代で 71.1%、80 歳以上で 64.6%となっている。



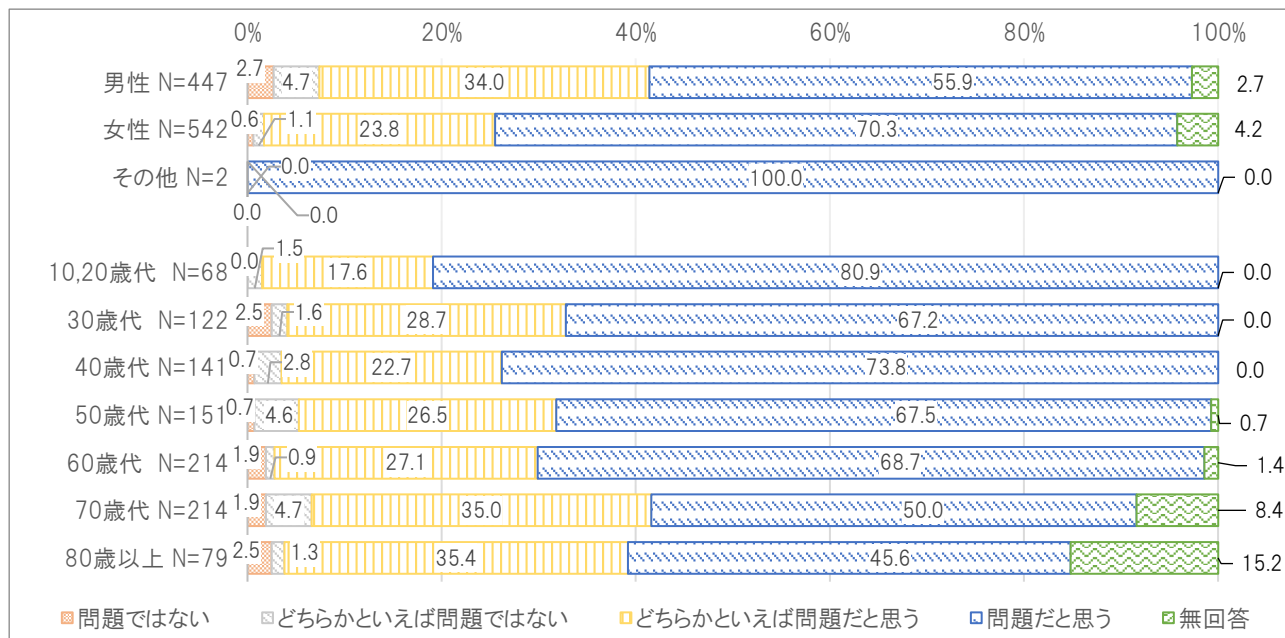
イ. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 90.4%、女性 94.1%となっている。年代別では、80 歳代以上 (78.4%) を除く年齢層で 85%を超えている。



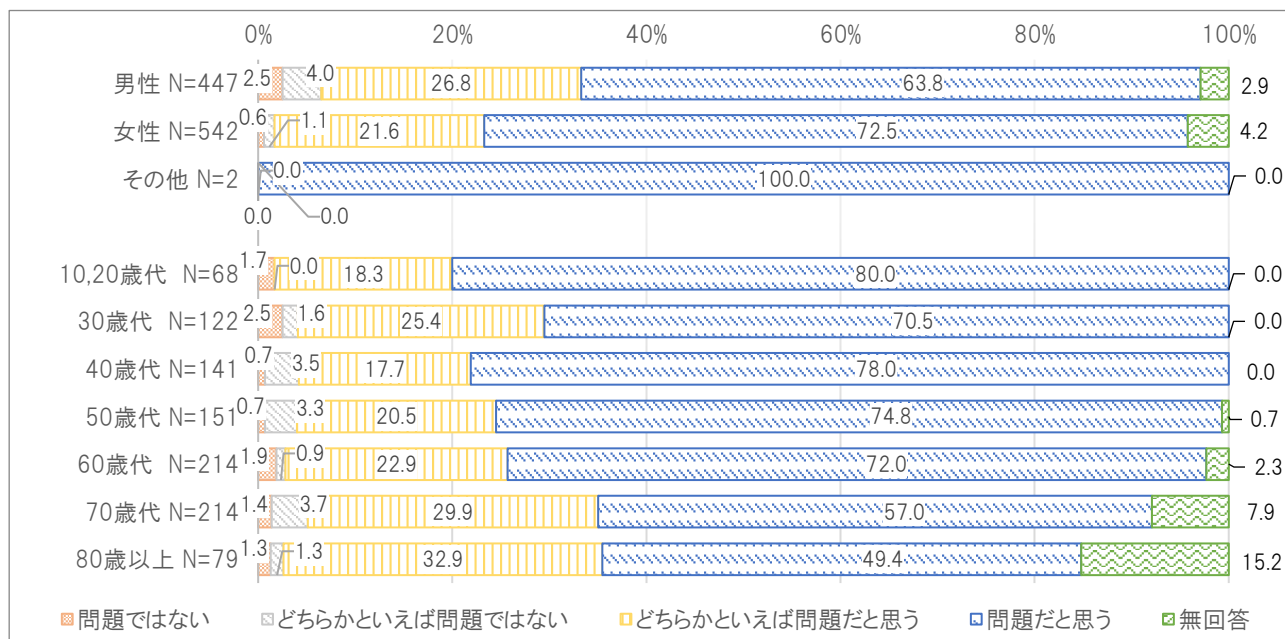
ウ. 就職、職場で不利な扱いを受けること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 89.9%、女性 94.1%となっている。年代別では、60 歳代以下は 90%を超えているが、70 歳代で 85%、80 歳以上で 81%となっている。



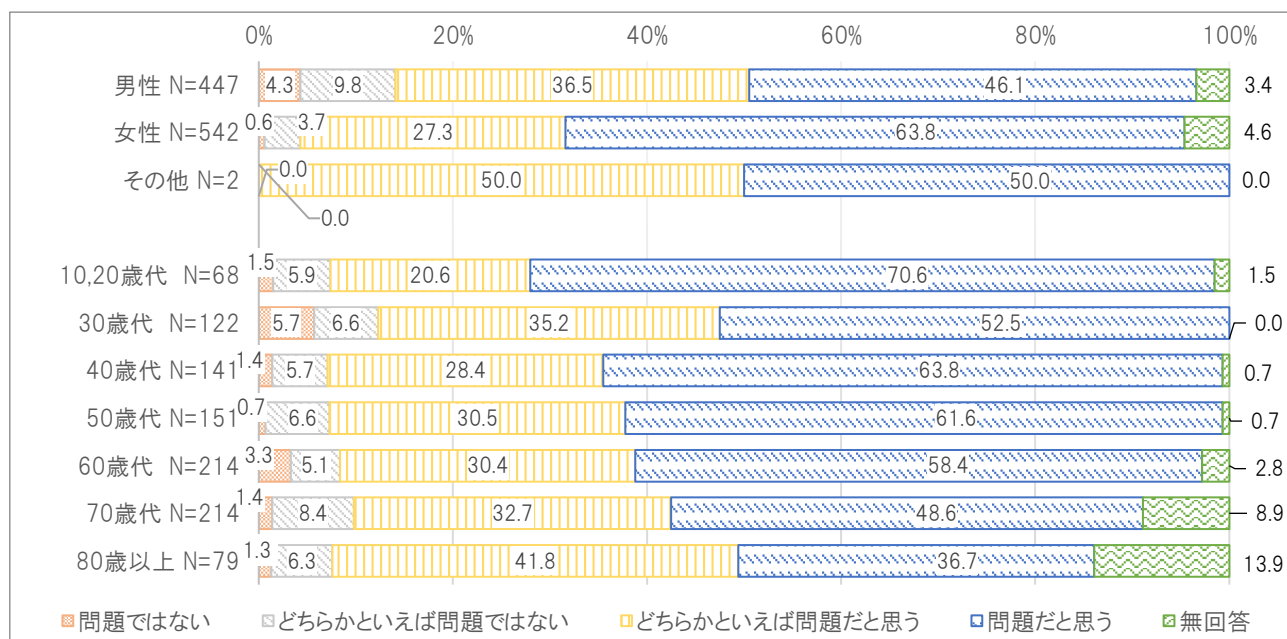
エ. 差別的な言動をされること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 90.6%、女性 94.1%となっている。年代別では、60 歳代以下は 94%を超えているが、70 歳代で 86.9%、80 歳以上で 82.3%となっている。



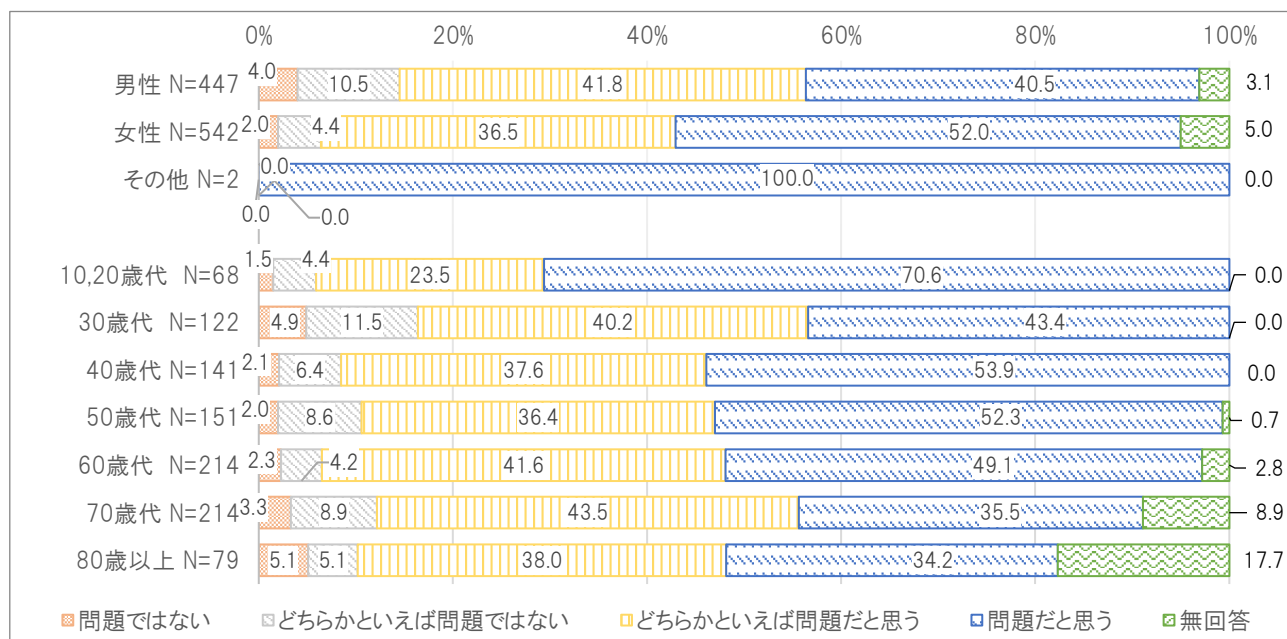
オ. じろじろ見られたり、避けられたりすること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 82.6%、女性 91.1%となっている。年代別では、全年齢層で 75%を超えている。



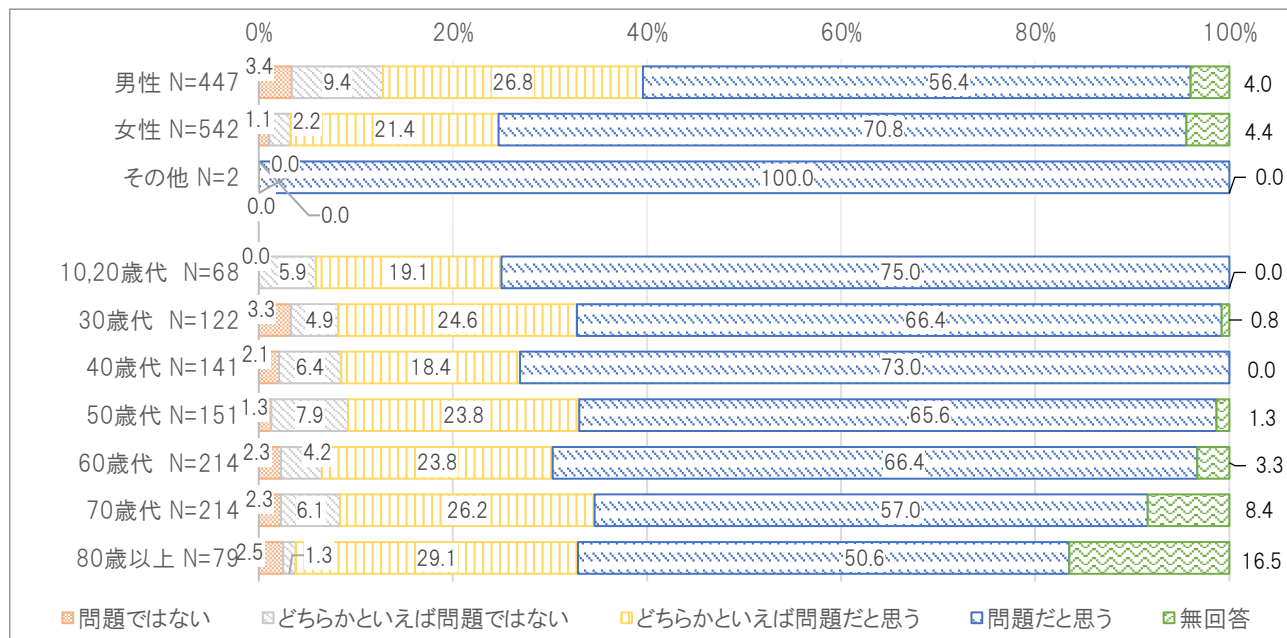
カ. 学校、職場などで性的マイノリティに対する配慮が足りないこと

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 82.3%、女性 88.5%となっている。年代別では、60歳代以下は 80%を超えているが、70歳代で 79%、80歳以上で 72.2%となっている。



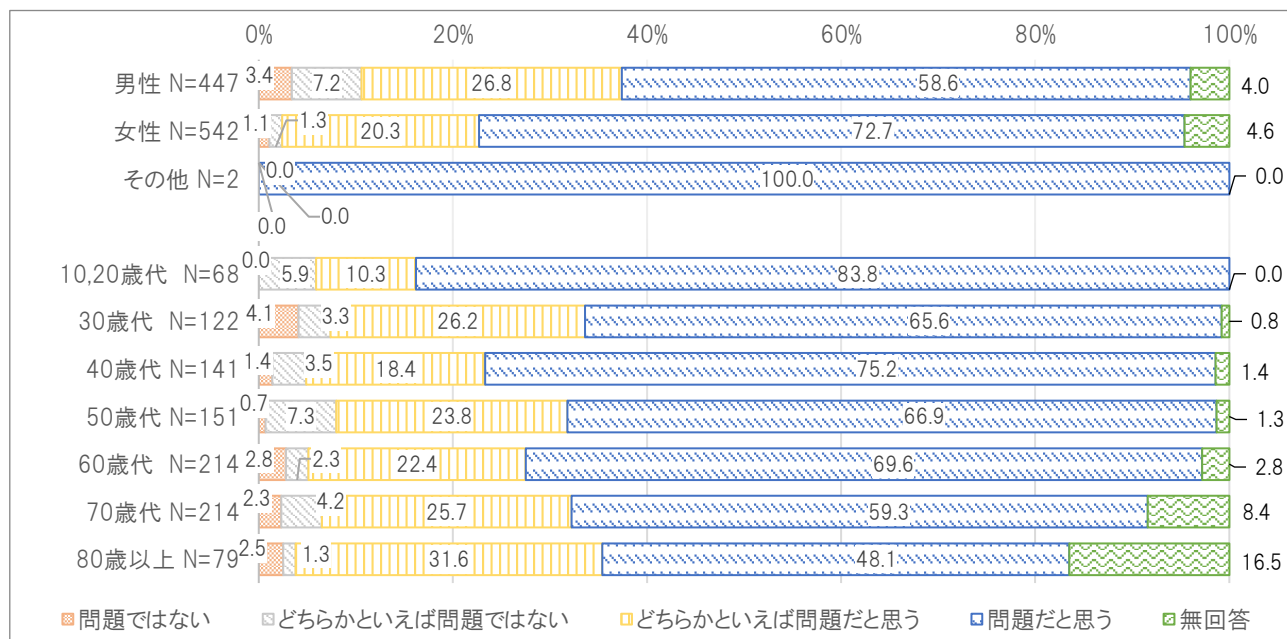
キ. 宿泊施設、店舗などへの入店や施設の利用を拒否されること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 83.2%、女性 92.2%となっている。年代別では、60 歳代以下は 90%超または 90%近いが、70 歳代で 83.2%、80 歳以上で 79.7%となっている。



ク. アパートなどへの入居を断られること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 85.4%、女性 93%となっている。年代別では、60 歳代以下は 90%を超えているが、70 歳代で 85%、80 歳以上で 79.7%となっている。

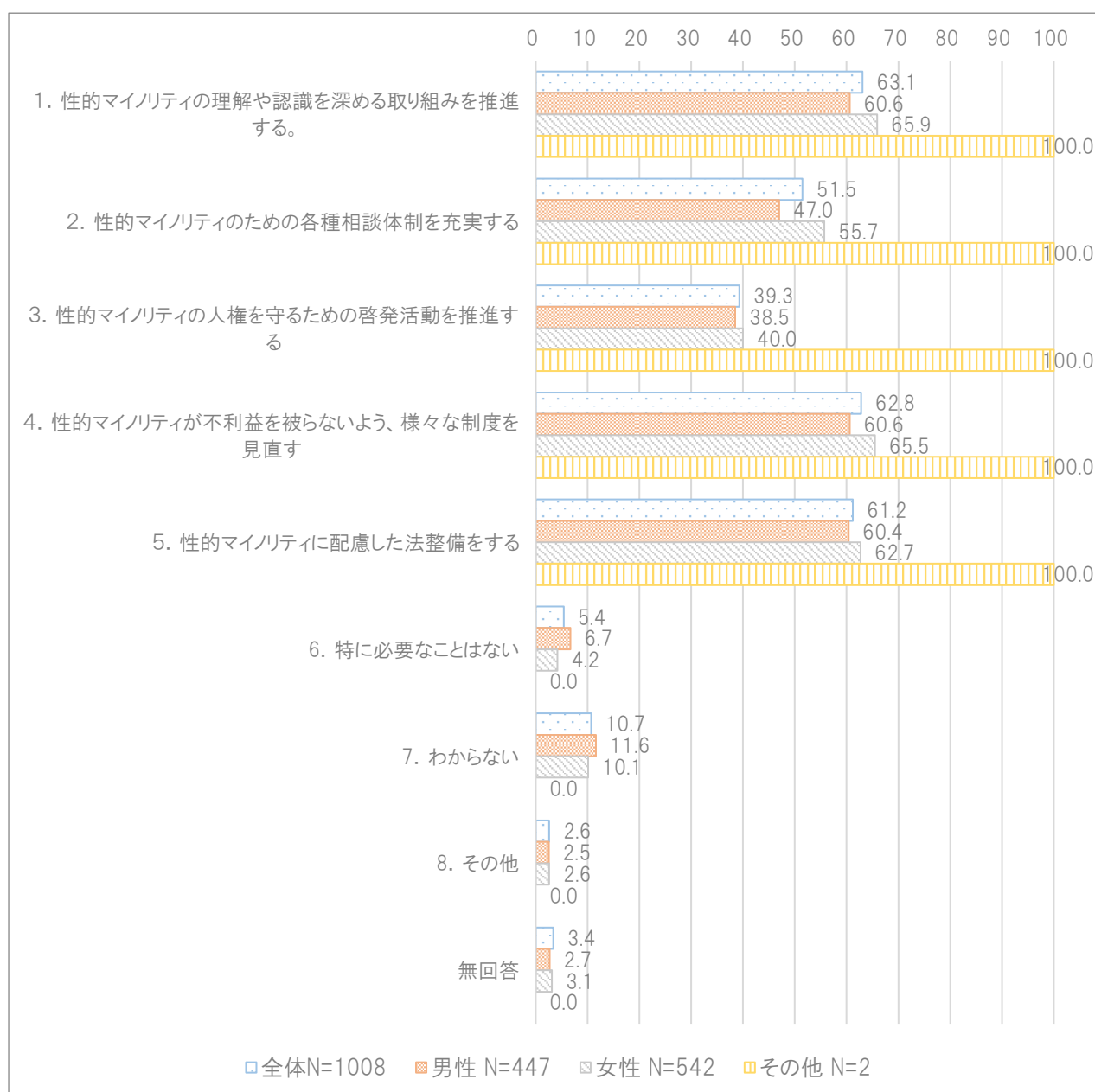


問 21 性的マイノリティの人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。

あてはまる番号すべてを記入してください。

「1. 性的マイノリティの理解や認識を深める取り組みを推進する」が63.1%と最も高く、次いで「2. 性的マイノリティが不利益を被らないよう、様々な制度を見直す」が62.8%、次いで「3. 性的マイノリティに配慮した法整備をする」が61.2%となっている。

単位：％



単位：％

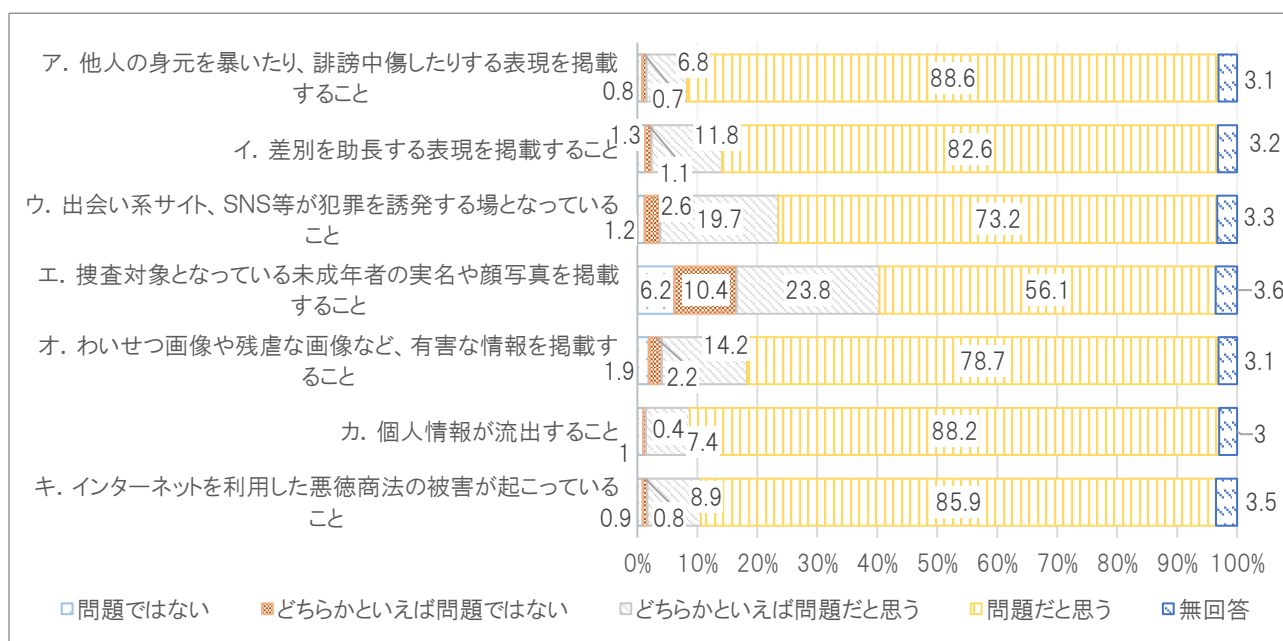
	10,20 歳代 【N=68】	30 歳代 N=122】	40 歳代 【N=141】	50 歳代 【N=151】	60 歳代 【N=214】	70 歳代 【N=214】	80 歳代 以上 【N=79】
性的マイノリティの理解や認識を深める取り組みを推進する。	76.5	70.5	68.8	68.2	65.9	50.5	53.2
性的マイノリティのための各種相談体制を充実する	51.5	57.4	56.7	52.3	50.0	49.5	45.6
性的マイノリティの人権を守るための啓発活動を推進する	41.2	34.4	39.0	39.1	40.7	43.9	30.4
性的マイノリティが不利益を被らないよう、様々な制度を見直す	77.9	67.2	62.4	63.6	67.3	57.9	51.9
性的マイノリティに配慮した法整備をする	79.4	64.8	67.4	60.3	63.6	55.1	49.4
特に必要なことはない	2.9	4.9	2.1	4.6	4.7	7.0	12.7
わからない	4.4	9.0	9.9	8.6	9.8	15.9	13.9
その他	4.4	4.1	2.1	2.0	1.9	1.9	3.8
無回答	0.0	0.8	0.7	0.7	2.3	5.1	11.4

インターネットにおける人権について

問 22 インターネット上での次のア～キのことがらについて、どう思いますか。

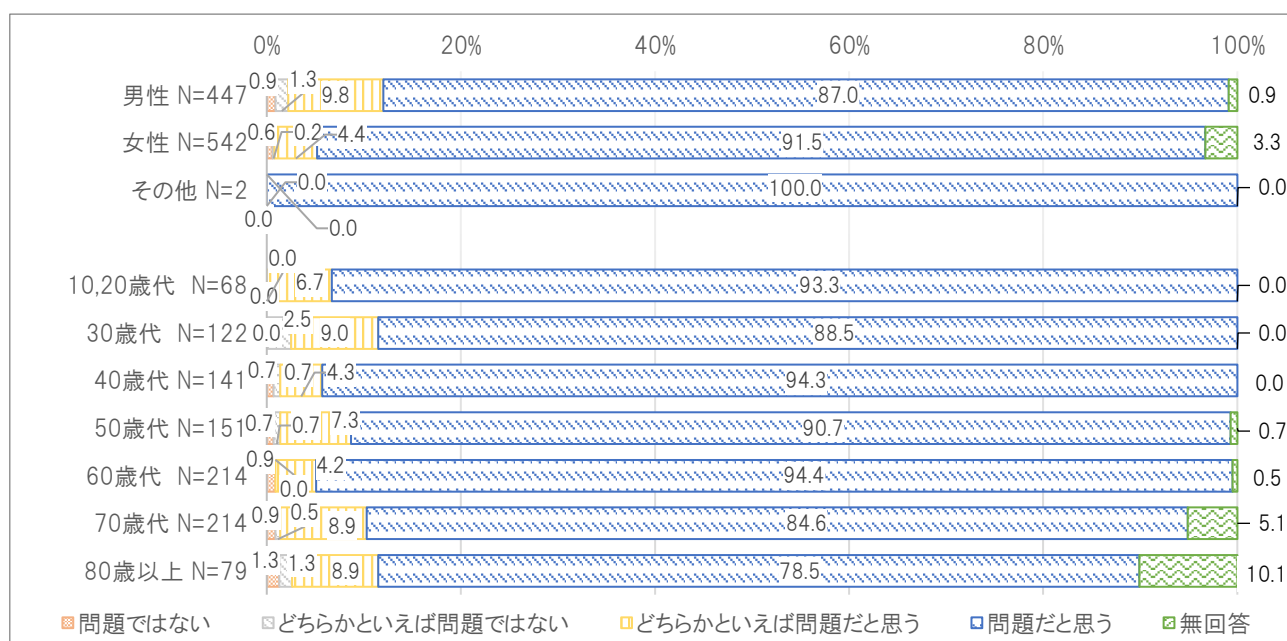
1～4の中から、それぞれにあてはまる番号を記入してください

「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた比率でみると、一部を除いてほとんどのことがらが9割を超え、特に「問題だと思う」の比率が高くなっている。「問題だと思う」のみの比率でみると「ア. 他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が88.6%と最も高く、次いで「カ. 個人情報が流出すること」が88.2%、次いで「キ. インターネットを利用した悪徳商法の被害が起こっていること」が85.9%、次いで「イ. 差別を助長する表現を掲載すること」が82.6%であった。



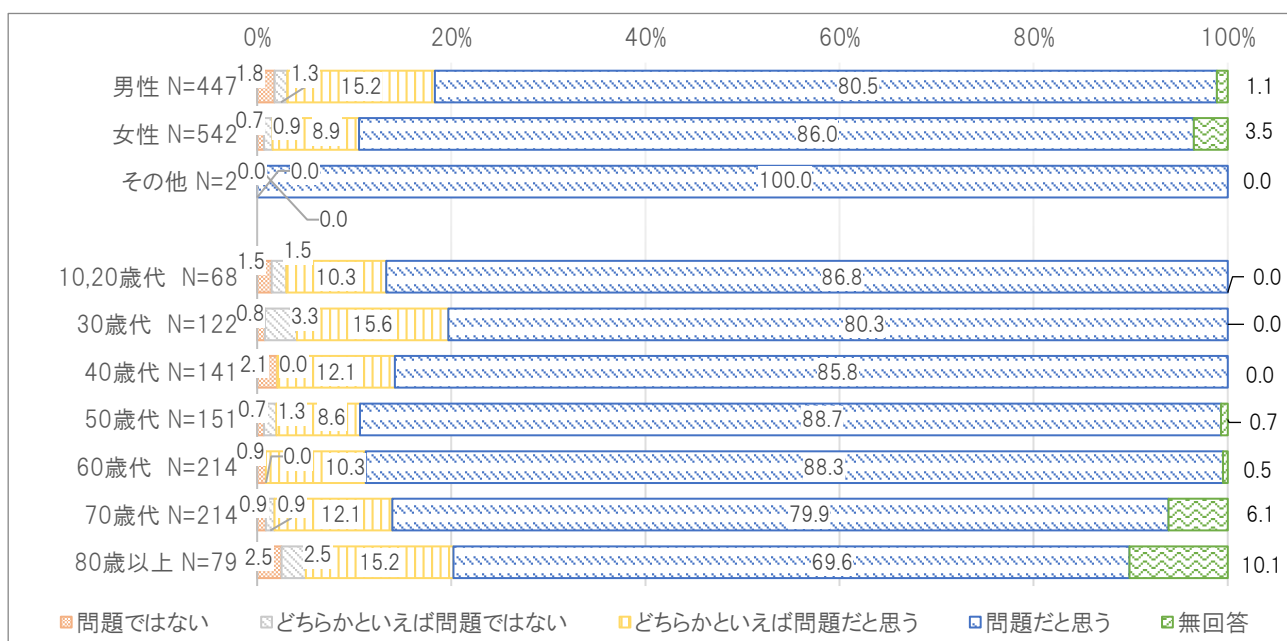
ア. 他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 96.8%、女性 95.9%となっている。年代別では、10、20 歳代で 100%、その他の年齢層でも 85%を超えている。



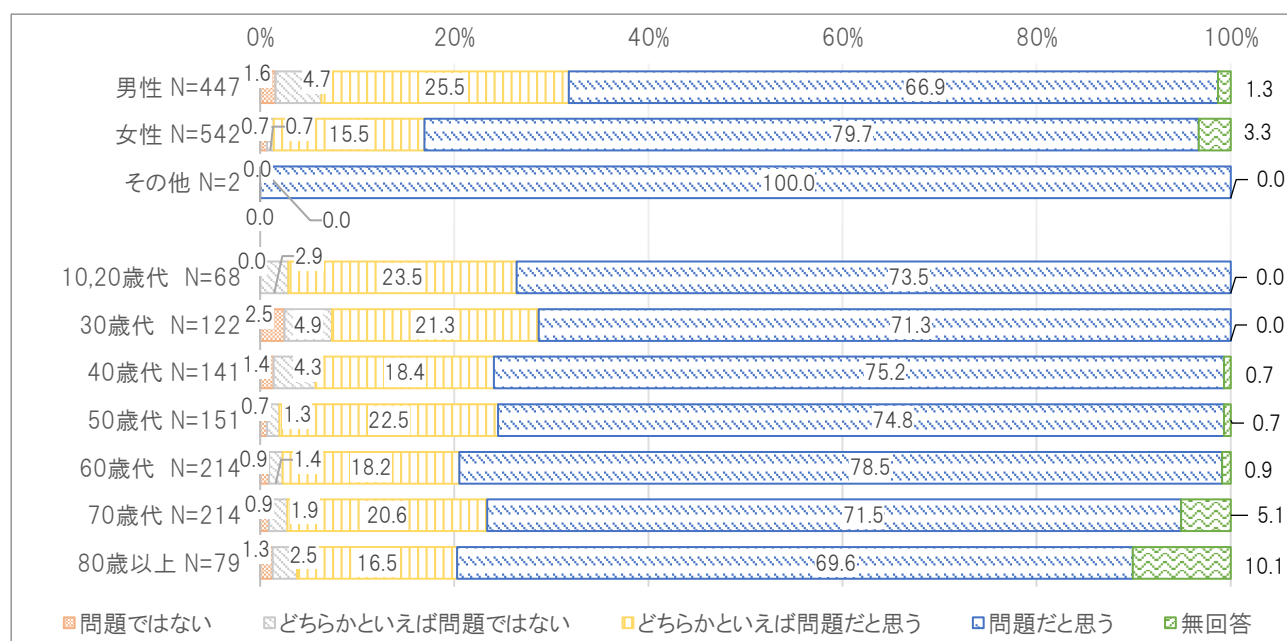
イ. 差別を助長する表現を掲載すること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 95.7%、女性 94.9%となっている。年代別では、80 歳以上（84.8%）を除く全年齢層で 90%を超えている。



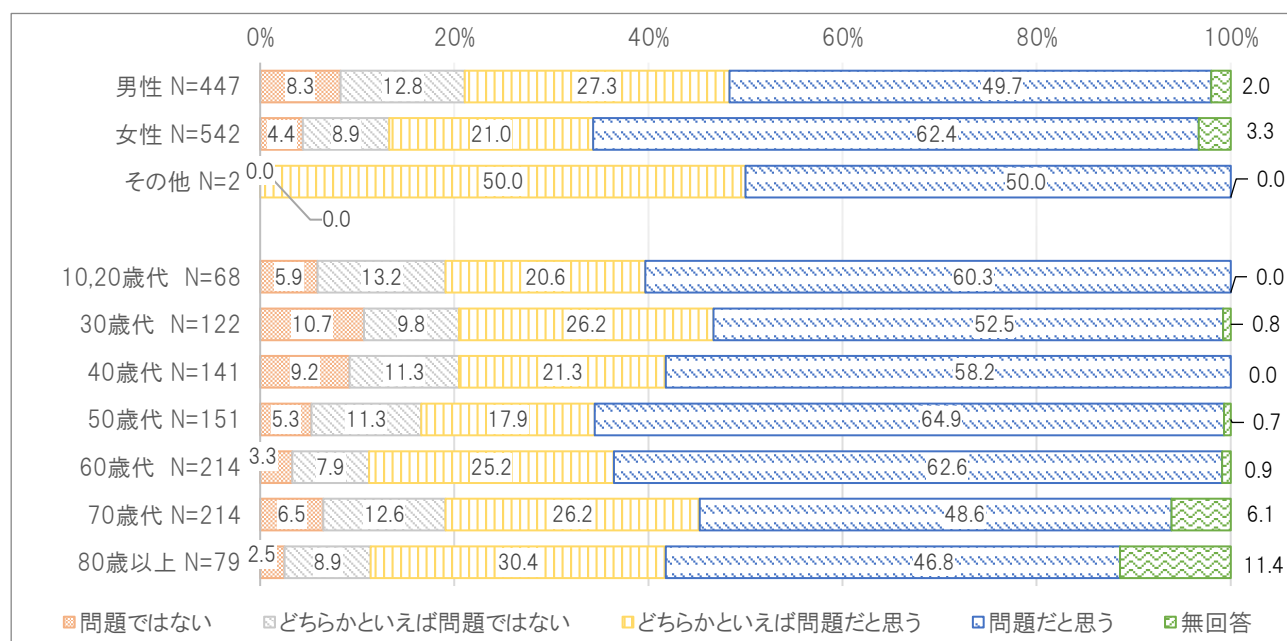
ウ. 出会い系サイト、SNS等が犯罪を誘発する場となっていること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 92.4%、女性 95.2%となっている。年代別では、80 歳以上 (86.1%) を除く全年齢層で 90%を超えている。



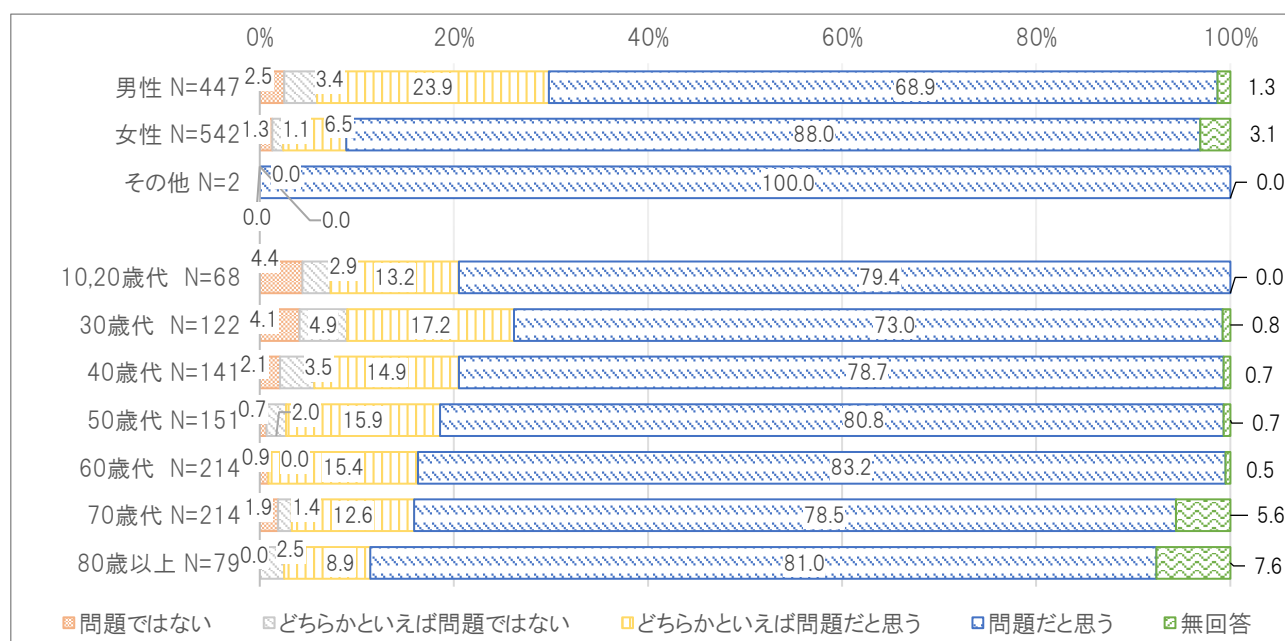
エ. 捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 77%、女性 83.4%となっている。年代別では、全年齢層で 70~80%代となっている。



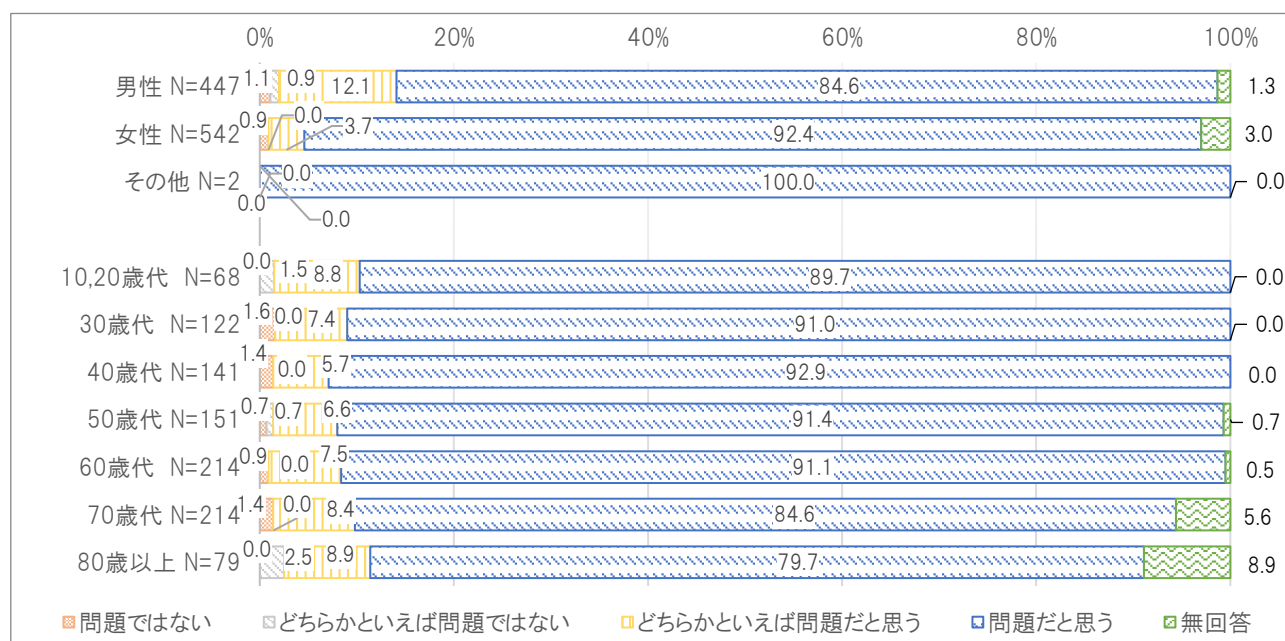
オ. わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 92.8%、女性 94.5%となっている。年代別では、全年齢層で 85%を超えている。



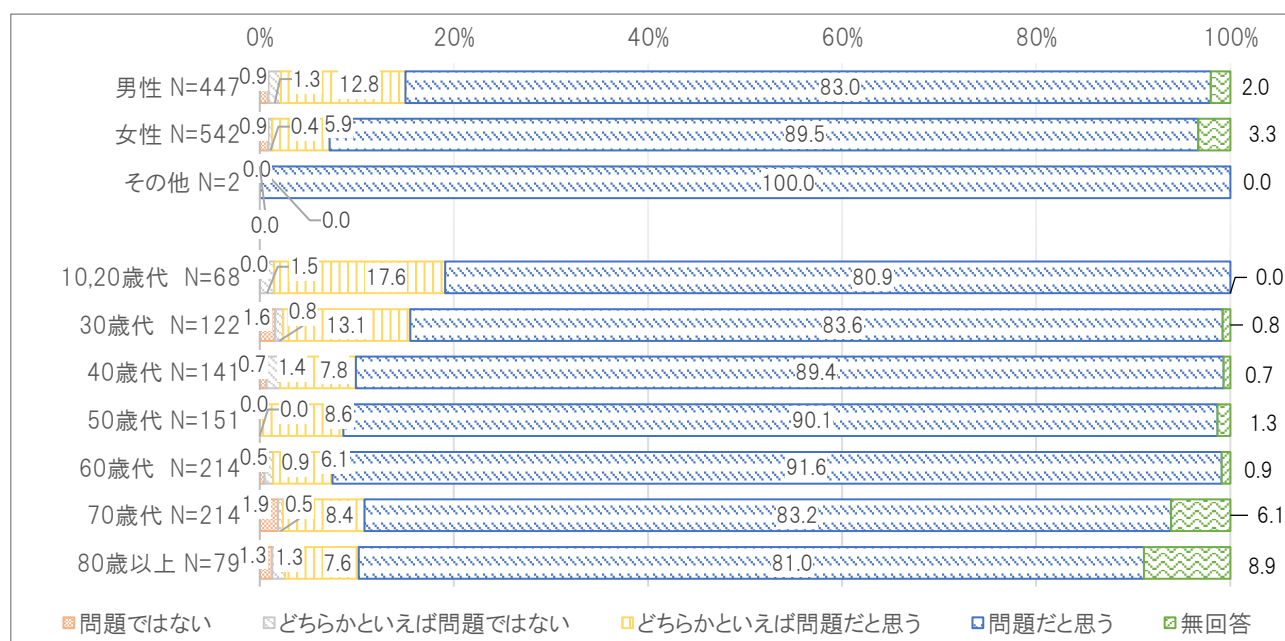
カ. 個人情報が流出すること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 96.7%、女性 96.1%となっている。年代別では、全年齢層で 85%を超えている。



キ. インターネットを利用した悪徳商法の被害が起こっていること

「問題だと思う」、「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた回答率は、男性 95.8%、女性 95.4%となっている。年代別では、85%を超えている。

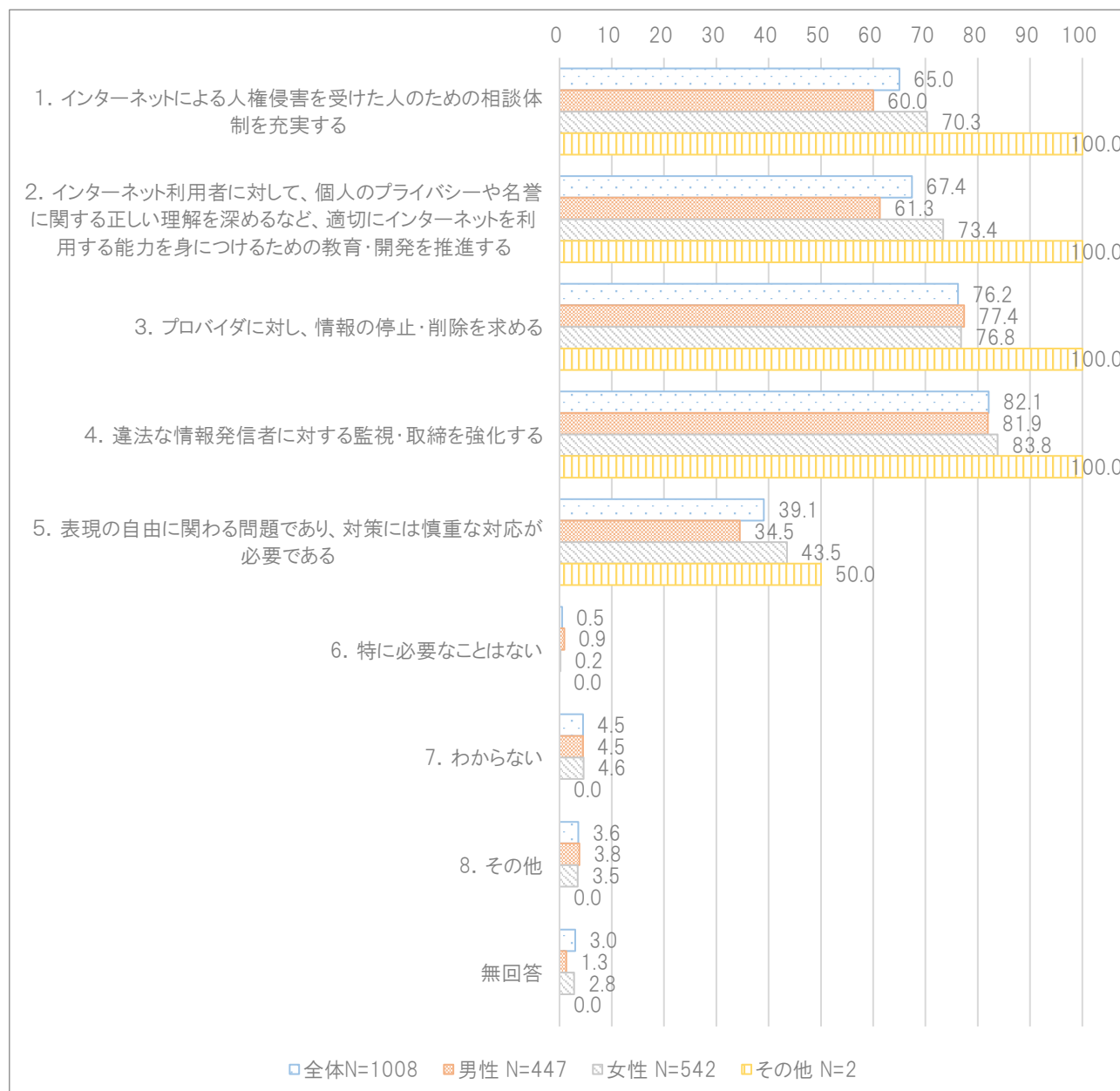


問 23 インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

あてはまる番号すべてを記入してください。

「4. 違法な情報発信者に対する監視・取締を強化する」が82.1%と最も高く、次いで「3. プロバイダに対し、情報の停止・削除を求める」が76.2%、次いで「2. インターネット利用者やプロバイダ等 に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるなど、適切にインターネットを利用する能力を身につけるための教育・啓発を推進する」が67.4%となっている。

単位：%



単位：％

	10,20 歳代 【N=68】	30 歳代 N=122】	40 歳代 【N=141】	50 歳代 【N=151】	60 歳代 【N=214】	70 歳代 【N=214】	80 歳代 以上 【N=79】
インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する	60.3	64.8	63.1	69.5	70.6	64.0	60.8
インターネット利用者やプロバイダ等に対して、	82.4	68.9	70.2	65.6	65.9	66.4	67.1
プロバイダに対し、情報の停止・削除を求める	69.1	73.0	79.4	84.1	80.8	74.8	68.4
違法な情報発信者に対する監視・取締を強化する	80.9	85.2	83.0	88.7	86.9	77.6	74.7
表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である	54.4	39.3	38.3	35.8	38.8	36.4	45.6
特に必要なことはない	0.0	1.6	0.0	0.0	0.5	0.9	0.0
わからない	0.0	1.6	5.7	2.6	4.2	8.4	5.1
その他	7.4	1.6	5.7	4.6	2.3	2.3	5.1
無回答	0.0	0.0	0.0	1.3	1.4	3.7	8.9

感染症患者の人権について

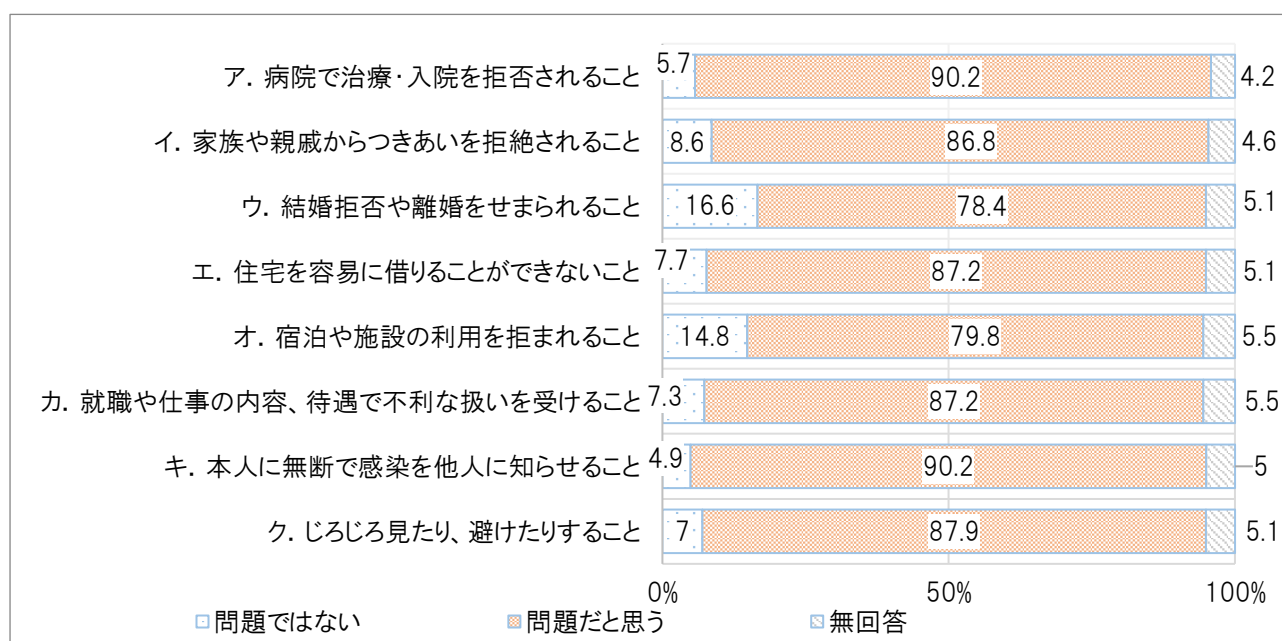
問 24 HIV 感染者、新型コロナウイルス感染者、ハンセン病回復者やその家族に関する次のア～クのことからについてどう思いますか。

HIV感染者について「問題だと思う」ことからの比率をみると、「ア. 病院で治療・入院を拒否されること」「キ. 本人に無断で感染を他人に知らせること」がともに90.2%と最も高く、次いで「ク. じろじろ見たり、避けたりすること」が87.9%であった。

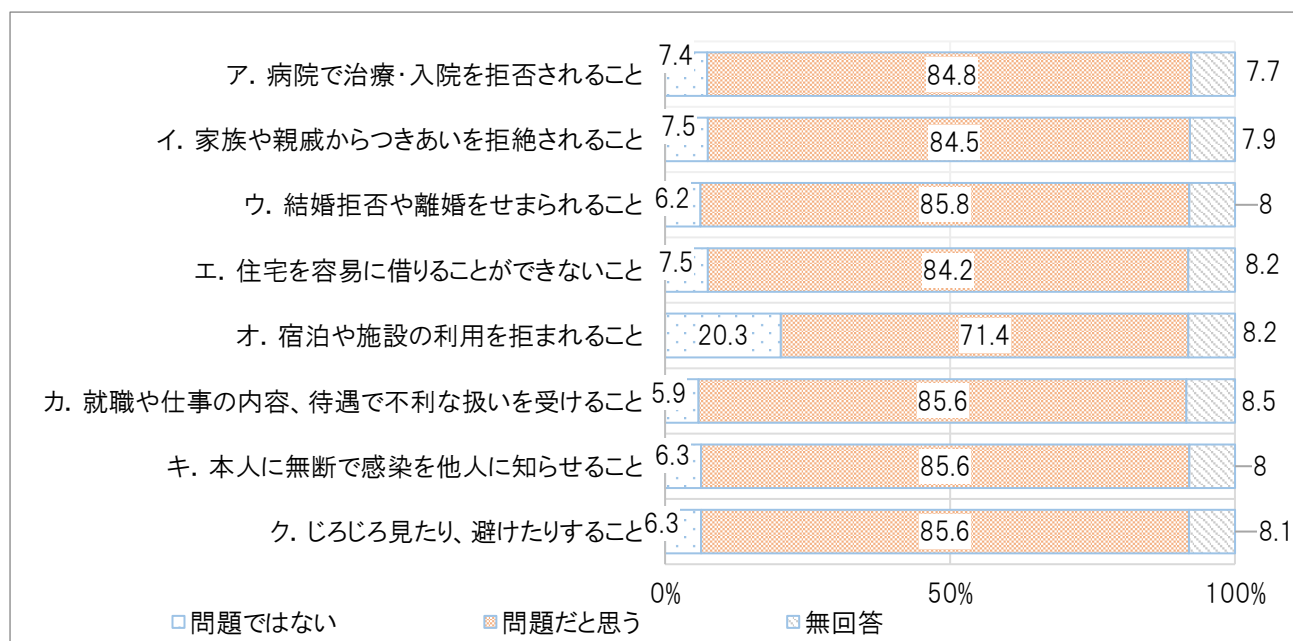
新型コロナウイルス感染者について「問題だと思う」ことからの比率をみると一部を除いて各ことからのついて大きな差異はなかった。「結婚拒否や離婚をせまられること」が85.8%で最も高く、次いで「カ. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受ける」「キ. 本人に無断で感染を他人に知らせること」「ク. じろじろ見たり避けたりすること」がともに85.6%であった。

ハンセン病回復者について「問題だと思う」ことからの比率をみると「ア. 病院で治療・入院を拒否されること」が87.6%で最も高く、次いで「キ. 本人に無断で感染を他人に知らせること」が87.3%であった。

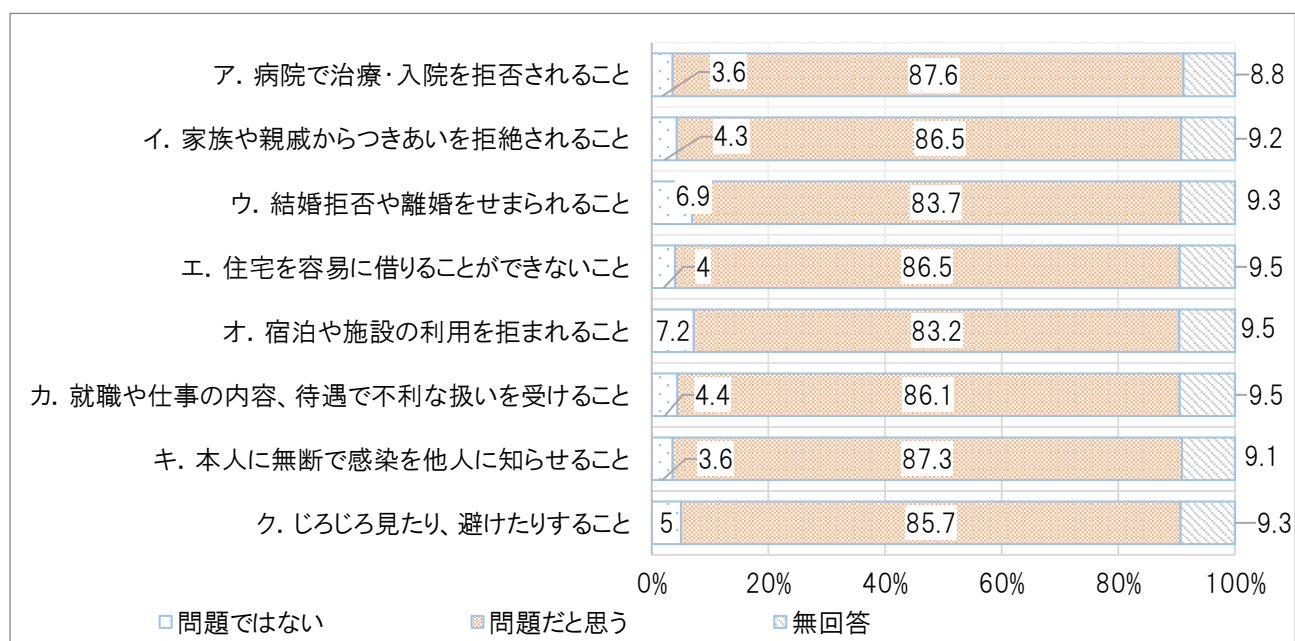
■HIV 感染者について



■新型コロナウイルス感染者について



■ハンセン病回復者について

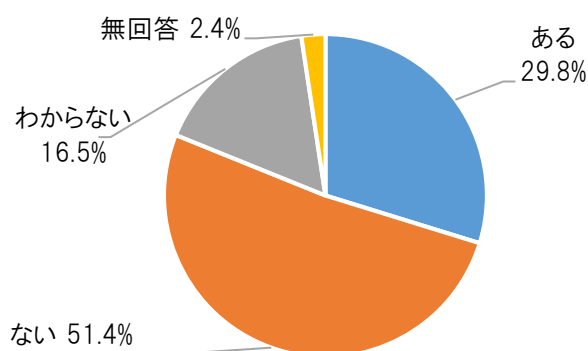


人権侵害を受けた経験や対策について

問 25 今までに、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

あてはまる番号を記入してください。

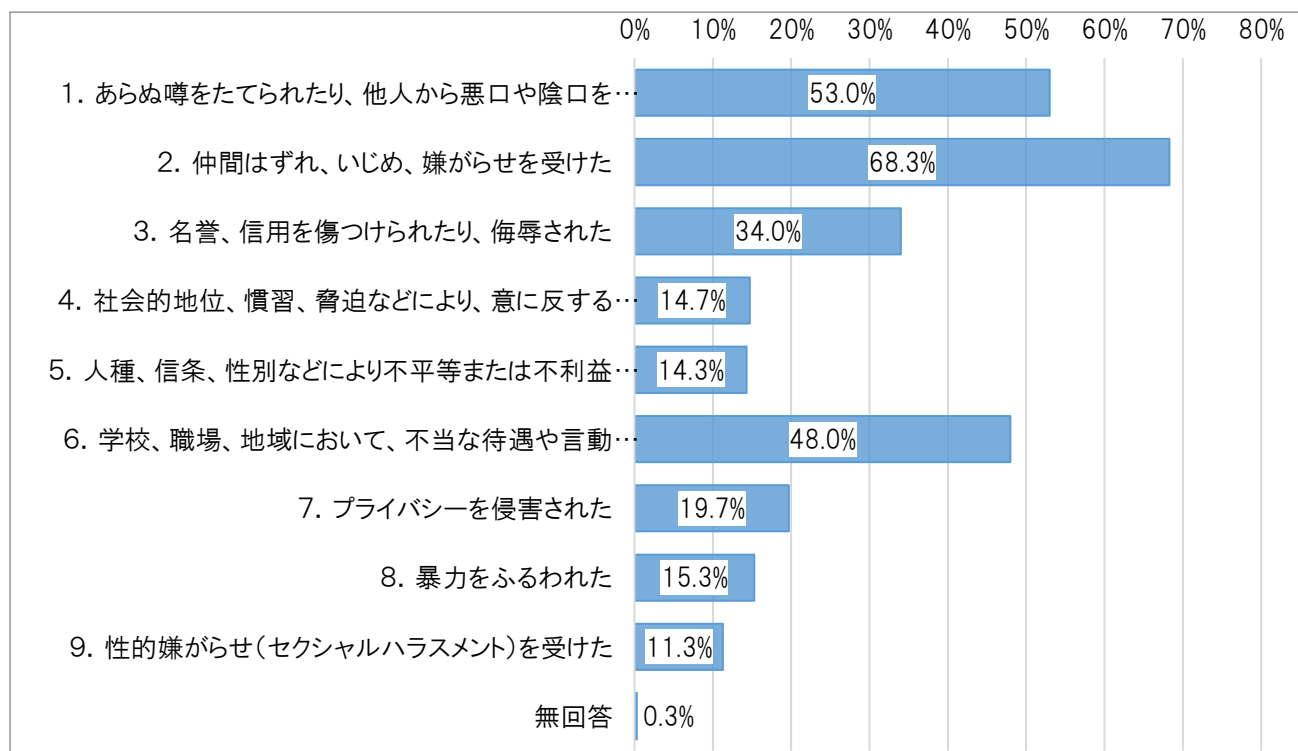
今までに「人権侵害をされたと思ったことがない」と答えた人が約半数。「ある」と答えた人が3割であった。



問 26 問 25 で「1. ある」を答えた方におたずねします。どのような人権侵害でしたか。

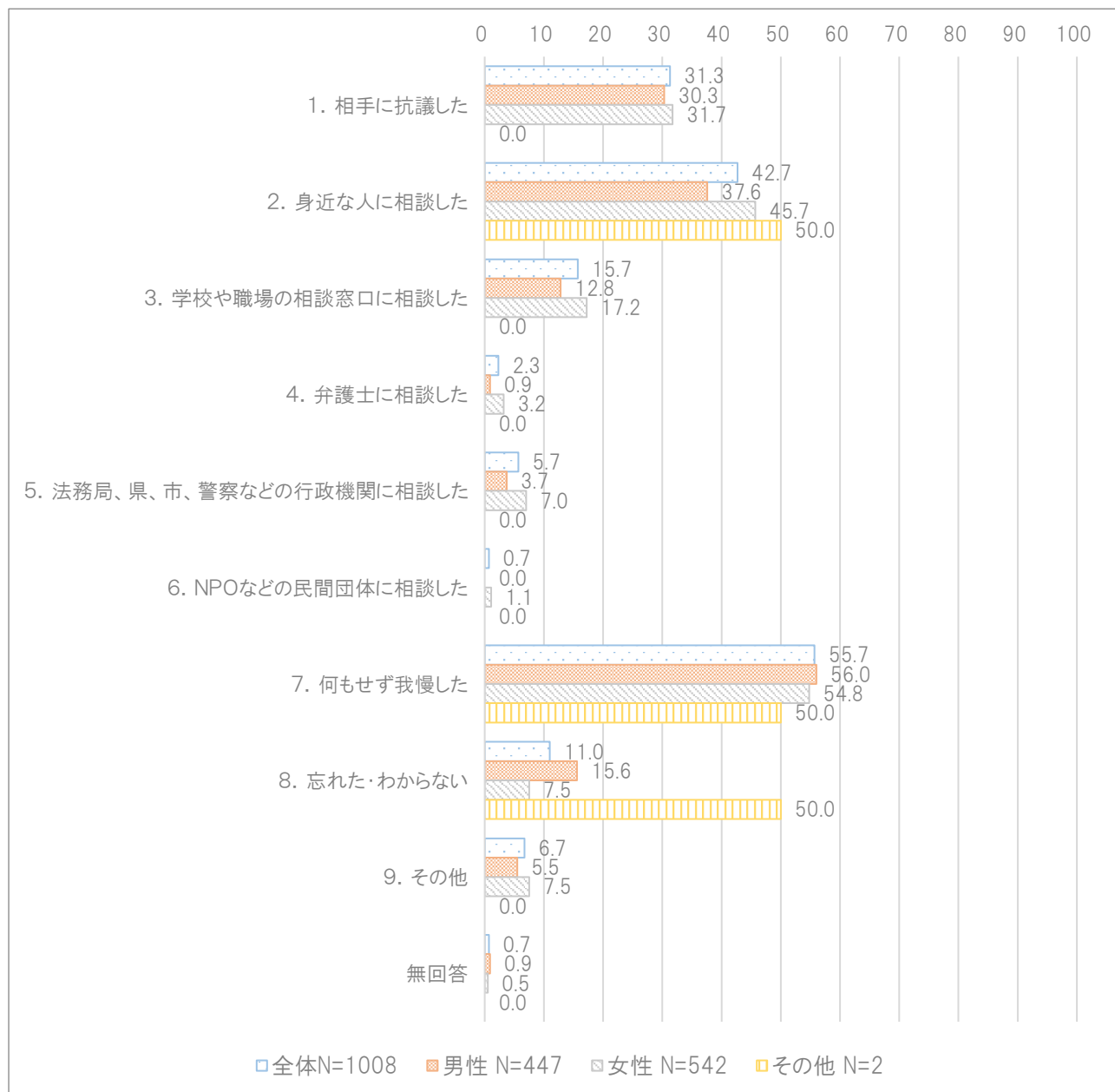
あてはまる番号すべてを記入してください。

「2. 仲間はずれ、いじめ、嫌がらせを受けた」が68.3%と最も高く、次いで「1. あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が53.0%、次いで「6. 学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた」が48.0%であった。



問 27 問 25 で「1.ある」を答えた方におたずねします。人権侵害を受けたときに、どのように対応しましたか。あてはまる番号すべてを記入してください。

「7. 何もせずに我慢した」が55.7%と最も高く、次いで「2. 身近な人に相談した」が42.7%、次いで「1. 相手に抗議した」が31.3%であった。



人権問題の啓発活動について

問 28 これまで、学校・職場・地域などで、次のア～カにあげる人権学習を受けたことがありますか。
あてはまる番号すべてを記入してください。

障がい者の人権問題では「1. 小学校で受けた」が28.0%と最も高く、次いで「7. はっきりおぼえていない」が18.3%、次いで「5. 職場の研修で受けた」が17.1%であった。

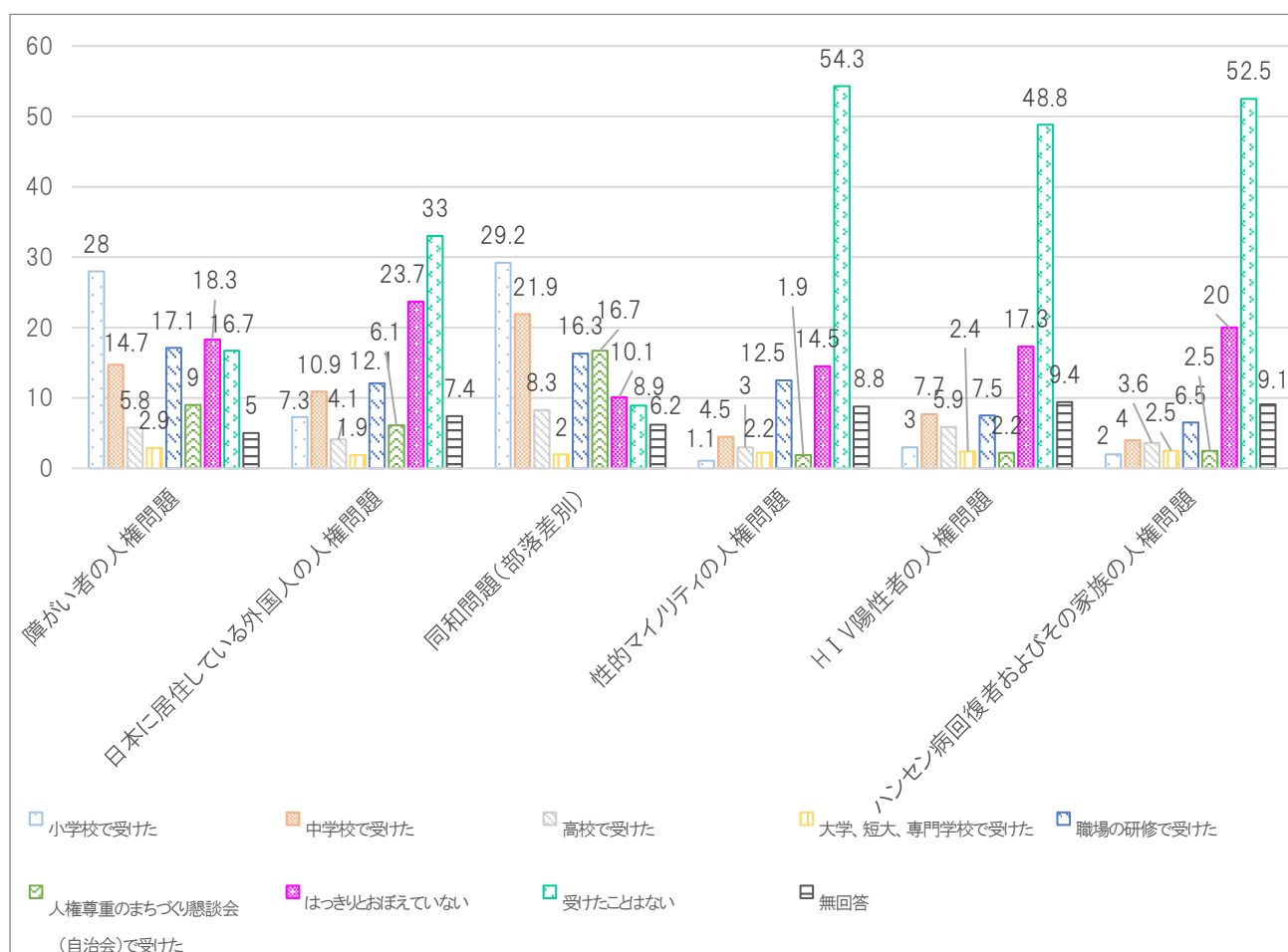
日本に居住している外国人の人権問題では「8. 受けたことがない」が33.0%と最も高く、次いで「7. はっきりおぼえていない」が23.7%、次いで「5. 職場の研修で受けた」が12.1%であった。

同和問題(部落差別)では「1. 小学校で受けた」が29.2%と最も高く、次いで「2. 中学校で受けた」が21.9%、次いで「6. 人権尊重のまちづくり懇談会(自治会)で受けた」が16.7%であった。

性的マイノリティの人権問題では「8. 受けたことはない」が54.3%と最も高く、次いで「7. はっきりおぼえていない」が14.5%、次いで「5. 職場の研修で受けた」が12.5%であった。

HIV陽性者の人権問題では「8. 受けたことはない」が48.8%と最も高く、次いで「7. はっきりおぼえていない」が17.3%、次いで「不明」が9.4%であった。

ハンセン病回復者およびその家族の人権問題では「8. 受けたことはない」が52.5%と最も高く、次いで「7. はっきりおぼえていない」が20.0%、次いで「不明」が9.1%であった。



問 29 次のア～ケの人権に関する法律、条例等について、どの程度知っていますか。

1～3の中からあてはまる番号を記入してください。

「どんな内容か知っている」「内容は知らないが聞いたことがある」を合わせた比率でみると、「キ. 世界人権宣言」が68.5%（前回平成28年：47.2%）と最も高く、次いで「イ. 近江八幡市男女共同参画推進条例」が63.1%（前回平成28年：48.3%）、次いで「ク. 子どもの権利条約」が55.9%（前回平成28年：31.8%）であった。

また、比較可能な法律、条例について、前回調査の「どんな内容か知っている」「内容は知らないが聞いたことがある」を合わせた比率と比較すると、全て前回調査を大きく上回っていた。

